

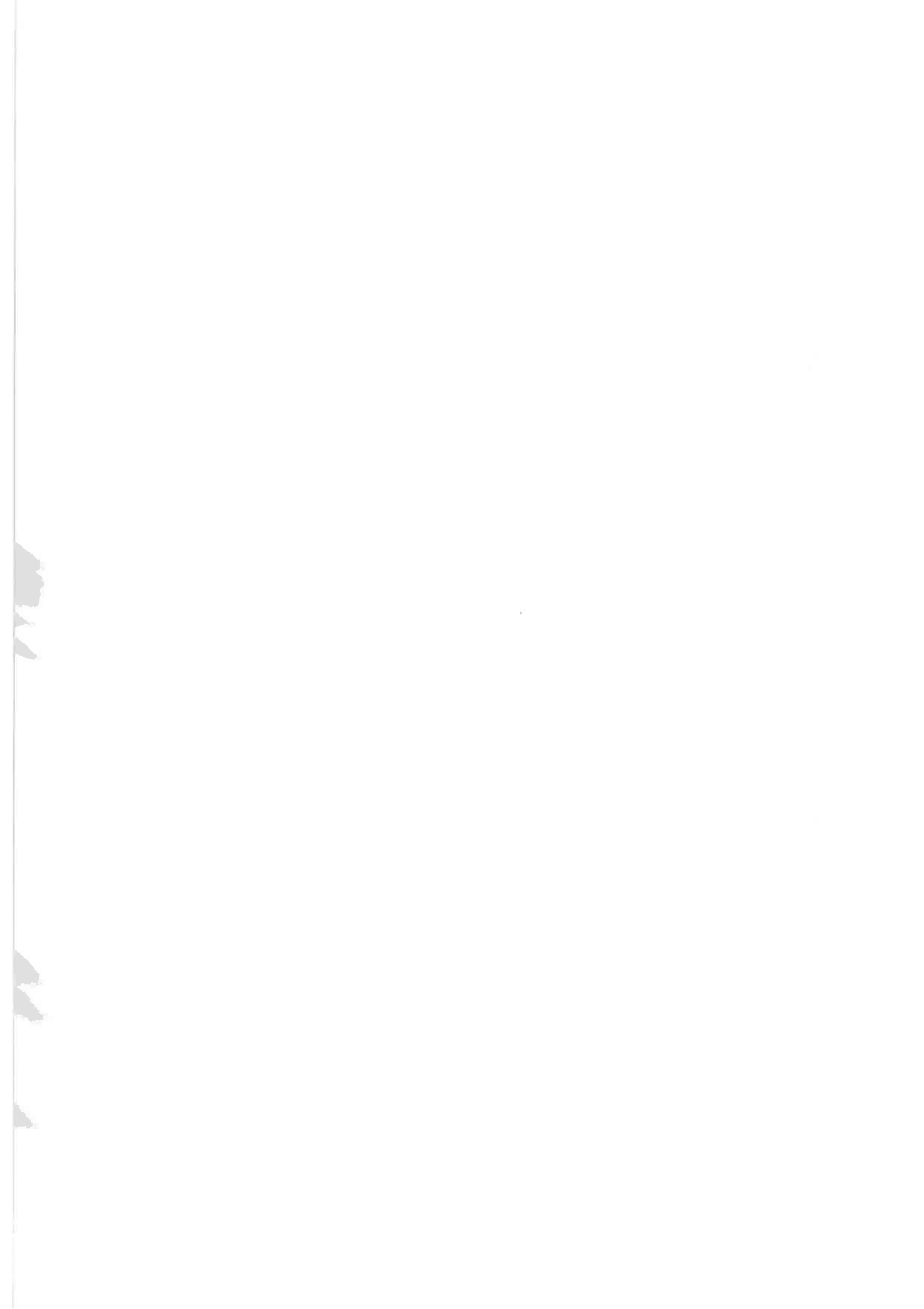
# 山口県立美術館年報

平成27～28年度

ANNUAL REPORT

2015 ~ 2016

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM







# 山口県立美術館年報

平成27～28年度

ANNUAL REPORT

2015～2016

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

# 目 次

山口県立美術館概要	3
1) 事業	
I. 展覧会事業	
(1) 特別展	6
(2) 山口県美術展覧会	35
(3) コレクション展	39
II. 教育普及事業	
(1) 学校連携	58
(2) HEART (ミュージアム・タウン・ヤマグチ)	62
(3) 雪舟ウィーク	66
(4) 美術館ボランティア	67
(5) 県立美術館メンバーズクラブ	69
(6) 博物館実習	70
(7) その他の事業	72
(8) 原稿執筆・講演等	76
III. 調査研究事業	
(1) 雪舟研究会	80
(2) 調査研究実績	80
IV. 収集管理保存事業	
(1) 館蔵品寄託品貸出利用状況	86
(2) コレクション	88
(3) 作品修理・修復	92
(4) 美術図書	92
2) 入館者数一覧	94
3) 組織等	100

## 山口県立美術館概要

所在地 山口市亀山町3番1号  
敷地面積 11,618.330平方メートル

### 1.当初建物

建物面積 4,077.168平方メートル  
建物延面積 5,477.880平方メートル  
構造 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造  
工期 昭和52年（1977）8月～昭和54年（1979）3月  
設計 鬼頭梓建築設計事務所  
施工 鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社大気社／塩田工業株式会社  
総工費 1,700,000,000円

### 2.喫茶室新築

建築延面積 66.16平方メートル  
構造 壁式鉄筋コンクリート造／平屋建  
工期 昭和62年（1987）1月～3月  
総工費 25,552,000円

### 3.収蔵庫等増築

建築延面積 1,188平方メートル  
構造 鉄筋コンクリート造／2階建（地下1階）  
施設概要 収蔵庫、備品収納庫、作業室、図書室、資料室等  
工期 昭和62年（1987）12月～平成元年（1989）1月  
総工費 604,853,000円

### 4.空気調和設備等改修工事

工期 平成17年（2005）7月～平成18年（2006）3月  
総工費 436,755,000円

### 5.美術館改修工事

改修施設概要 展示室、ロビー、収蔵庫、トラックヤード、中庭、喫茶室、講座室  
工期 平成23年（2011）11月～平成24年（2012）3月  
総工費 699,915,000円

## 展覧会事業

### 特別展

館の調査研究にもとづくユニークな自主企画展や新聞社および他館との共催展を開催し、古今東西の多様な美術文化を紹介する。

### 山口県美術展覧会

山口県における総合的美術文化の普及と振興をはかるために、幅広く作品を公募。審査の後、その優秀なるものを展示、紹介する。

### コレクション展(常設展)

当館の館蔵品寄託品(コレクション)を中心として、本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全体像などをわかりやすく展示する。

## 教育普及事業

### 学校連携

児童生徒、教員が美術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及をはかる。

#### ・ HEART(ミュージアム・タウン・ヤマグチ)

県美術展覧会の開催に合わせて、近隣の山口市商店街連合会とも協働し、アートイベント(HEART)を開催。様々な視点から現在の美術に接する場を県民に提供する。

#### ・ ボランティア

ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

#### ・ 講演会・講座

美術講座、美術講演会、ワーク・ショップなどを実施し、美術への理解を深める場を県民に提供する。

## 調査研究および収集管理保存事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを保管整理し有効な活用をはかる。

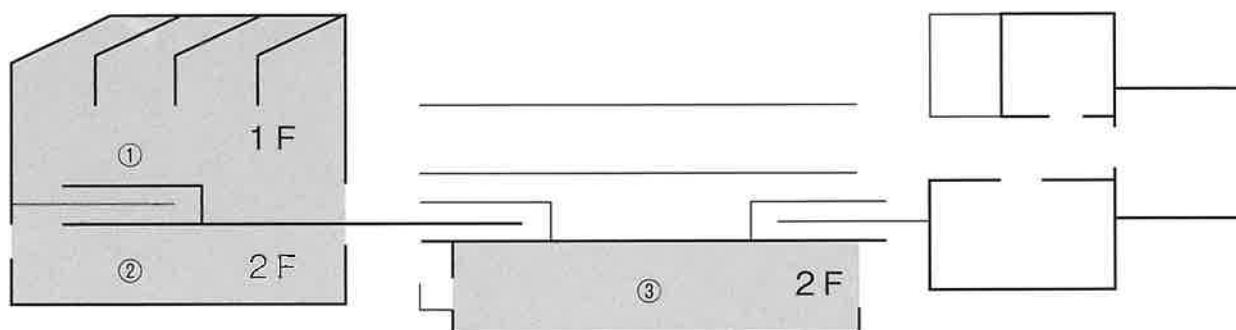


# 事業

## I. 展覧会事業

## (1) 特別展

近年では、新聞社等との実行委員会方式の共催展が主流になるとともに、当館単独で開催される大型企画展も実行委員会形式で運営されるようになる傾向にあるため、企画展、共催展は区別せず特別展として扱っている。展覧会規模の大型化とともに、ゆとりある展示スペース確保のため展示室F(①)、同E(②)の2室に加え展示室D(③)を使用する状況が定着している。



展示室F (旧:企画展示室Ⅰ)	①	583.298㎡
展示室E (旧:企画展示室Ⅱ)	②	304.695㎡
展示室D (旧:常設展示室Ⅱ)	③	471.825㎡

### \* 凡例

以下の展覧会は名称(会期・主催等)、  
(1) 趣旨・概要、(2) 会場構成、(3) カタログ、  
(4) 出品目録、(5) 講演会等の順で編集した。

# 篠山紀信展 写真力

THE PEOPLE by KISHIN

会 期 平成27年(2015)4月25日(土)～6月14日(日)  
 主 催 山口県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、KRY山口放送  
 協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜  
 協 力 松竹(株)  
 企画協力 後藤繁雄事務所+G/P gallery  
 特別協力 エフエム山口  
 特別協賛 西京銀行

**篠山紀信展 写真力**  
**THE PEOPLE by KISHIN**



2015年4月25日(土)～6月14日(日) 山口県立美術館

開館時間 | 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
 休 館 日 | 月曜日 ※ただし5月4日(祝)、6月1日(祝)は開館  
 観 覧 料 | 一般:1,000(税別)円、シニア・学生:800(税別)円  
 ※小学生以下は500円、7歳未満は無料、7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。

主 催 | 山口県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、KRY山口放送  
 協 賛 | ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜  
 協 力 | 松竹(株)  
 企画協力 | 後藤繁雄事務所+G/P gallery 特別協力 | エフエム山口 HP | <http://www.yma-web.jp/>  
 特別協賛 | 西京銀行

ポスター

**篠山紀信展 写真力**  
**THE PEOPLE by KISHIN**



2015年4月25日(土)～6月14日(日) 山口県立美術館

開館時間 | 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
 休 館 日 | 月曜日 ※ただし5月4日(祝)、6月1日(祝)は開館  
 観 覧 料 | 一般:1,000(税別)円、シニア・学生:800(税別)円  
 ※小学生以下は500円、7歳未満は無料、7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。

主 催 | 山口県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、KRY山口放送  
 協 賛 | ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜  
 協 力 | 松竹(株)  
 企画協力 | 後藤繁雄事務所+G/P gallery 特別協力 | エフエム山口 HP | <http://www.yma-web.jp/>  
 特別協賛 | 西京銀行

チラシ表

**篠山紀信展 写真力**  
**THE PEOPLE by KISHIN**



2015年4月25日(土)～6月14日(日) 山口県立美術館

開館時間 | 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
 休 館 日 | 月曜日 ※ただし5月4日(祝)、6月1日(祝)は開館  
 観 覧 料 | 一般:1,000(税別)円、シニア・学生:800(税別)円  
 ※小学生以下は500円、7歳未満は無料、7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。7歳未満の子供は大人1名につき1名まで。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。  
 ※別途入館料が必要な施設・会場は別途案内いたします。

主 催 | 山口県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、KRY山口放送  
 協 賛 | ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜  
 協 力 | 松竹(株)  
 企画協力 | 後藤繁雄事務所+G/P gallery 特別協力 | エフエム山口 HP | <http://www.yma-web.jp/>  
 特別協賛 | 西京銀行

チラシ裏

## (1) 趣旨・概要

1950年代後半から現在に至るまで、「時代の写し鏡」として作家、アイドル、俳優、スポーツ選手など国内外の著名人、日本の伝統芸能、ヌードと自然、都市と建築など多様なテーマで多くの作品を生み出してきた、日本を代表する写真家・篠山紀信(1940-)の大回顧展。

ジョン・レノンとオノ・ヨーコ、山口百恵からAKB48、東日本大震災で被災された方々まで、篠山が50年以上にわたり撮り続けてきたポートレート約100点を厳選し、「GOD」(鬼籍に入られた人々)、「STAR」(すべての人々に知られる有名人)、「SPECTACLE」(私たちを異次元に連れ出す夢の世界)、「BODY」(裸の肉体、美とエロスと闘い)、「ACCIDENTS」(2011年3月11日、東日本大震災で被災された人々の肖像)の5つのセクションで紹介した。

戦後日本写真を収集の一つの柱としていながら、戦後日本写真史を語る上で欠くべからざる存在である篠山の作品をいまだ収蔵できていない当館にとって、まとまった形で篠山の作品を紹介できた本展は、貴重な機会となった。



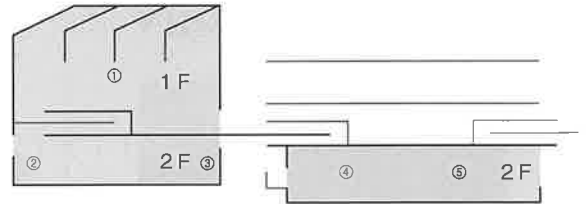
外



会場風景

## (2) 会場構成

- ① 1「GOD」(鬼籍に入られた人々)
- ② 2「STAR」(すべての人々に知られる有名人)
- ③ 3「BODY」(裸の肉体、美とエロスと闘い)
- ④ 4「SPECTACLE」(私たちを異次元に連れ出す夢の世界)
- ⑤ 5「ACCIDENTS」(2011年3月11日、東日本大震災で被災された人々の肖像)



## (3) カタログ

編集 後藤繁雄、PIE BOOKS

発行 読売新聞東京本社

内容 006 主催者あいさつ

008 篠山紀信の写真の世界

桜井武

012 駆動する永久機関 篠山紀信の戦い

福士理

016 「写真力」の凄み

桐原浩

020 図版

190 篠山紀信 年代別スペシャルセレクション

202 篠山紀信インタビュー「写真力を巡って」 インタビュー／構成 河尻享一

206 年譜

\* A4 変型判 (292 × 226mm) 208 ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

No	作品名	撮影年
entrance		
1	ジョン・レノン オノ・ヨーコ	1980
GOD		
2	バルテュス	1993
3	渥美清	1973
4	三島由紀夫	1969
5	三島由紀夫	1970
6	勝新太郎	1992
7	美空ひばり	1989
8	夏目雅子	1982
9	きんさんぎんさん	1999
10	大原麗子	1988
11	中村勘三郎『お祭り』。鷲頭鶴松	2011
12	森光子	2008
13	ジョン・レノン	1980
STAR		
14	能年玲奈	2013
15	ピンク・レディー	1976

16	杏	2011
17	北野武	1998
18	Y.M.O	2007
19	加賀まりこ	1978
20	市川新之助 (現 海老蔵)	1999
21	吉永小百合	1988
22	AKB48	2010
23	壇蜜	2013
24	山口百恵	1977
25	浅田真央	2011
26	羽生結弦	2011
27	王貞治	1973
28	長嶋茂雄	1974
29	南沙織	1974
30	舟木一夫	1973
31	黒木メイサ	2009
32	宮崎美子	1980
33	キャロル	1973
34	安室奈美恵	1997
35	小林旭	1974
36	岸恵子	1976
37	満島ひかり	1997
38	ももいろクローバーZ	2013
39	千原ジュニア	2013
40	松田聖子	2005
41	佐々木希	2013
42	美輪 明宏	2013

BODY

43	MANUEL LEGRIS	1999
44	VLADIMIR MALAKHOV	1998
45	VLADIMIR MALAKHOV	1998
46	VLADIMIR MALAKHOV	1998
47	大相撲	1995
48	Kaleidoscope	1968
49	浅丘ルリ子	1968
50	萩野目慶子	1995
51	カルメン・マキ	1969
52	樋口可南子	1990
53	宮沢りえ	1991
54	黒柳徹子	1969
55	THE BIRTH	1968
56	Death Valley	1969
57	20XX TOKYO	2008
58	TWIN	1969
59	DANCER	1968

SPECTACLE

60	片岡仁左衛門『菅原伝授手習鑑 寺子屋』、松王丸	2008
61	片岡仁左衛門『絵本合法衛、立場の太平次』	2011
62	中村獅童『雨の五郎』、曾我五郎時致	2005
63	中村獅童『坂名手木忠臣蔵』、斧定九郎	2006
64	中村勘九郎『春興鏡獅子』、小姓弥生後に獅子の精	2012
65	市川海老蔵『暫』、鎌倉権五郎景政	2009
66	尾上菊之助『京鹿子娘道成寺』白拍子花子	2011
67	中村勘九郎『土蜘蛛』、僧智壽実は土蜘蛛の精	2012
68	市川海老蔵『船弁慶』、平知盛の霊	2007
69	中村獅童『春竹我対面』、小林朝比奈	2012
70	中村七之助『於染久松色説販』、お光	2012
71	中村又五郎『菅原伝授手習鑑 車引』、梅王丸	2011
72	中村橋之助『春竹我対面』、曾我五郎時致	2012
73	中村獅童『祇園祭礼信仰記』、松永大膳	2008
74	中村獅童『船弁慶』、武蔵坊弁慶	2005
75	中村七之助『祇園祭礼信仰記』、雪姫	2009

76	市川海老蔵『勲進帳』、富樫左衛門	2011
77	中村勘太郎（現勘九郎）『敵恋雪隠扉』、関守関兵衛実は大伴黒主	2011
78	市川染五郎『基盤忠信』、佐藤四郎兵衛忠信	2011
79	市川海老蔵『助六由縁江戸桜』、花川戸助六実は曾我五郎	2010
80	中村勘童『雨の五郎』、曾我五郎時致	2005
81	中村七之助『於樂久松色説飯』、土手のお六	2012
82	片岡仁左衛門『菅原伝授手習鑑 道明寺』、菅丞相	2006
83	尾上菊之助『籠釣瓶花街酔醒』、兵庫屋ハツ橋	2012
84	坂東玉三郎、中村時蔵、十七代目市村羽左衛門『助六由縁江戸桜』、揚巻、白玉、髯の意休	1988
85	中村勘九郎、襲名披露口上姿	2011
86	中村扇雀、片岡亀蔵、片岡市蔵、中村勘三郎、中村七之助、坂東新悟『口上』	2006
87	坂東玉三郎『猿蓑兜軍記 阿古屋』、阿古屋	2000
88	坂東玉三郎『籠釣瓶花街酔醒』、ハツ橋	1999
89	坂東玉三郎『助六由縁江戸桜』、揚巻	1988
90	草間彌生	2004
91	東京ディズニーランド25周年	2008
92	MAGIC	2008
93	ミッキー、プルート	2010
94	ミッキー、ミニー、ドナルド、デイジー、プルート	2008
95	ミッキー、ミニー、シノラマン	2008
96	ミニー	2010
97	ミッキー、ミニー、ダッフィー	2011
98	夢少女・後藤久美子	1988
ACCIDENTS		
99	大橋公雄(67) 仙台市	2011
100	安田千穂(32) 山元町	2011
101	佐藤みね子(74) 山元町	2011
102	前田久美子(33) 前田翔太(2) 仙台市	2011
103	大友瑠斗(9) 大友乃愛(7) 名取市	2011
104	阿部末子(62) 阿部俊一(64) 亶理町	2011
105	近藤典穂(27) 気仙沼市	2011
106	伊東みつ子(53) 伊東智(60) 気仙沼市	2011
107	佐々木正子(77) 陸前高田市	2011
108	小山芳(24) 石川直幸(24) 気仙沼市	2011

## (5) 講演会等

### ■特別講演会

日時：4月25日(土) 13:30~15:00

会場：山口県立山口図書館レクチャールーム

出演：篠山紀信×後藤繁雄(編集者/本展企画協力者)

定員：200名(先着順・要事前申込)

### ■「学芸員によるギャラリー・トーク」

日時：5月9・16・23・30日(いずれも土曜日) 10:00~

### ■タブロイド版広報紙「篠山紀信展 写真力」

篠山紀信インタビュー インタビュー・構成/河野通孝、写真/安森信



タブロイド外面



タブロイド中面

# 戦国時代の覇者 世界大恐竜展

—知られざる大陸ララミディアとゴンドワナの恐竜進化の謎—

会 期 平成27年(2015)7月10日(金)～8月30日(日)  
 主 催 山口県立美術館、山口県立山口博物館、読売新聞社、KRY山口放送  
 学術協力 大阪市立自然史博物館  
 協 力 バーピー自然史博物館(アメリカ)、飯田市美術博物館、群馬県立自然史博物館、  
 三重県総合博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
 企画協力 中央宣伝企画  
 特別協力 エフエム山口



ポスター



チラシ表



チラシ裏

## (1) 趣旨

近年の発掘、研究の成果をふまえ、人気恐竜であるスピノサウルスとトリケラトプスの生態を紹介する展覧会。最大級の肉食恐竜として知られるスピノサウルスは、白亜紀のゴンドワナ大陸(現在のアフリカ大陸)で水辺の覇者として君臨していた恐竜である。一方、トリケラトプスは恐竜最後の時代・白亜紀後期、現在の北アメリカ大陸の西地域に存在したララミディア大陸において、独自の進化を遂げた大型植物食恐竜である。

展覧会では、最初に、世界最大級の肉食恐竜スピノサウルスの17メートルにもおよぶ全身骨格標本や化石を展示し、謎に包まれた生態を紹介。次のコーナーでは、大人気恐竜トリケラトプスとその仲間たちを最新の学説に基づき徹底解剖し、新たなトリケラトプス像やその進化と歴史を紹介した。

そして、最後のコーナーでは、山口県から産出された化石を通して、恐竜時代(2億2800万年前～6600万年前)以前からの山口地域の歴史を紹介した。



外



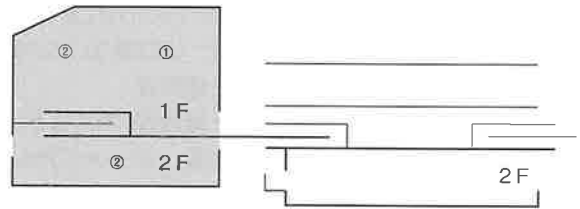
会場風景



会場風景

## (2) 会場構成

- ① 1 ゴンドワナ大陸の恐竜
  - 1 ゴンドワナ大陸の恐竜たち
  - 2 起源と拡散
- ② 2 ララミディア大陸の恐竜
  - 1 トリケラトプスの仲間が生きた時代
  - 2 トリケラトプスへの始まり
  - 3 ララミディア大陸への進出
  - 4 ララミディア大陸・戦国時代
  - 5 トリケラトプスの天下統一



## (3) カタログ

編集 山口県立美術館、山口県立山口博物館、読売新聞社

発行 読売新聞社

監修 藤原慎一(名古屋大学博物館)、林昭次(大阪市立自然史博物館)、塚腰稔(大阪市立自然史博物館)

執筆 千葉謙太郎(トロント大学博士課程)、川端清司(大阪市立自然史博物館)、大橋智之(北九州市立自然史・歴史博物館)、田中康平(カルガリー大学博士課程)、田上響(福岡大学)、スコット・アラン・ウイリアムズ(バーピー自然史博物館)

内容 002 主催者あいさつ

006 プロローグ

014 ゴンドワナの巨大恐竜スピノサウルス

022 トリケラトプスの仲間が生きた時代

023 ケラトプシア類の起源と拡散

040 ララミディア大陸への進出と大繁栄の狼煙

050 ララミディア大陸 戦国時代

078 トリケラトプスの天下統一

085 系統樹・世界のケラトプシア類事典・年代表・トリケラトプス骨格図・引用文献

\* A4判(292×210mm)104ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

No	標本名	
ゴンドワナ大陸の恐竜		
01	スピノサウルス全身骨格標本	
02	スピノサウルスタッチ化石 歯	
03	スピノサウルスタッチ化石 尾椎	
04	失われた謎の巨大恐竜「スピノサウルス」の謎に迫る	解説パネル
05	スピノサウルスの生育環境 白亜紀のマングローブ環境	解説パネル
06	スピノサウルス 上顎化石	
07	スピノサウルス 下顎化石	
08	スピノサウルス 中足骨化石	
09	スピノサウルス 頸椎化石	
10	スピノサウルス 胴椎化石	
11	バハリアサウルス 生体復元モデル	
12	バハリアサウルス 歯化石	
13	恐竜誕生物語	解説パネル
14	恐竜とはどんな生物か?	解説パネル
15	恐竜進化系統樹	解説パネル
16	恐竜発見世界地図	解説パネル
17	縞状鉄結石	
18	三疊紀 恐竜誕生の時代	解説パネル
19	ジュラ紀 恐竜大型化の時代	解説パネル
20	白亜紀 恐竜大繁栄の時代	解説パネル
21	スピノサウルス実験装置	



22	大型肉食恐竜と共生の謎 マット・ラマンナ博士の仮説	解説パネル
23	サハラ砂漠環境化石	
24	レバッキサウルス 歯化石	
25	竜脚類 頸椎化石	
	ララミディア大陸の恐竜 トリケラトプスの仲間が生きた時代	
26	インロン 生体復元	
27	ケラトプシア類の初期進化	解説パネル
	トリケラトプスへの始まり	
28	ホンシャノサウルス 頭骨複製	
29	プシッタコサウルス 生体復元モデル	
30	プシッタコサウルス 平面骨格標本(複製)	
31	プシッタコサウルス 全身骨格標本(複製)	
32	アジアの砂漠に進出したプロトケラトプス	解説パネル
33	プロトケラトプス 生体復元標本	
34	プロトケラトプス 全身骨格標本	
35	大きな頭部と鋭いクチバシを備えたプロトケラトプス	トピックスパネル
36-1	プロトケラトプス 頭骨模型標本	
36-2	プロトケラトプス 頭骨標本	
36-3	プロトケラトプス 頭骨標本	
36-4	プロトケラトプス 頭骨標本	
36-5	プロトケラトプス 亜成体 頭骨標本	
	ララミディア大陸への進出	
37	ズニティランノサウラ 頭骨標本	
38	ズニケラトプス 全身骨格標本(複製)	
39	バガケラトプス 頭骨標本	
40	ララミディア大陸のバイオニアーズニケラトプス	解説パネル
	ララミディア大陸・戦国時代	
41	バキリノサウルス 頭骨標本(複製)	
42	ディアプロケラトプス 頭骨標本(複製)	
43	ナストケラトプス 頭骨標本(複製)	
44	プロトケラトプス 頭骨標本(複製)	
45	コスモケラトプス 頭骨標本(複製)	
46	ユタケラトプス 頭骨標本(複製)	
47	コアウイラケラトプス 頭骨標本(複製)	
49	カスモサウルス 頭部生体復元標本(標本)	
50	ステイラコサウルス 頭骨模型(1/2)標本	
51	カスモサウルス 頭骨模型(1/2)標本	
53	カスモサウルス 全身骨格標本(複製)	
54	テラトフォネウス 全身骨格標本(標本)	
55	ララミディア戦国時代	解説パネル
56	頭部を着飾ったケラトプス科	解説パネル
57	ララミディア大陸の捕食者達	解説パネル
	トリケラトプスの天下統一	
58	トリケラトプス「ホームー(愛称)」 発掘研究映像	
59	トリケラトプス「ホームー(愛称)」 頭骨標本(複製)	
61	トリケラトプスの発見 ケラトプシア類の正体がついに判明!	解説パネル
62	トリケラトプス 解体新書	解説パネル
63	トリケラトプスの頭骨	解説パネル
64	ハドロサウルス科の最後の生き残り、エドモントサウルス	解説パネル
65	エドモントサウルス 頭骨標本	
66	エドモントサウルス 中足骨標本	
67	トリケラトプス幼体 下顎骨(左1右1)標本	
68	トリケラトプス 頭骨化石	
72	トリケラトプス全身骨格標本	
73	トリケラトプス 肋骨標本	
74	トリケラトプス 皮膚印象化石(ハンズオン)	
75	トリケラトプス 骨標本	
77	歯を無限に供給する、デンタル・バッテリー	解説パネル
79	トリケラトプス 角標本	
80	トリケラトプス 胸椎化石(ハンズオン)	
81	トリケラトプス 下顎骨標本(複製)(ハンズオン)	

# ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画

会 期 平成27年(2015)10月30日(金)~12月6日(日)  
 主 催 ドラッカー・コレクション展山口実行委員会(山口県立美術館/朝日新聞社/yab山口朝日放送)、  
 日本経済新聞社  
 後 援 アメリカ大使館  
 特別協力 SANSO LLC  
 協 力 ドラッカー・インスティテュート、日本航空



ポスター



チラシ表



チラシ裏

## (1) 趣旨・概要

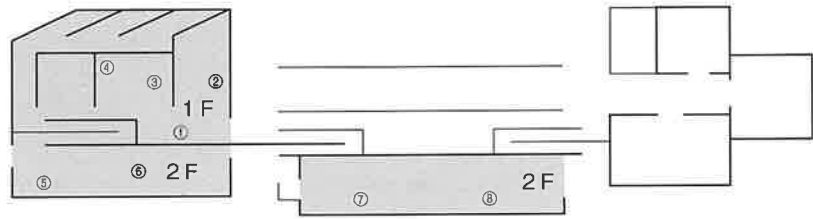
「マネジメントの父」と称賛されるピーター・F・ドラッカー(1909~2005)は、経営学、社会学、経済学といった幅広い専門領域とその未来への洞察によって世界の知識人に大きな影響を与え、没後10年の今、ふたたびその思想に関心が高まっている。しかしドラッカーが、若き日から日本の古美術に深い愛情を寄せてきたことはさほど知られていない。実は彼は、生涯を通じて熱心な日本美術の愛好家であり、収集家でもあった。彼は1959年に初めて日本を訪れ、長年の望みであった日本の絵画を2点購入し、それ以来、夫人と共にその収集に心を傾けた。自身により「山荘コレクション」と名付けられたそのコレクションは、稀少な室町時代的水墨画を主とする点、珍しく個性的なものだが、さらに、文人画や禅画、近年人気の高い伊藤若冲の作品などをも含む。本展では、ドラッカー夫妻の優れた鑑識眼によって選ばれた室町水墨画や、文人画をはじめとする珠玉の日本絵画111点を、コレクションに関わる資料などとともに紹介した。



会場風景

## (2) 会場構成

- ① 序章 日本美術との出会い
- ② 第1章 1960年代 初期の収集
- ③ 第2章 室町水墨画
- ④ 第3章 水墨の花と鳥
- ⑤ 第4章 聖なる者のイメージ
- ⑥ 第5章 禅画
- ⑦ 第6章 文人画の力
- ⑧ 終章 書斎に吹く風



## (3) カタログ

監 修 河合正朝 [千葉市美術館館長]  
 編 集 松尾知子 [千葉市美術館]  
 撮 影 ダグラス・サンドバーグ  
 タケミ・アート・フォトス  
 小平忠生  
 翻 訳 まい子・ベア  
 デザイン 川添英昭+中村遼一 [美術出版社]  
 制 作 名塚雅絵+住谷美都子 [美術出版社]  
 印刷・製本 山田写真製版所  
 発行人 大下健太郎  
 発 行 株式会社美術出版社  
 目 次

008	日本美術へのラブレター	ピーター・F・ドラッカー
010	講演録 なぜ日本画に心惹かれたか	ドリス・ドラッカー
013	わがコレクター父母の傍観者としての時代	セシリー・A・ドラッカー
015	回想のドラッカー教授、そして教授収集の逸伝画家による室町水墨画などのことども	河合正朝
020	講演録 ガイジンの見た日本美術	ピーター・F・ドラッカー
023	ピーター・F・ドラッカーの日本美術に関する著作について	
025	序章 日本美術との出会い	
026	ドラッカー・ポートレート・フランクフルト時代(1929-33年)の軌跡	佐久間裕之
030	ドラッカーは何を見たのか—1930年代ロンドン、日本美術展事情	松尾知子
037	1章 1960年代、初期の収集	
050	雪村の画本	荏開津通彦
059	2章 室町水墨画	
073	講演録 私と室町水墨画	ピーター・F・ドラッカー
077	3章 水墨の花と鳥 動物画の魅力	
101	4章 聖なる者のイメージ	
125	5章 禅画 江戸のカウンターカルチャー	
137	6章 文人画の威力	
165	終章 書斎に吹く風 クレアモントのドラッカー	
174	人間中心のマネジメント—ドラッカーとリベラル・アーツ	山脇秀樹
176	クレアモントとドラッカースクール	
180	ドラッカーと日本	
183	ドラッカーと日本企業	
184	ご来光!	ジョージ・D・ウィンスタイン
185	ドラッカー・コレクションの軌跡	
189	田中一松資料にみる ドラッカー・コレクションの軌跡	松尾知子
202	ドラッカーの日本美術コレクション形成とその“日本美術・日本論”	加藤悦子
210	ピーター・F・ドラッカー 年譜	
212	印章一覧	
219	作品リスト	
223	出品作家一覧/List of Artists	
224	Texts	
235	List of Works	

\* A4変型判(310×227mm)240ページ



カタログ表紙

ピーター・F・ドラッカー  
 ドリス・ドラッカー  
 セシリー・A・ドラッカー  
 河合正朝  
 ピーター・F・ドラッカー

佐久間裕之  
 松尾知子

荏開津通彦

ピーター・F・ドラッカー

山脇秀樹

ジョージ・D・ウィンスタイン

松尾知子  
 加藤悦子

## (4) 出品目録

No.	作家名	作品名	員数	制作時期	展示期間
序章	日本美術との出会い				
1	式部輝忠	溪流飛鴨図(扇面)	一幅	室町時代	通期
2	清原雪信	芙蓉図	一幅	江戸時代	通期
1章	1960年代、初期の収集				
3	筆者不詳	神於寺縁起絵巻断簡	一幅	鎌倉時代	通期
4	如水宗淵	柳堤山水図	一幅	室町時代	通期
5	尾形光琳	柳鷺図	一幅	江戸時代	通期
6	尾形光琳	葛図团扇	一幅	江戸時代	通期
7	秋月等観	山水図	一幅	室町時代	通期
8	等碩	山水図	一幅	室町時代	通期
9	雲溪永怡	平沙落雁図	一幅	室町時代	通期
10	伝文成	十牛図	双幅	室町時代	通期
11	周耕	懸崖図	一幅	室町時代	通期
12	惟馨周徳	山水図扇面	一幅	室町時代	通期
13	雪村周継	月夜独釣図	一幅	室町時代	通期
14	知有	翡翠図	一幅	室町時代	通期
15	雲溪永怡	叭々鳥図	一幅	室町時代	通期
16	海北友松	芦に小禽図	一幅	桃山時代	通期
17	斎藤等室	雨中山水図	一幅	江戸時代	通期
18	曾我蕭白	雪景山水図	一幅	江戸時代	通期
2章	室町水墨画				
19	牧松	山水図	一幅	室町時代	通期
20	惟馨周徳	山水図(扇面)	一幅	室町時代	通期
21	鑑貞	春景山水図	一幅	室町時代	通期
22	「蛇足」印	山水図	一幅	室町時代	通期
23	土岐洞文	山水図	一幅	室町時代	通期
24	筆者不詳・古岳宗亘賛	山水図	一幅	室町時代	通期
25	前嶋宗祐	山水図	一幅	室町時代	通期
26	狩野之信	秋冬山水図	一幅	室町時代	通期
27	狩野秀頼	山水図(团扇)	双幅	室町時代	通期
28	鉄舟徳濟	蘭石図	一幅	南北朝時代	通期
29	玉腕梵芳/自賛	蘭石図	一幅	室町時代	通期
30	汝南忠徹	蘿蔔図	一幅	室町時代	通期
3章	水墨の花と鳥 動物画の魅力				
31	鑑貞	花鳥図	双幅	室町時代	通期
32	文孫/笑雲清三賛	達磨・五位鷺・叭々鳥図	三幅	室町時代	通期
33	伝相阿弥	牧牛図	一幅	室町時代	前期
34	雪村周継	叭々鳥図	一幅	室町時代	通期
35	精庵	雪中雀図	一幅	室町時代	通期
36	柴庵	柳燕・鶴鷺図	双幅	室町時代	通期
37	芸愛	松鷹図	一幅	室町時代	通期
38	伝狩野山楽/玄嘯賛	鶴鷺図	一幅	桃山時代	通期
39	海北友松	翎毛禽獣図	六幅	桃山時代	通期
40	狩野探幽	波に兔	一幅	江戸時代	通期
41	伊藤若冲	梅月鶴亀図	三幅	江戸時代	通期
42	谷文晁	月夜白梅図	一幅	江戸時代	通期
43	立原杏所	葡萄図	一幅	江戸時代	通期
44	渡辺華山	蓮花遊魚図	一幅	江戸時代	後期
45	山本梅逸	花鳥図	双幅	江戸時代	通期
4章	聖なる者のイメージ				
46	筆者不詳	二十五菩薩来迎図	一幅	鎌倉時代	通期
47	筆者不詳	春日若宮曼荼羅図	一幅	室町時代	前期
48	筆者不詳	薬師十二神将図	一幅	鎌倉時代末期	前期
49	筆者不詳	法然上人絵伝断簡	一幅	室町時代	後期
50	伝一之	白衣観音図	一幅	室町時代	通期
51	伝仲安真康	観音・李白・陶淵明図	三幅	室町時代	通期
52	楊月/宇野體泉	蛭子和尚図	一幅	室町時代	通期
53	興悦	寒山拾得図	一幅	室町時代	通期
54	狩野吉信	鉄拐仙人図(扇面)	一幅	桃山時代	前期

55	久隅守景	丹霞焼仏・普化振鈴図	双幅	江戸時代	前期
56	孤月周林	靈照女図	一幅	室町時代	通期
57	靈彩	渡唐天神図	一幅	室町時代	通期
58	筆者不詳／柏岩性節他賛	隠元降瑞像・即非如一像・木庵性瑠像	三幅	江戸時代	通期
59	伝岩佐又兵衛	歌仙図（藤原敦忠）	一幅	江戸時代	前期
60	近衛信尹	渡唐天神像	一幅	江戸時代	後期
61	村瀬太乙	利休居士図	一幅	江戸時代	後期
62	英一蝶	風流女福祿寿	一幅	江戸時代	通期
63	久隅守景	佐野渡図	一幅	江戸時代	後期
64	中山高楊	陶淵明弹琴図	一幅	江戸時代	後期
65	与謝蕪村	陶淵明聴松風図 陶淵明盤恒・松下童子図	双幅	江戸時代	通期
66	長澤蘆雪	娘道成寺図	一幅	江戸時代	前期
5章 禅画 江戸のカウンターカルチャー					
67	白隠慧鶴	蓮池観音図	一幅	江戸時代	通期
68	白隠慧鶴	半身送磨	一幅	江戸時代	後期
69	白隠慧鶴	龍杖拂子	一幅	江戸時代	通期
70	風外慧薫	布袋図	一幅	江戸時代	通期
71	風外慧薫	達磨図	一幅	江戸時代	前期
72	東嶺円慈	送磨図	一幅	江戸時代	後期
73	仙厓義梵	白衣観音図	一幅	江戸時代	通期
74	仙厓義梵	鍾馗図	一幅	江戸時代	前期
75	仙厓義梵	蛙図	一幅	江戸時代	後期
6章 文人画の威力					
76	皆川淇園	唐人詩意図	一幅	江戸時代	通期
77	高久齋崖	秋山問奇図	一幅	江戸時代	前期
78	久隅守景	山水図	一幅	江戸時代	前期
79	久隅守景	山水図	一幅	江戸時代	後期
80	中山高楊	子猷尋戴図	一幅	江戸時代	通期
81	彭城百川	夏景山水図	一幅	江戸時代	通期
82	池大雅	溪山漁舍図	一幅	江戸時代	通期
83	池大雅	潇湘雨意図	一幅	江戸時代	通期
84	与謝蕪村	山水図	一幅	江戸時代	通期
85	長澤蘆雪	蓬萊山図	一幅	江戸時代	通期
86	浦上玉堂	山中訪隠者図	一幅	江戸時代	前期
87	浦上玉堂	山声松音図	一幅	江戸時代	前期
88	浦上玉堂	青山半秋図	一幅	江戸時代	後期
89	谷文晁	欲雨欲晴図	一面（額装）	江戸時代	通期
90	鶴亭	富士山図	一幅	江戸時代	前期
91	貫名海屋	山水図	一幅	江戸時代	通期
92	木村菴叟	夏景山水図	一幅	江戸時代	前期
93	十時梅屋	山水図	一幅	江戸時代	後期
94	岡田米山人	山水図	一幅	江戸時代	前期
95	岡田半江	秋溪尋友図	一幅	江戸時代	後期
96	田能村竹田	涼月談心図	一幅	江戸時代	通期
97	高橋草坪	夏山雨後図	一幅	江戸時代	後期
98	中林竹洞	夏冬山水図	双幅	江戸時代	通期
99	横井金谷	月夜山水図	一幅	江戸時代	前期
100	横井金谷	蜀道積雪	一幅	江戸時代	前期
101	野呂介石	山水図	一幅	江戸時代	通期
102	日根対山	山水図	一幅	江戸時代	後期
103	菅井梅閑	廬山観瀑図	一幅	江戸時代	後期
終章 書齋に吹く風					
104	池大雅	蘭石図	一幅	江戸時代	前期
105	池大雅	菊花図	一幅	江戸時代	通期
106	池大雅	柳陰呼舟図	一幅	江戸時代	後期
107	岡田米山人	柳陰水屋図	一幅	江戸時代	通期
108	桑山玉洲	雪中竹図	一幅	江戸時代	前期
109	浦上春琴	竹雀図	一幅	江戸時代	通期
110	与謝蕪村	枯石図	一幅	江戸時代	後期
111	与謝蕪村	牧馬図	一幅	江戸時代	通期

## (5) 講演会等

### ■記念講演会

「ドラッカーさんが愛した墨絵の世界—逸伝の室町水墨画家たち」

日時：11月1日(日) 14:00～

会場：山口県立美術館講座室

講師：河合正朝(千葉市美術館館長)

### ■シンポジウム ※雪舟研究会を兼ねる

「雪舟とその弟子」

日時：11月22日(日) 14:00～

会場：山口県立美術館講座室

パネリスト：渡邊雄二(九州産業大学教授)

綿田稔(文化庁文化財調査官)

荏開津通彦(山口県立美術館学芸員)

コーディネーター：影山純夫(神戸大学名誉教授)

### ■学芸員によるギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 10:00～(30分程度、申込不要)

### ■アクロス文化学び塾

「ドラッカー博士が愛した日本の水墨画」

日時：11月7日(土) 14:00～15:30

会場：アクロス福岡2階セミナー室2

講師：荏開津通彦(山口県立美術館学芸員)

# リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展

会 期 平成28年(2016)3月18日(金)～5月8日(日) 月曜休館  
 ※ただし3月21日、4月4日、5月2日は開館  
 主 催 山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口  
 後 援 ブリティッシュ・カウンシル  
 協 力 KLMオランダ航空、日本航空  
 特別協力 エフエム山口  
 特別協賛 エルクホームズ株式会社



ポスター A



ポスター B



チラシ表面



チラシ中面



タブロイド表面



タブロイド裏面



タブロイド中面

## (1) 趣旨

本展覧会はヴィクトリア女王治世下(1837～1901年)のイギリスで花開いた芸術文化を、世紀末のラファエル前派に焦点を合せて紹介するものである。19世紀イギリス絵画の傑作を所蔵する美術館として世界的に知られているリバプール国立美術館の収蔵品から、油彩画と水彩画計65点を展示。出品作品にはミレイ、バーン＝ジョーンズ、ウォーターハウスなどの代表作も含まれており、展覧会を構成する作品の全体的なクオリティの高さは特筆に値するものがある。その一方で、印象派に代表される同時代のフランス美術とは異なり、19世紀後半のイギリス美術は、文学作品を主題とするものが大半を占めている。それらには現代の日本人になじみの薄い物語や神話も多く、本展では、テレビCMや番組の特集、展覧会特設サイト、新聞連載等を通じてヴィクトリア朝英国の世界観を広く発信した。展示室では、作品解説を全点書き下ろしたほか、19世紀後半のイギリス美術の流れを体感的に把握しやすいよう、主要な作

品にテーマカラーのバックパネルをつける等の工夫を凝らして空間に抑揚をつけた。加えてタブロイド版の広報紙を制作して絵画の主題をわかりやすく解説する等、展示室の内外で物語と美術作品を結びつけ、重層的な鑑賞を促すことを目指した。

ラファエル前派というグループそのものの知名度が山口では低く、また作品を鑑賞するうえで、イギリスをはじめとする西洋文学の知識がある程度必要であることから、当初は苦戦が予想された展覧会ではあったが、多角的な広報戦略と展示効果、そして作品そのものの魅力によって、ヴィクトリア朝英国の優れた芸術文化を広く伝えることができた。



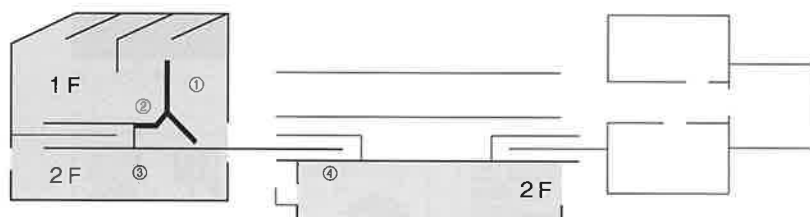
会場風景 1



会場風景 2

## (2) 会場構成

- ① I. ヴィクトリア朝ロマン主義
- ② II. 古代世界への憧れ
- ③ III. 風景へのまなざし
- ④ IV. 世紀末の夢



## (3) カタログ

編集 塩田純一、松沢寿重、山岸亜友美、高橋りほ、深谷克典、  
笠木日南子、宮澤政男、三谷知子、萬屋健司

編集協力 見原由紀子

制作 印象社

発行 有限会社 アルティス



カタログ表紙

内容	005	ごあいさつ	
	011	ラファエル前派とロマン主義の絵画ーリバプールより	クリストファー・ニューアル
	019	地上の楽園とラファエル前派の夢	木島俊介
	026	I. ヴィクトリア朝のロマン主義者たち	
	042	ラファエロ伝説とラファエル前派	松沢寿重
	058	II. 古代世界を描いた画家たち	
	063	ヴィクトリア朝時代のイギリスにおけるヌード	笠木日南子
	096	III. 戸外の風景	
	104	湖水地方のイメージ プラントウッドを出発点として	柳澤宏美
	116	19世紀後半の象徴主義者たち	
	144	J・W・ウォーターハウス《デカメロン》10人目の語り手	萬屋健司
	155	リバプール 市民と芸術支援	クリストファー・ニューアル
	160	作家解説	



170	ラファエル前派関連年表
177	主要参考文献
183	Pre-Raphaelite and Romantic Painting from Liverpool
187	LIVERPOOL-People and Patronage
190	Catalogue
216	Select Bibliography
219	List of Works
* A4変型判(300×227 mm) 224ページ	

Christopher Newall  
Christopher Newall

#### (4) 出品目録

cat.no.	作家名	作品名	制作年	材質・技法
I. ヴィクトリア朝のロマン主義者たち				
1	ジョン・エヴァレット・ミレイ	いにしへの夢—浅瀬を渡るイサンブラス卿	1856-57年	油彩・カンヴァス
2	ジョン・エヴァレット・ミレイ	《いにしへの夢—浅瀬を渡るイサンブラス卿》のバージョン	1863年	グワッシュ・紙
3	ジョン・エヴァレット・ミレイ	春(林檎の花咲く頃)	1859年	油彩・カンヴァス
4	ジョン・エヴァレット・ミレイ	ブラック・ブランズウィッカーズの兵士	1860年	油彩・カンヴァス
5	ジョン・エヴァレット・ミレイ	森の中のロザリンド	1867-68年頃	油彩・板
6	ジョン・エヴァレット・ミレイ	ソルウェーの殉教者	1871年頃	油彩・カンヴァス
7	ジョン・エヴァレット・ミレイ	良い決心	1877年	油彩・カンヴァス
8	ジョン・エヴァレット・ミレイ	渠	1887年に最初の出品	油彩・カンヴァス
9	フォード・マドックス・ブラウン	花束	1865-67年	水彩、グワッシュ、黒チョーク・紙
10	フォード・マドックス・ブラウン	コーディリアの分け前	1866-72年	水彩、グワッシュ、パステル・紙
11	アーサー・ヒューズ	聖杯を探すガラハッド卿	1870年に最初の出品	油彩・カンヴァス
12	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	シビラ・パルミフェラ	1865-70年	油彩・カンヴァス
13	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	パンドラ	1878年	カラーチョーク・紙
14	シメオン・ソロモン	泉の少女	1865年	水彩、グワッシュ・紙
15	アントニー・オーガスタス・フレデリック・サンズ	トロイアのヘレネ	1866年頃	油彩・パネル
16	ダニエル・マクリース	祈りの後のマデライン	1868年に最初の出品	油彩・カンヴァス
17	ジョージ・ジョン・ピンウエル	ギルバート・ア・ベケット誠実 —夕暮れ時にロンドンへ入るサラセン人の乙女	1872年	グワッシュ、鉛筆・紙
II. 古代世界を描いた画家たち				
18	ローレンス・アルマ＝タデマ	打ち明け話	1869年	油彩・パネル
19	ローレンス・アルマ＝タデマ	バックス神の巫女(「彼がいるわ!」)	1875年	油彩・パネル
20	ローレンス・アルマ＝タデマ	テビグリウム	1881年	油彩・パネル
21	ローレンス・アルマ＝タデマ	お気に入りの詩人	1888年	油彩・パネル
22	ローレンス・アルマ＝タデマ	美しさの盛りに	1911年	水彩・カード紙
23	フレデリック・レイトン	《ダフネフォリア》のための習作	1875年頃	油彩・板
24	フレデリック・レイトン	書見台での学習	1877年	油彩・カンヴァス
25	フレデリック・レイトン	ブサマテー	1879-80年	油彩・カンヴァス
26	フレデリック・レイトン	エレジー	1888年	油彩・カンヴァス
27	フレデリック・レイトン	ベルセウスとアンドロメダ	1891年	油彩・カンヴァス
28	チャールズ・エドワード・ベルジーニ	ドルチェ・ファール・ニエンテ(甘美なる無為)	1882年	油彩・カンヴァス
29	チャールズ・エドワード・ベルジーニ	シャクヤクの花	1887年に最初の出品	油彩・カンヴァス
30	エドワード・ジョン・ポインター	愛の神殿に居るプシケ	1882年	油彩・カンヴァス
31	エドワード・ジョン・ポインター	テラスにて	1889年に最初の出品	油彩・パネル
32	アルバート・ジョゼフ・ムーア	夏の夜	1890年に最初の出品	油彩・カンヴァス
33	アーサー・ハッカー	ペラジアとフィロモン	1887年	油彩・カンヴァス
34	ハーバート・ジェイムズ・ドレイパー	イカロスへの哀悼	1898年頃	油彩・パネル
35	ジョージ・アドルフ・ストレイ	ダナイスたちの徒勞	1903年	水彩、グワッシュ・紙
36	ジョージ・オーウェン・ウイン・アバリー	プロクリスの死	1915年	水彩、グワッシュ・紙
III. 戸外の風景				
37	ウィリアム・ヘンリー・ハント	卵のあるツグミの巣とプリムラの籠	1850-60年頃	グワッシュ、水彩・紙
38	ダニエル・アレクサンダー・ウィリアムソン	曇り空の日	1865年	水彩・紙
39	ジョージ・ブライス・ボイス	サリー州アビンジャー近くの砂採取場	1866-77年	水彩、グワッシュ・紙
40	ウィリアム・ホルマン・ハント	イタリア人の子ども(藁を編むトスカナの少女)	1869年	油彩・カンヴァス
41	ジョン・ラスキン	旧コニストン・ホール	1878年	水彩・紙
42	フレデリック・ウォーカー	魚屋の店	1872年	水彩、グワッシュ・紙
43	ケイト・グリーナウェイ	お嬢さん達	1879年頃	水彩・紙
44	アルフレッド・ウィリアム・ハント	グラム	1881年(推定)	水彩・紙
45	ヘレン・アリンガム	ピナーの古民家	1890年代初め	水彩・紙
46	ジェームズ・ハミルトン・ヘイ	流れ星	1909年	油彩・カンヴァス

47	フレデリック・ケイリー・ロビンソン	バルコニー	1920年	テンペラ、水彩・紙
IV. 19世紀後半の象徴主義者たち				
48	ジョージ・フレデリック・ワッツ	十字架下のマグダラのマリア	1866-84年	油彩・カンヴァス
49	ジョージ・フレデリック・ワッツ	「これを女と名付けよう」	1971年頃	油彩・カンヴァス
50	ジョージ・フレデリック・ワッツ	プシュケ(クビドに置き去りにされたプシュケ)	1875年	油彩・カンヴァス
51	ジョージ・フレデリック・ワッツ	《希望》のためのスケッチ	1877-86年頃	油彩・パネル
52	ジョージ・フレデリック・ワッツ	愛と生	1904年	油彩・カンヴァス
53	エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	速作(いばら姫)最初の場面《眠れる騎士たち》の習作	1870年頃	油彩・カンヴァス
54	エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フラジオレットを吹く天使	1878年	水彩、グワッシュ、金彩・紙
55	エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	スボンサ・デ・リバノ	1891年	水彩、グワッシュ・紙
56-a	エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	《スボンサ・デ・リバノ》のための女性頭部習作	1891年頃	黒チョーク・和紙
56-b	エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	《スボンサ・デ・リバノ》のための女性頭部習作	1891年頃	カラーチョーク、水彩・紙
57	ジョン・メリッシュ・ストラドウィック	「おお、ツバメよ、ツバメ」	1894年	油彩・カンヴァス
58	ジョン・メリッシュ・ストラドウィック	聖セシリア	1896年に最初の出品	油彩・パネル
59	トーマス・ミリー・ダウ	エヴァ：炎の中でシンバルを持つ天使： 竖琴を持つ天使(三連画)	1897-1906年	油彩・カンヴァス
60	ジョン・ロダム・スペンサー・スタナップ	楽園追放	1900年に最初の出品	油彩・カンヴァス
61	ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	エコーとナルキッソス	1903年	油彩・カンヴァス
62	ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	デカメロン	1916年	油彩・カンヴァス
63	ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	魔法をかけられた庭	1916-17年	油彩・カンヴァス
64	エレノア・フォーテスク＝ブリックデール	小さな召使い(乙女エレン)	1905年に最初の出品	油彩・カンヴァス
65	ロバート・アニング・ベル	警鐘	1919年	水彩・紙

※作品はすべてリパブール国立美術館蔵

## (5) 講演会等

### ■美術講座

「もっと知りたい！ラファエル前派展－描かれた物語の世界」

講師：萬屋健司(山口県立美術館専門学芸員)

日時：3月26日(日) 14:00～15:00

場所：山口県立美術館講座室

定員：80名(当日先着順)、聴講無料

### ■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：3月19日・26日、4月2日・9日・16日・23日 10:00～(30分程度)

### ■美術館ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日時：4月2日・9日・16日・23日 11:00～(30分程度)

### ■託児サービス：ちびっこルーム

日時：会期中毎週木曜日 10:00～13:00(定員制・要予約)

会場：山口県立美術館講座室

# 遙かなる山 発見された風景美

会 期 平成28年(2016)5月26日(木)~7月3日(日)  
 主 催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送  
 協 力 公益社団法人 日本山岳会  
 山口会場 山口県山岳連盟、エフエム山口  
 特別協力



ポスター



チラシ表面



チラシ裏面



タブロイド表面



タブロイド中面

## (1) 趣旨・概要

明治時代の後半期、近代登山が始まると同時に「風景画」としての山岳画も描かれ始める。その歴史的展開を戦前までのおよそ50年間の流れの中に追ってみようと、「岳都」松本の松本市美術館と共同で企画を立てた。

出品点数は洋画、日本画、水彩画、版画、彫刻合わせて120点。出品作家は大下藤次郎、丸山晩霞、吉田博、中村清太郎、茨木猪之吉、石井鶴三、足立源一郎、五百城文哉、高島北海、石崎光瑠、武井真澄、平福百穂、冨田溪仙、山元春挙、玉井敬泉、小山正太郎、中村不折、児玉果亭、山本森之助、有島生馬、中澤弘光、中村研一、香田勝太、織田一磨、高村光太郎、安井曾太郎、児島善三郎、長谷川三郎、島崎鶏二、東山魁夷、清水登之、坂本繁二郎、赤松麟作、横山大観、川合玉堂、鹿子木孟郎、竹内栖鳳、川北霞峰、児玉希望、結城素明、川村曼舟、中川八郎、菊池華秋、榎本千花俊、古賀春江、大久保作次郎の46名にのぼった。このうち大下、丸山、中村、茨木、石井、足立、高島、石崎、武井、平福、冨田、山元、玉井、竹内は、明治38年に結成された日本初の登山クラブ、「日本山岳会」(当初の名称は「山岳会」)の会員でもあった。

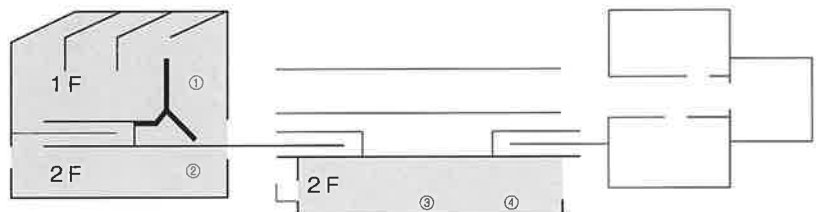
時代が下がるにつれて山岳表現の個性化・多様化が目立ってくるとともに、登山という行為がレクリエーション化されていく様子も作品から実感することができた。現在、登山人口は830万人とも言われる「山ブーム」を迎え、国民の祝日「山の日」も施行された今日、多くの人々の関心をひくテーマだったと思われる。



会場風景

## (2) 会場構成

- ① 1 絶頂への憧れ 山岳美の発見
- ② 2 山への視線 山のかたち
- ③ 3 山への視線 水のうごき
- ④ 4 山への視線 人のすがた



### (3) カタログ

発行 山口朝日放送株式会社

内容 009 ごあいさつ

013 第1章 絶頂への憧れ—山岳美の発見

071 第2章 山への視線—山をめぐるさまざまな風景と表現

072 山のかたち

089 水のうごき

098 人のすがた

110 地図

114 遥かなる山—発見された風景美はいかに描かれたか

122 はじまりはMATSUMOTO—山は大にぎわい

131 美術家・石井鶴三の山行—スケッチブックとともに—

140 Natural born mountaineer 生まれつきの山男—武井真澄— 大西哲理

145 関連年表

153 参考文献

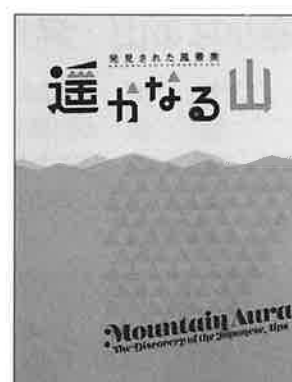
154 作品リスト

\*A4変型判(284×220mm)160ページ

斎藤郁夫

細萱禮子

大島武



カタログ表紙

### (4) 出品目録

#### 1 絶頂への憧れ—山岳美の発見

no.	作者	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法 (cm)	所蔵先
1	大下藤次郎	磐梯山噴火口	明治 39 年 (1906)	水彩、紙	22.9 × 34.1	島根県立石見美術館
2	大下藤次郎	六月の穂高岳	明治 40 年 (1907)	水彩、紙	31.0 × 48.0	市立大町山岳博物館
3	大下藤次郎	磐梯山噴火口	明治 40 年 (1907)	水彩、紙	34.2 × 51.9	島根県立石見美術館
4	大下藤次郎	檜原湖の秋	明治 40 年 (1907)	水彩、紙	61.2 × 97.2	島根県立石見美術館
5	大下藤次郎	穂高山の麓	明治 40 年 (1907)	水彩、紙	47.5 × 67.5	東京国立近代美術館
6	大下藤次郎	徳本小屋のほとり	明治 40 年 (1907) 頃	水彩、紙	21.9 × 33.2	島根県立石見美術館
7	大下藤次郎	飯坂	明治 40~44 年 (1907~11) 頃	水彩、紙	30.8 × 45.6	島根県立石見美術館
8	大下藤次郎	尾瀬沼・鏡ヶ岳	明治 42 年 (1909)	水彩、紙	33.5 × 50.5	島根県立美術館
9	大下藤次郎	西山峠	明治 42 年 (1909)	水彩、紙	32.9 × 22.2	島根県立石見美術館
10	大下藤次郎	飯坂附近	制作年不詳	水彩、紙	31.2 × 45.8	横浜美術館 小島豊氏寄贈 (小島烏水旧蔵)
11	大下藤次郎	雪の山 2	制作年不詳	水彩、紙	22.2 × 33.0	島根県立石見美術館
12	丸山晩霞	初夏の志賀高原	明治 42 年 (1909) 頃	水彩、紙	67.0 × 101.0	長野県信濃美術館
13	丸山晩霞	白馬三山	制作年不詳	油彩、カンヴァス	60.6 × 72.7	丸山晩霞記念館
14	丸山晩霞	山上の潤地	制作年不詳	水彩、紙	101.0 × 67.0	長野県信濃美術館
15	丸山晩霞	白馬神苑	制作年不詳	水彩、紙	66.0 × 105.0	個人
16	丸山晩霞	題名不詳 [神秘境]	制作年不詳	水彩、紙	34.2 × 51.0	横浜美術館 小島豊氏寄贈 (小島烏水旧蔵)
17	丸山晩霞	初夏の高原	制作年不詳	水彩、紙	67.0 × 100.0	丸山晩霞記念館
18	丸山晩霞	題名不詳 [夏の山岳風景]	制作年不詳	水彩、紙	67.8 × 50.3	横浜美術館 小島豊氏寄贈 (小島烏水旧蔵)
19	丸山晩霞	槍ヶ岳	制作年不詳	水彩、紙	64.0 × 98.5	丸山晩霞記念館
20	丸山晩霞	上の曇	制作年不詳	水彩、紙	49.0 × 68.0	個人
21	吉田博	山頂の花崗岩	大正 5 年 (1916)	油彩、カンヴァス	45.5 × 60.6	個人
22	吉田博	剋山	大正 7 年 (1918) 頃	油彩、カンヴァス	60.6 × 80.3	個人
23	吉田博	尾根伝い	大正 9 年 (1920) 頃	油彩、カンヴァス	80.3 × 60.6	個人
24	吉田博	有明山	大正 9 年 (1920)	油彩、カンヴァス	各 149.5 × 67.0	長野県信濃美術館
25	吉田博	槍ヶ岳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	80.3 × 60.6	個人
26	中村清太郎	初夏の槍ヶ岳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	65.2 × 80.3	公益社団法人 日本山岳会
27	中村清太郎	大雪山	制作年不詳	油彩、カンヴァス	45.5 × 53.0	市立大町山岳博物館
28	中村清太郎	白馬岳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	91.0 × 116.7	公益社団法人 日本山岳会
29	中村清太郎	立山残雪	制作年不詳	油彩、カンヴァス	65.0 × 80.5	市立大町山岳博物館
30	中村清太郎	黒部五郎岳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	53.0 × 41.0	市立大町山岳博物館
31	茨木猪之吉	風景	明治 44 年 (1911)	水彩、紙	66.0 × 90.5	市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
32	茨木猪之吉	初夏の常念岳	昭和 10 年 (1935)	油彩、カンヴァス	45.7 × 53.0	静岡県立美術館
33	茨木猪之吉	槍ヶ岳	昭和 13 年 (1938)	油彩、カンヴァス	33.4 × 45.5	公益社団法人 日本山岳会
34	茨木猪之吉	秋の鳥海山	昭和 18 年 (1943)	油彩、カンヴァス	45.5 × 53.0	池田町立美術館
35	茨木猪之吉	穂高湖沢池の平	昭和 18 年 (1943)	油彩、カンヴァス	38.0 × 45.5	市立大町山岳博物館
36	茨木猪之吉	題名不詳 [風景]	制作年不詳	油彩、カンヴァス	45.5 × 53.0	公益社団法人 日本山岳会
37	石井鶴三	森のおぼけ	大正 3 年 (1914)	水彩、紙	14.6 × 19.2	松本市美術館
38	石井鶴三	森の男	大正 4 年 (1915)	水彩、紙	14.7 × 19.2	松本市美術館

39	石井鶴三	やまのおばけ	大正4年(1915)	水彩、紙	194 × 157	松本市美術館
40	石井鶴三	やまのおばけ	大正5年(1916)	水彩、紙	14.5 × 19.1	松本市美術館
41	石井鶴三	やまのおばけ	大正5年(1916)頃	水彩、紙	14.6 × 19.1	松本市美術館
42	石井鶴三	高原	昭和3年(1928)	油彩、カンヴァス	33.2 × 45.4	東京藝術大学
43	石井鶴三	雷鳥	昭和3年(1928)	油彩、カンヴァス	各 40.1 × 27.8	小県上田教育会
44	石井鶴三	風	昭和11年(1936)	木	h.80.0	東京藝術大学
45	石井鶴三	志賀高原丸池	昭和12年(1937)	水彩、紙	22.6 × 31.3	小県上田教育会
46	足立源一郎	劔岳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	90.0 × 120.0	河口湖美術館
47	足立源一郎	諏城山脈 丸池にて	昭和6年(1931)	油彩、板	27.0 × 35.0	河口湖美術館
48	足立源一郎	着	昭和14年(1939)	油彩、板	35.0 × 26.5	河口湖美術館
49	足立源一郎	甲斐駒ヶ岳 鳳凰山にて	昭和16年(1941)	油彩、カンヴァス	27.5 × 35.1	河口湖美術館
50	足立源一郎	白馬連峰の春	制作年不詳	油彩、カンヴァス	65.4 × 91.0	河口湖美術館
51	五百城文哉	百花百草園	明治36年(1903)頃	絹本、水彩、掛軸	147.3 × 86.4	栃木県立美術館
52	五百城文哉	富士園	明治26～39年 (1893～1906)	水彩、紙、額	62.0 × 94.0	鳥根県立石見美術館
53	高島北海	日本亞伯槍ヶ岳園	明治44年(1911)	紙本墨画、六曲一双屏風	各 155.0 × 357.1	下関市立美術館
54	高島北海	常州筑波山・甲州鳳凰山園	明治44年(1911)	紙本墨画、六曲一双屏風	各 148.0 × 348.4	公益財団法人 菊屋家住宅保存会
55	石崎光瑤	立山写生園	明治40年(1907)	和紙、岩絵具、画卷	31.0 × 576.5	富山県立近代美術館
56	石崎光瑤	白山之雲華	明治43年(1910)頃	絹本彩色、掛軸	85.0 × 47.0	南砺市立福光美術館
57	石崎光瑤	信州槍ヶ岳之園	明治45・大正元年 (1912)頃	紙本墨画、掛軸	125.0 × 42.0	南砺市立福光美術館
58	武井真敬	雲海朝陽園	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双屏風	各 176.2 × 384.0	松本市美術館
59	武井真敬	高山の園	制作年不詳	絹本墨画、掛軸	204.5 × 114.1	松本市美術館
60	平福百穂	晩山残照	昭和3年(1928)	紙本墨画淡彩、掛軸	59.0 × 75.0	富山県水墨美術館
61	平福百穂	高原	昭和6年(1931)	紙本着色、掛軸	72.0 × 92.0	京都国立近代美術館
62	富田溪仙	立山獅子鼻越え	明治44～大正5年 (1911～1916)	絹本墨画淡彩、掛軸	117.4 × 41.7	福岡市美術館
63	山元春挙	万年雪園	大正4年(1915)	絹本着色、六曲一双屏風	各 166.2 × 376.0	滋賀県立近代美術館
64	山元春挙	山上楽園	大正11年(1922)	絹本着色、額	236.0 × 176.0	京都市美術館
65	玉井敬泉	白山園	大正10年(1921)	絹本着色、六曲一双屏風	各 168.5 × 344.0	石川県立美術館
<b>2 山への視線——山をめぐるさまざまな風景と表現</b>						
66	小山正太郎	春日山より米山を望む	明治22年(1889)頃	油彩、カンヴァス	69.9 × 136.8	JX エネルギー株式会社
67	中村不折	淡煙	明治32年(1899)	油彩、カンヴァス	84.5 × 132.9	宮内庁三の丸尚蔵館
68	児玉果亭	深山大沢	明治35年(1902)	絹本墨画、掛軸	169.7 × 83.8	長野県信濃美術館
69	山本森之助	妙義山	大正4年(1915)頃	油彩、カンヴァス	40.9 × 53.0	長崎県美術館
70	有島生馬	霧島連山遠望	昭和6年(1931)	油彩、カンヴァス	65.2 × 80.3	小杉放菴記念日光美術館
71	中澤弘光	上高地大正池	昭和7年(1932)	油彩、カンヴァス	60.6 × 80.3	小杉放菴記念日光美術館
72	中村研一	大雪山	昭和9年(1934)頃	油彩、カンヴァス	65.2 × 80.3	小杉放菴記念日光美術館
73	香田勝太	大山	昭和10年(1935)頃	油彩、カンヴァス	65.2 × 91.0	小杉放菴記念日光美術館
74	織田一磨	「日本名山画譜」より 3. 信州八ヶ岳立科山	昭和9年(1934)	リトグラフ、紙	32.5 × 47.5	東京国立近代美術館
75	織田一磨	「日本名山画譜」より 7. 飛騨高山見座沼からみた乗鞍ヶ岳	昭和10年(1935)	リトグラフ、紙	33.0 × 48.0	東京国立近代美術館
76	織田一磨	「日本名山画譜」より 8. 黒部宇奈月温泉夜景	昭和10年(1935)	リトグラフ、紙	48.0 × 33.3	東京国立近代美術館
77	織田一磨	「日本名山画譜」より 17. 焼岳	昭和12年(1937)	リトグラフ、紙	33.5 × 48.0	東京国立近代美術館
78	織田一磨	「日本名山画譜」より 18. 上高地ほだか真	昭和13年(1938)	リトグラフ、紙	32.7 × 47.5	東京国立近代美術館
79	高村光太郎	上高地風景	大正2年(1913)	油彩、カンヴァス	79.0 × 59.2	神奈川県立近代美術館寄託
80	安井曾太郎	秋の霞沢岳	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	53.7 × 69.0	長野県信濃美術館
81	児島善三郎	箱根	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	131.0 × 163.0	三重県立美術館
82	長谷川三郎	星空の富士	昭和9年(1934)	油彩、カンヴァス	130.7 × 162.4	山口県立美術館
83	鳥崎篤二	恵那山	昭和10年(1935)	油彩、カンヴァス	45.0 × 53.0	藤村記念館
84	東山魁夷	焼岳初冬	昭和6年(1931)	絹本着色、額	209.0 × 168.5	武陽会 (兵庫県立美術館寄託)
85	東山魁夷	山	昭和15年(1940)	紙本彩色、六曲一隻屏風	168.0 × 369.0	富山県水墨美術館
86	清水登之	牛(神陵比婆山)	昭和15年(1940)	油彩、カンヴァス	143.0 × 292.0	栃木県立美術館
87	坂本繁二郎	夏野	明治31年(1898)	油彩、カンヴァス	71.0 × 116.0	石橋財団石橋美術館寄託
88	赤松麟作	霧の穂高	昭和15年(1940)	油彩、カンヴァス	60.7 × 80.5	岡山県立美術館
89	丸山晩霞	高原の秋草	明治35～43年 (1902～10)頃	水彩・紙	33.3 × 50.2	丸山晩霞記念館
90	横山大観	立山遠望	明治35年(1902)頃	絹本墨画淡彩、掛軸	120.0 × 49.0	富山県水墨美術館
91	横山大観	雨後之山	昭和16年(1941)	絹本墨画、掛軸	54.0 × 71.0	富山県水墨美術館
92	川合玉堂	妙義雨後園	明治44年(1911)	絹本着色、掛軸	170.0 × 86.2	岐阜県美術館
93	山本森之助	濁らぬ水	明治42年(1909)	油彩、カンヴァス	61.3 × 81.5	静嘉堂文庫美術館
94	吉田博	黒部川の吊橋	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	116.7 × 80.3	鳥根県立美術館
95	鹿子木孟郎	大和吉野川の漂流	昭和8年(1933)	油彩、カンヴァス	89.4 × 130.0	三重県立美術館
96	竹内栖鳳	溪流(未完)	昭和時代	紙本墨画淡彩、額	262.1 × 206.7	京都市美術館
97	川北霞峰	温泉場のほとり	昭和4年(1929)	紙本着色、四曲一隻屏風	182.0 × 264.0	京都市美術館
98	児玉希望	飛泉深々	昭和6年(1931)	絹本彩色、額	260.0 × 145.0	広島県立美術館
99	結城素明	曙光	昭和11年(1936)	絹本着色、額	178.5 × 118.0	富山県立近代美術館
100	吉田博	日本アルプス十二題「劔山の朝」	大正15・昭和元年 (1926)	木版、紙	37.0 × 24.8	個人
101	吉田博	日本アルプス十二題「鷲羽岳の野営」	大正15・昭和元年 (1926)	木版、紙	37.0 × 24.8	個人

102	吉田博	日本アルプス十二題「槍ヶ岳」	大正 15・昭和元年 (1926)	木版、紙	37.5 × 24.8	個人
103	吉田博	日本アルプス十二題「針木雪渓」	大正 15・昭和元年 (1926)	木版、紙	37.0 × 24.4	個人
104	吉田博	日本南アルプス集「駒ヶ岳岩小屋」	昭和 3 年(1928)	木版、紙	24.7 × 37.7	個人
105	吉田博	日本南アルプス集「露営 北岳間の岳」	昭和 3 年(1928)	木版、紙	24.6 × 37.6	個人
106	吉田博	露営	制作年不詳	油彩、カンヴァス	45.5 × 60.5	個人
107	吉田博	針木雪渓	制作年不詳	油彩、カンヴァス	33.5 × 44.5	個人
108	石井鶴三	自画像(山上にて)	大正 4 年(1915)	水彩、紙	33.1 × 25.8	松本市美術館
109	足立源一郎	写生帖「南アルプス 1」北沢小舎	昭和 6 年(1931)	コンテ、水彩、紙	17.7 × 23.5	山梨県立文学館
110	足立源一郎	写生帖「南アルプス 2」三伏小舎	昭和 6 年(1931)	コンテ、水彩、紙	17.7 × 23.5	山梨県立文学館
111	足立源一郎	写生帖「立山剣」室堂	昭和 6 年(1931)	コンテ、水彩、紙	17.7 × 23.5	山梨県立文学館
112	川合玉堂	駒ヶ岳	大正 3 年(1914)	絹本着色、掛軸	163.0 × 85.5	岐阜県美術館
113	川村曼舟	山岳登攀	昭和 5 年(1930)頃	絹本着色、掛軸	164.5 × 70.5	滋賀県立近代美術館
114	山元春挙	高嶽登攀之図	昭和 5 年(1930)頃	絹本着色、掛軸	140.0 × 50.7	滋賀県立近代美術館
115	高島北海	日本亜伯山雪渓踏破図	大正 5 年(1916)	絹本墨画着色、掛軸	130.5 × 50.5	山口県立美術館
116	中川八郎	裾野残雪	大正 9 年(1920)	油彩、カンヴァス	61.0 × 80.5	愛媛県美術館
117	菊池華秋	雪晴	昭和 13 年(1938)	絹本着色、額	189.8 × 202.2	島根県立石見美術館
118	榎本千花俊	滑れ銀嶺 歓喜を乗せて / 鉄道省	昭和 13 年(1938)	ポスター、額	105.3 × 72.4	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN,2694-06/59)
119	古賀春江	夏山	昭和 2 年(1927)	油彩、カンヴァス	90.9 × 116.7	愛知県美術館
120	大久保作次郎	山へ	昭和 15 年(1940)	油彩、カンヴァス	112.0 × 145.0	千葉県立美術館

## (5) 講演会等

### ■記念トークショー

「山の絵から迫る山登りの魅力」

日 時：6月19日(日) 14：00～15：30

ゲスト：市毛良枝(俳優、特定非営利法人トレッキング協会理事/環境カウンセラー)、ゲキ(イラストレーター)

会 場：山口県立山口図書館レクチャールーム

定 員：200名

### ■入門講座

「遥かなる山 発見された風景美」

日 時：5月29日(日) 14：00～15：00

講 師：斎藤郁夫(山口県立美術館副館長)

会 場：山口県立美術館講座室

定 員：80名

### ■学芸員によるギャラリー・トーク

日 時：6月4日・11日・18日・25日(いずれも土曜日) 10：00～(30分程度)

### ■美術館ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日 時：会期中毎週土曜日、11：00～(30分程度)

### ■託児サービス：ちびっこルーム

日 時：会期中毎週木曜日 10：00～13：00(定員制・要予約)

会 場：山口県立美術館講座室

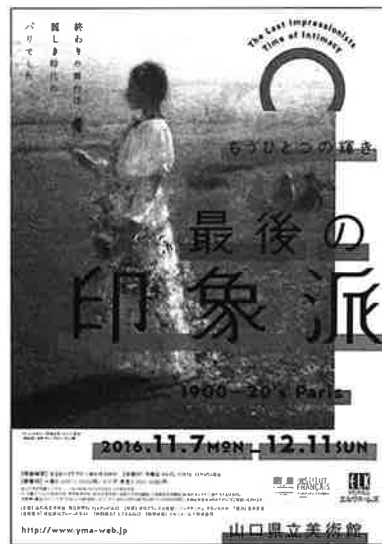
# もうひとつの輝き 最後の印象派 1900-20's Paris

## The Last Impressionists: Time of Intimacy

会 期 平成28年(2016)11月7日(月)～12月11日(日) 月曜休館  
 ※ただし、11月7日、12月5日は開館  
 主 催 山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口  
 後 援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本  
 協 力 日本航空  
 企画協力 株式会社ブレントラスト  
 特別協力 エフエム山口  
 特別協賛 エルクホームズ株式会社



ポスター



チラシ表面



チラシ裏面

### (1) 趣旨・概要

1900年、ベル・エポック(良き時代)とも呼ばれる繁栄の時代を迎えていたパリで設立された「ソシエテ・ヌーヴェル(画家彫刻家新協会)」のこのグループに所属した芸術家の多くは、長らくパリの画壇で権威を誇った公募展「サロン」で入選を果たしており、まさに画壇の中心にいた。彼らの多くは光の表現を探求しながら、主に自然や家族など身近な世界を描き、その中に何らかの意味や感覚を生じさせようとした。自然に忠実な姿勢を受け継いだ最後の世代である彼らは、その意味で「最後の印象派」と言える。

一方でこの時代、キュビズム、シュルレアリスム、抽象絵画など、次々に登場した革新的な表現が、絵画芸術を大きく変えていった。その流れの中で、穏やかな画風を示した「ソシエテ・ヌーヴェル」の画家たちは、次第に忘れ去られたのである。しかし彼らは、親しみやすい作風が強く支持されたベル・エポックの時代と雰囲気を代表する存在であった。

本展覧会は、今まで看過されてきた彼らの活動に改めて光を当てたものである。会場では「ソシエテ・ヌーヴェル」の画家たちを、それぞれの特色や会に参加した時期などで6章に分けて紹介。会員の多種多様さ、共通する穏やかな作風という特色を、パステル調の色彩に絞って各章ごとにパネルの色を変えることで視覚化した。



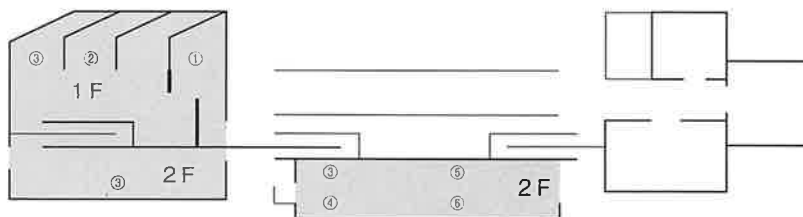
会場風景 展示室 F



会場風景 展示室 D

## (2) 会場構成

- ① 1 エコール・デ・ボザールの仲間たち
- ② 2 北部の仲間たち
- ③ 3 「バンド・ノワール(黒い一団)」の仲間たち
- ④ 4 ベルギーの仲間たち
- ⑤ 5 遅れてやってきた仲間たち
- ⑥ 6 最後に加わった仲間たち



## (3) カタログ

- 監修・執筆 ヤン・ファリノーニル・シダネル(美術史家)  
古谷可由(公益財団法人 ひろしま美術館)
- 編集 株式会社ブレントラスト
- 制作 印象社
- 内容 008 序 古谷可由  
010 最後の印象派—アンティミストの時代 ヤン・ファリノーニル・シダネル  
021 第1章 エコール・デ・ボザールの仲間たち  
Chapitre 1 CAMARADES À L'ÉCOLE DES BEAUX-ARTS  
044 第2章 北部の仲間たち  
Chapitre 2 AMITIÉS DU NORD  
060 第3章 「バンド・ノワール(黒い一団)」の仲間たち  
Chapitre 3 LA BANDE NOIRE  
091 第4章 ベルギーの仲間たち  
Chapitre 4 AMITIÉS BELGES  
098 第5章 遅れてやってきた仲間たち  
Chapitre 5 NOUVEAUX ARRIVANTS  
110 第6章 最後に加わった仲間たち  
Chapitre 6 DERNIERS ARRIVANTS  
126 関連略年表  
128 本展出品作家の作品に出会える主な国内美術館  
130 LES DERNIERS IMPRESSIONNISTES – LE TEMPS DE L'INTIMITÉ  
Yann Farinaux-Le Sidaner  
146 出品作所蔵館紹介  
147 出品リスト|Liste des œuvres  
\* A4変型判(290×225mm)152ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

no.	作者	作品名	制作年	技法	所蔵先
1	エコール・デ・ボザールの仲間たち				
1	エドモン・アマン＝ジャン	バラ色の帽子を被るタデー	1893年頃	油彩・キャンヴァス	個人蔵
2	エドモン・アマン＝ジャン	タデー・アマン＝ジャンの肖像	1894年	油彩・板	個人蔵
3	エドモン・アマン＝ジャン	花々の中で	1897年	リトグラフ・紙	個人蔵
4	エドモン・アマン＝ジャン	笑みをたたえた女性	1897年	リトグラフ(カラー)・紙	個人蔵
5	エドモン・アマン＝ジャン	仮面を手にもつ女性	1900年	リトグラフ(カラー)・紙	個人蔵
6	エドモン・アマン＝ジャン	果物かごをもつ女性	1911年	エッチング・紙	個人蔵
7	エドモン・アマン＝ジャン	アンティミテ(日常の一場面)	1905年	油彩・キャンヴァス	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
8	エドモン・アマン＝ジャン	リンとフランソワのアマン＝ジャン兄弟	1907年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
9	エドモン・アマン＝ジャン	囚われの女	1913年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
10	エドモン・アマン＝ジャン	幻想	1918年頃	油彩・板	個人蔵
11	エルネスト・ローラン	10月の夕べ	1898年	リトグラフ・紙	個人蔵



12	エルネスト・ローラン	入浴	1906年	モノタイプ・紙	個人蔵
13	エルネスト・ローラン	後ろ姿の裸婦	1912年	モノタイプ・紙	個人蔵
14	エルネスト・ローラン	麦わら帽子	1910年	油彩・キャンヴァス	シェルブール＝オクトゥヴィル、トマ・アンリ美術館
15	エルネスト・ローラン	背中	1923年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
16	アンリ・マルタン	野原を行く少女	1889年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
17	アンリ・マルタン	リュートをひくミュージ	1899年	リトグラフ・紙	個人蔵
18	アンリ・マルタン	緑の椅子の肖像、マルタン夫人	1910年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
19	アンリ・マルタン	収穫	1918年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
20	アンリ・マルタン	《収穫》のための習作：作物を束ねる農夫	1918年	油彩・板	個人蔵
21	アンリ・マルタン	ラバスティード＝デュ＝ヴェール、ミサからの帰り	1915年	油彩・キャンヴァス	トゥール美術館
22	アンリ・マルタン	シモーヌ・ル・シダネルの肖像	1931年	油彩・板	個人蔵
2 北部の仲間たち					
23	アンリ・ル・シダネル	日曜日	1898年	油彩・キャンヴァス	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
24	アンリ・ル・シダネル	輪舞	1899年	リトグラフ・紙	個人蔵
25	アンリ・ル・シダネル	コンコルド広場	1909年	油彩・キャンヴァス	トゥールコワン、ウジェーヌ・ルロワ美術館
26	アンリ・ル・シダネル	ジュエルプロワ、階段	1911年	リトグラフ・紙	個人蔵
27	アンリ・ル・シダネル	モントリイユ＝ベレー、窓辺	1914年	油彩・板	個人蔵
28	アンリ・ル・シダネル	テーブル、白の調和	1927年	油彩・キャンヴァス	パリ市立現代美術財団
29	アンリ・ル・シダネル	赤色のテーブルクロス	1931年	油彩・キャンヴァス	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
30	ウジェーヌ・ヴァイユ	エタブルの市場	1888年頃	油彩・キャンヴァス	個人蔵
31	アンリ・デュエム	羊飼いと羊の帰還		油彩・キャンヴァス	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
32	アンリ・デュエム	羊飼いと羊の群れ、夕暮れの海岸	1901年頃	グワッシュ・紙	個人蔵
33	アンリ・デュエム	カミエール、羊飼いと羊の群れ		油彩・キャンヴァス	パトリック・パタイユ氏蔵
34	フリッツ・タウロヴ	川沿いの集落	1895年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
3 「バンド・ノワール（黒い一団）」の仲間たち					
35	シャルル・コッテ	ウエサン島の老女	1908年	エッチング・紙	個人蔵
36	シャルル・コッテ	海辺		油彩・カルトン	ブレスト市立美術館
37	シャルル・コッテ	星の夜	1894年	油彩・キャンヴァス	ティエーリー・メルシエ画廊
38	シャルル・コッテ	悲しみ	1909年	エッチング・紙	個人蔵
39	リュシアン・シモン	私の家族	1892年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
40	リュシアン・シモン	リュクサンブール公園の午後		油彩・キャンヴァス	個人蔵
41	リュシアン・シモン	アトリエでの夜会	1903/04年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
42	リュシアン・シモン	喪服姿のビッグダン地方の家族	1912年	油彩・キャンヴァス	カンパール美術館
43	リュシアン・シモン	王女ナウシカ	1916年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
44	リュシアン・シモン	ル・セマフォルでの夜会	1925年頃	油彩・板	個人蔵
45	アンドレ・ドーシェ	海草を集める人々	1900年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
46	アンドレ・ドーシェ	雲の中の顔々		パステル、グワッシュ・カルトン	個人蔵
47	アンドレ・ドーシェ	レスコニーユの街はずれ	1928年	油彩・キャンヴァス	マリア・ドーシェ氏（作家遺族）蔵
48	アンドレ・ドーシェ	サント・マリーヌの玄関口	1914年	エッチング・紙	個人蔵
49	アンドレ・ドーシェ	ベノデへの上陸	1900年頃	エッチング・紙	個人蔵
50	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	スオコールト、寝台	1908年	油彩・板	アントワヌ＆クロード・プリネ＝ブーシェ＝ルクレルク氏蔵
51	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	語り継ぐ	1915年	油彩・板	アントワヌ＆クロード・プリネ＝ブーシェ＝ルクレルク氏蔵
52	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	スオコールト、私の寝台	1916年	油彩・板	アントワヌ＆クロード・プリネ＝ブーシェ＝ルクレルク氏蔵
53	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	書棚	1923年	油彩・板	アントワヌ＆クロード・プリネ＝ブーシェ＝ルクレルク氏蔵
54	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	カプールの浜辺	1910年頃	油彩・キャンヴァス	マリア・ドーシェ＝ガールスト氏蔵
55	ルネ＝グザヴィエ・ブリネ	友人の二人		油彩・キャンヴァス	パリ市立現代美術財団
56	エミール＝ルネ・メナール	自然公園のなかの川の精ナイアス	1895年	油彩・キャンヴァス	ブレスト市立美術館
57	エミール＝ルネ・メナール	秋	1897年	リトグラフ(カラー)・紙	個人蔵
58	エミール＝ルネ・メナール	オデー川、河口の眺め	1900年以前	油彩・キャンヴァス	個人蔵
59	エミール＝ルネ・メナール	バエストゥム遺跡	1900年頃	油彩・キャンヴァス	ヴィール美術館
60	エミール＝ルネ・メナール	ナイル川とテーベ山	1927年頃	油彩・キャンヴァス	L. M. シュネ氏蔵
61	ガストン・ラ・トゥーシェ	聖アントニウスの誘惑		油彩・キャンヴァス	個人蔵
62	ガストン・ラ・トゥーシェ	長椅子	1908年頃	油彩・板	アリ・ジャン画廊
4 ベルギーの仲間たち					
63	エミール・クラウス	リス川の夕陽	1911年	油彩・キャンヴァス	個人蔵/協力パトリック・ドゥロン画廊
64	エミール・クラウス	霞に煙るリス川		油彩・キャンヴァス	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
65	エミール・クラウス	私の庭	1922年	油彩・キャンヴァス	個人蔵

66	アルベール・パルトソン	ロンドン、カノン・ストリート・ブリッジ	1918年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
5 遅れてやってきた仲間たち					
67	ジャック＝エミール・ブランシュ	モーリス・ボレル夫人	1894年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
68	ジャック＝エミール・ブランシュ	読書する少女たち(マドレーヌとイヴォンスのルモワヌ姉妹)	1896年	リトグラフ(カラー)・紙	個人蔵
69	ジャック＝エミール・ブランシュ	ふたりの幼子	1896年	リトグラフ(カラー)・紙	個人蔵
70	アントニオ・デ・ラ・ガンダーラ	シャルロット・デ・ラ・ガンダーラの肖像	1912年頃	油彩・キャンヴァス	作家遺族蔵
71	アントニオ・デ・ラ・ガンダーラ	アンセルム・モルトリュイユの肖像	1912年	油彩・キャンヴァス	作家遺族蔵
72	ジョルジュ・デヴァリエール	リュシアン・シモンの肖像	1887年	油彩・板	個人蔵
73	アンリ・カロ＝デルヴァイユ	S夫人とその娘の肖像	1910-11年	油彩・キャンヴァス(楕円形)	ジョセット・デルヴァイユ氏蔵
6 最後に加わった仲間たち					
74	アルベール・ベナール	泉の前のマテイラ島の女たち	1911年	油彩・板	ドゥエ、シャルトルーズ美術館
75	アルベール・ベナール	ベナレス、ガンジス川のほとり	1912年	エッチング・紙	個人蔵
76	アルベール・ベナール	サビヌを流れる小川	1920年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
77	ウジェーヌ・カリエール	カリエール夫人	1883年	油彩・キャンヴァス	個人蔵
78	ウジェーヌ・カリエール	風景	1890年頃	油彩・キャンヴァス	ティエリー・メルシエ画廊
79	ウジェーヌ・カリエール	瞑想	1893年	リトグラフ・紙	個人蔵
80	ウジェーヌ・カリエール	アルフォンス・ドーデ	1890年頃	リトグラフ・紙	個人蔵
81	ジャン＝フランソワ・ラファエリ	オークの古木	1907年	エッチング、アクアチント・紙	個人蔵
82	ジャン＝フランソワ・ラファエリ	ヴィクトル・ユゴー 80歳を祝う祭り	1902年	油彩・キャンヴァス	ヴィクトル・ユゴー館(パリおよびゲルヌセ)
参考 作品	オーギュスト・ロダン	バルザック記念像の頭部(習作)	1897年	ブロンズ	公益財団法人ひろしま美術館

## (5) 講演会等

### ■鑑賞会

「tys木村智美アナと楽しむ『最後の印象派』ギャラリーツアーと秋のフレンチ」

日 時：11月18日(金) 17:30~20:50

講 師：展覧会解説：斎藤郁夫(山口県立美術館副館長)

料理解説：迫川哲規(マリーゴールド山口料理長)

司会進行：木村智美(tysテレビ山口アナウンサー)

定 員：ペア10組(20名)

### ■入門講座

「繁栄のバリ－ベル・エポックを彩った親密なる世界」

日 時：11月12日(土) 14:00~15:00

講 師：矢追愛弓(山口県立美術館学芸員)

会 場：山口県立美術館講座室

定 員：80名

### ■学芸員によるギャラリー・トーク

日 時：11月12日・19日・26日、12月3日 10:00~(30分程度)

### ■ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク

「みんなでみよう」

日 時：11月19日・26日、12月3日 11:00~(30分程度)

日伊国交樹立150周年記念  
世界遺産 ポンペイの壁画展

会 期 平成29年(2017)1月21日(土)～3月26日(日) 月曜休館 ※ただし2月6日、3月6日・20日は開館  
主 催 山口県立美術館、KRY山口放送  
協 賛 旭化成、大日本印刷、日本通運  
協 力 アリタリア-イタリア航空、日本貨物航空  
学術協力 ナポリ国立考古学博物館、ポンペイ監督局  
後 援 外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、伊日財団  
山口会場 山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、  
後 援 山口商工会議所、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合  
山口会場 エフエム山口  
特別協力  
山口会場 山口銀行(山口フィナンシャルグループ設立10周年記念)  
特別協賛



ポスター A



ポスター B



子どもチラシ表面  
(開いた状態・B4)



子どもチラシ中面



子どもチラシ表面  
(配布時の状態・B5)



子どもチラシ裏面  
(配布時の状態・B5)



チラシ表面  
(配布時の状態 / A、B 共通・A4)



チラシ A 裏面  
(配布時の状態)



チラシ B 裏面  
(配布時の状態)



チラシ中面  
(A、B 共通)



チラシ A 表面  
(開いた状態・A2 変型)



チラシ B 表面  
(開いた状態・A2 変型)

## (1) 趣旨

本展覧会は日本とイタリアの国交樹立150周年を記念して企画、開催されたものである。世界でもっとも有名な世界遺産の一つであるポンペイの遺跡から発掘された古代ローマ時代の遺物のなかから、とくに壁画を取り上げ、ポンペイ壁画コレクションの双璧であるナポリ国立考古学博物館とポンペイ監督局所蔵の貴重な作品を紹介した。過去1度を除いてイタリア国外に持ち出されたことのない《赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス》をはじめとして、出品作品はどれも人類史上重要な意味をもつものばかりであり、質・量ともに、日伊国交樹立150年の節目の記念にふさわしい大規模な展覧会となった。

2000年前の古代ローマの壁画を山口で見ることができ極めて貴重な機会であることから、広報にも一層注力し、ポスター、チラシ共に2種類ずつ制作した。また来館者が事前に得られる情報量を増やすとともに、展覧会への期待を高めるべく、チラシはA2変型版の大型フォーマットにし、加えて小中学生向けのこどもガイドを制作して配布した。展示室では、全点書き下ろしの作品解説に加えて、ポンペイの壁画がもともと古代ローマ人の邸宅の壁面装飾であったことから、「2000年前のポンペイにタイムスリップ」をテーマに大規模な造作を行い、壁画を一部立体展示で紹介するなど、古代ローマを体感できる空間づくりを目指した。

ポンペイの抜群の知名度とドラマチックな展示空間によって、年度末の展覧会であったが、多くの来館者を迎えることができた。テレビCMが話題になり、記念講演会、トークイベント等展覧会関連行事も盛況で、来館者からは絵画の主題や技法に加えて、優れた芸術文化を育んだ古代ローマの歴史や社会についての質問が多数寄せられた。ローマ時代の美術作品を通じた西洋文明の根源に対する関心の高まりが看取され、美術展という枠組みを超えた文化行事となった。



会場風景



会場風景



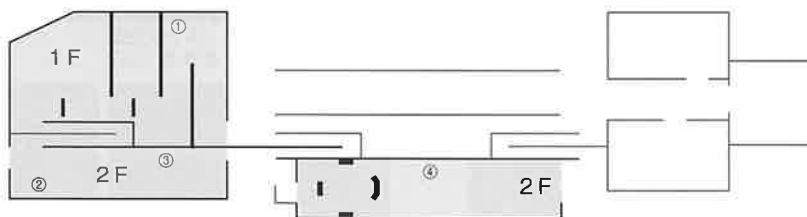
会場風景



会場風景

## (2) 会場構成

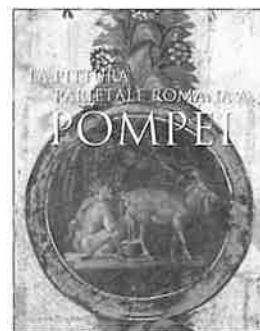
- ① I. 古代ローマの室内装飾
- ② II. ポンペイの日常
- ③ III. 神話と伝説
- ④ IV. 神々と信仰



## (3) カタログ

編集 東京新聞  
制作 アメックス・ファインアート  
印刷 大日本印刷  
発行 東京新聞、中日新聞、TBS  
内容 005 ごあいさつ

- 015 ポンペイ壁画のアメニタス 青柳正規  
017 ポンペイ、「天国のような」都市それとも属州の小都市？  
ウンベルト・パッパラルド  
025 「切り取れば、国王のギャラリーのための多くの美しい額絵となるだろう」  
(1739年) ヴェスヴィオ山周辺地域の壁画－具象的主题 ロザーリア・チャルディエッロ  
033 カタログ  
129 L'amoenitas negli affreschi di Pompei  
Masanori Aoyagi  
133 Pompei città "paradisiaca" o cittadina di provincia?  
Umberto Pappalardo  
139 Si taglieranno, e se ne farà tanti bei quadri per la galleria del re (1739) La pittura parietale dall'area  
vesuviana : i temi figurativi  
Rosaria Ciardiello  
146 用語解説



カタログ表紙

## (4) 出品目録

no.	作品名	出土地	材質・技法	時代・様式	所蔵先
<b>I. 建築と風景</b>					
01	赤い建築を描いた壁面装飾	ヴェスヴィオ山周辺地域	フレスコ	前1世紀後半、第2様式	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
02	黄色いアエディクラのある建築	テルツイーニョ、別荘6	フレスコ	前1世紀第3四半期、第2様式	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
03	仮面とタンパリンのある壁面	テルツイーニョ、別荘6	フレスコ	前1世紀第3四半期、第2様式	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
04	閉じた木戸のある建築	テルツイーニョ、別荘6	フレスコ	前1世紀第3四半期、第2様式	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
05	詩人のタブロー画がある壁面断片	ボンベイ、「黄金の腕輪の家」	フレスコ	後1世紀初頭、第3様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
06	エジプト青の壁面装飾	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
07	エジプト青の壁面装飾	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
08	女のケンタウロス	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
09	エジプト青の壁面装飾	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
10	エジプト青の天井装飾	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
11	エジプト青の天井装飾	トッレ・デル・グレコ、 ソーラ地区の海浜別荘	フレスコ	後1世紀半ば、第4様式初期	エルコラーノ、考古遺物収蔵庫
12	牧歌的神域風景と静物	エルコラーノ、ビゾーニョの農園	フレスコ	後1世紀、第3様式	ナポリ国立考古学博物館
13	神域風景	ヴェスヴィオ山周辺地域	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
14	グラッフィーティのある壁面	ボンベイ、バシリカ〔公共ホール〕	漆喰、着色とグラッフィーティ	前2世紀末、第1様式	ナポリ国立考古学博物館
15	キャリバス	ヴェスヴィオ山周辺地域	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
16	鉛直線用下げ振り	ヴェスヴィオ山周辺地域	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
17	鉛直線用下げ振り	ヴェスヴィオ山周辺地域	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
18	コンパス	ボンベイ	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
19	折尺	ヴェスヴィオ山周辺地域	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
20	ロック付きコンパス	ヴェスヴィオ山周辺地域	ブロンズ	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
21	鉄製の曲尺	ボンベイ	鉄	後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
22	顔料入り的小皿	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
23	小皿と黄色顔料	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
24	小皿とピンク色顔料	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
25	小皿と紫色顔料	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
26	小皿と赤色顔料	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
27	小皿と赤色顔料	ボンベイ		後1世紀	ナポリ国立考古学博物館
<b>II. 日常生活</b>					
28	カルミアーノ農園別荘、トリクリニウム	カルミアーノ、農園別荘(1)	フレスコ	後62-79年、第4様式	カステランマーレ・ディ・スタビア、考古遺物収蔵庫
29	植物の燭台	ボンベイ	フレスコ	<b>後30-40年、第3様式</b>	ナポリ国立考古学博物館
30	小鳥	ボンベイ	フレスコ	<b>後20-40年、第3様式</b>	ナポリ国立考古学博物館
31	静物	ボンベイ、「ディオメデスの別荘」	フレスコ	<b>後1世紀後半、第4様式</b>	ナポリ国立考古学博物館
32	コブラとアオサギ	ボンベイ、「エビグラムの家」	フレスコ	<b>後1世紀、第4様式</b>	ナポリ国立考古学博物館
33	犬のシュンクレトゥス	ボンベイ、「エビグラムの家」	フレスコ	<b>後1世紀、第4様式</b>	ナポリ国立考古学博物館
34	選挙広告の書かれた壁面	ボンベイ、「ウエレクンドゥスの工房」	フレスコ	<b>後50-79年、第4様式</b>	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
35	鳩を抱く子ども(幼児アドニス)	ボンベイ、「スケッススの家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
36	ふたりの女性のメダイオン	ボンベイ、「黄金の腕輪の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
37	戦車競走	ボンベイ、「四頭立て戦車の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
<b>III. 神話</b>					
38	ナルキッソス	ボンベイ	フレスコ	後62-79年、第4様式	ボスコレアレ、考古遺物収蔵庫
39	酩酊のヘラクレス	ボンベイ、「鉄のかまどの家」	フレスコ	後50-79年、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
40	アリアドネを見つけるディオニュソス	ボンベイ、「新狩猟の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
41	カッサンドラの予言	ボンベイ、「鉄格子窓の家」	フレスコ	後20-30年、第3様式	ナポリ国立考古学博物館
42	ディオニュソスとアリアドネ	ボンベイ、「黄金の腕輪の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
43	アレクサンドロス大王とスタテイラ	ボンベイ、「黄金の腕輪の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
44	蛇を絞め殺す赤ん坊のヘラクレス	エルコラーノ、アウグステウム	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
45	ケイロンによるアキレウスの教育	エルコラーノ、アウグステウム	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
46	赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス	エルコラーノ、アウグステウム	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館

47	テセウスのミノタウロス退治	エルコラーノ、アウグステウム	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
48	ダナエとペルセウスのセリフォス島漂着	ボンベイ、「エビグラムの家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
49	セレネとエンデュミオン	エルコラーノ	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
50	ヘラクレスとオンファレ	ヴェスヴィオ山周辺地域	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
IV. 神々と信仰					
51	犠牲式場面	ポルティチ、「王の厩舎の別荘」	フレスコ	前1世紀後半、第2様式	ナポリ国立考古学博物館
52	イシス女神官のヘルマ柱	ローマ、バラティヌス丘、「リウイアの家」	フレスコ	前30年頃、第2様式	ナポリ国立考古学博物館
53	有翼のウイクトリア	ボンベイ、「M・ファビウス・ルフスの家」	フレスコ	前1世紀、第2様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
54	トロパエウムを掲げる有翼のウイクトリア	ボンベイ	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
55	踊るマイナス	ボンベイ、「船団の家」	フレスコ	後1世紀後半、第3様式	ナポリ国立考古学博物館
56	横たわるマイナス	ボンベイ、「黄金の腕輪の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
57	マイナスとシレノス	ボンベイ	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫
58	天球儀	スタビア、「サン・マルコ荘」	フレスコ	後62-79年、第4様式	カステランマーレ・ディ・スタビア、考古遺物収蔵庫
59	ヘルメス	スタビア、「サン・マルコ荘」	フレスコ	後62-79年、第4様式	カステランマーレ・ディ・スタビア、考古遺物収蔵庫
60	竖琴弾きのアポロ	エルコラーノ、「モザイクのアトリウムの家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
61	ウエヌス	エルコラーノ、「モザイクのアトリウムの家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
62	デメテル	ボンベイ、「船団の家」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ナポリ国立考古学博物館
63	フェニックスと2羽のクジャク	ボンベイ、「エウクシヌスの家と食堂」	フレスコ	後1世紀後半、第4様式	ボンベイ、考古遺物収蔵庫

## (5) 講演会等

### ■記念講演会

「ボンベイの魅力」

講師：青柳正規(東京大学名誉教授)

日時：3月12日(日) 14:00~15:30

場所：山口県立山口図書館レクチャールーム

定員：150名(先着順・要事前申込)、聴講無料

### ■記念イベント

「ヤマザキマリ×とり・みき『プリニウス』スペシャル・トーク」

日時：2月26日(日) 14:00~15:30

場所：山口県教育会館大ホール

定員：300名(先着順・要事前申込)、聴講無料

### ■美術講座

「古代ローマとボンベイの壁画」

講師：萬屋健司(山口県立美術館専門学芸員)

日時：1月28日(土) 14:00~15:00

場所：山口県立美術館講座室

定員：80名(当日先着順)、聴講無料

### ■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：1月28日、2月4日・11日・18日・25日 10:00~(30分程度)

### ■美術館ボランティアによるこどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」

日時：2月4日・11日・18日・25日 11:00~(30分程度)

### ■託児サービス：ちびっこルーム

日時：会期中毎週木曜日 10:00~13:00(定員制・要予約)

会場：山口県立美術館講座室

## (2) 山口県美術展覧会

趣旨 「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること(つくる)のみならず、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかる。

## 第69回山口県美術展覧会

会期 平成27年(2015)9月26日(土)~10月12日(月・祝) 月曜休館

主催 山口県

運営委員(50音順)

岡本正康(下関市立美術館学芸係長)

倉田研二(山口県立大学国際文化学部講師)

白田 豊(画廊主催)

中野良寿(美術館、山口大学教育学部准教授、N3アトラボ代表)

原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部准教授)

山崎健司(総合企画部スポーツ・文化局文化振興課長)

山本綾香(防府市地域交流センター アスピラート事業係)

若林英樹(山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国館長)

### (1) 審査員(50音順)

河崎晃一(美術家、フリーキュレーター、甲南女子大学教授)

佐藤時啓(写真家、美術家、東京藝術大学美術学部教授)

水沢 勉(神奈川県立近代美術館館長)

### (2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
362点	97点	31点	128点	35.4%

### (3) 受賞者

〈大賞〉

ボクラノユクエ

深田佳心

山口市



大賞作品 ボクラノユクエ 深田佳心

〈優秀賞〉

昨今Ⅱ

ぬけがらのぬけがら

「おかげさまで…」

となりの彼女

TRAVEL

上本ひとし

大村洋二郎

大元時頼

下瀬信雄

山下哲郎

下松市

広島県

山口市

萩市

周防大島町

〈佳作〉		
想・在(翔)	一瀬章雄	長崎県
海に見える丘	菅野喜七	山口市
晩秋の日だまり	下瀬信雄	萩市
めじろおし(Ⅲ)	進ミツ子	光市
陶あかり…季の彩(花筏・聴雨・天花・葡萄・雪日)	田邑郁代	山口市
生物多様性1	千葉喜彦	山口市
夢をみる	戸田寛子	宇部市
陽々	なかじま愛	下関市
波のざわめき	中西正	周南市
刻のかたち(層)	西岡康雄	光市
深坂自然公園	花田博通	下関市
トロピカル・ドリーム	林由喜子	山口市
Untitled	平田詩織	周防大島町
太陽の王国	福永伸	山口市
0時の壁・記憶のあとⅡ	古谷幸明	宇部市
絆中毒	文化部R	下松市
幸福な休日(長門市阿惣ダムにて)	前野法広	下関市
3000m級めびら	松浦弥生	岩国市
ももくり	松田淳	島根県
山頭火の句	松田政道	下関市
海辺をめぐる	松本晃弘	山口市
接続と循環	山口功	山口市
仙崎漁港	山田史生	防府市
COMPOSITION(食の風景)	山根秀信	山口市
背戸回帰	吉見健太郎	山口市
sein	足立陽子	
〈特別展示〉		
私の中の子供へ	小田善郎	美祿市

#### (4) ワークショップ

##### ①「自作を語る」

県美展入選者・入賞者によるギャラリートークを会期中13回実施。

##### ②「私のイチオシ！」

美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。



# 第70回山口県美術展覧会

会期 平成28年(2016)9月23日(金)～10月10日(月・祝) 月曜休館

主催 山口県

## 運営委員

岡本正康(下関市立美術館主査)

倉田研二(山口県立大学国際文化学部准教授)

白田 豊(画廊主催)

道免憲司(山口観光スポーツ文化部文化振興課長)

中野良寿(美術館、山口大学教育学部教授、N3アートラボ代表)

原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部准教授)

山本綾香(防府市地域交流センター アスピラート事業係)

若林英樹(山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国館長)

## (1) 審査員 (50音順)

佐藤時啓(写真家、美術館、東京藝術大学美術学部教授)

島 敦彦(愛知県美術館館長)

外館和子(美術評論家)

## (2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
402点	106点	37点	143点	35.6%

## (3) 受賞者

〈大賞〉

Memento (グンバイナズナ)

保手濱拓

山口市



大賞作品 Memento (グンバイナズナ) 保手濱拓

〈優秀賞〉

糸デッサン

重い夏

萩鉄釉彩鉢

水の恵み(柳井市日積鳩子の滝)

『ドゥローイングによる行為とその現象

K・A・R・E・S・A・N・S・U・I

山口県立美術館2Fバージョン』

小川基博

河野孝文

田原崇雄

西本富雄

ミヨシイチロウ

防府市

光市

長門市

柳井市

岩国市

〈佳作〉		
テーブル	イソベキョウジ	長門市
残暑の頃	内山えいじ	周南市
Fugitives & Intruders	大村洋二郎	広島県
淡青釉鉢	岡田泰	萩市
青春	岡本国治	周南市
壺 可愛らしさをイメージして	國本八重子	宇部市
NEXT WORLD	國本ゆうじ	萩市
TRACES OF MY LIFE -by routine English exercise	斉藤武男	萩市
宙桜	重村哲雄	山口市
宇宙花火	重村哲雄	山口市
黒面で構成された器「屹」	嶋本葉介	宇部市
緋彩線条文壺	土田柁江	下松市
生命	土肥健次	岩国市
三匹の砦	止原理美	萩市
散華乱舞 I	中谷碧都梨	下関市
緑のスカート	遊洋子	下松市
ミズノシラベ -Ring267- 時の変容	ハセガワタカシ	山口市
万華郷	林由喜子	山口市
untitled	平田詩織	周防大島町
松の葉の赤・青・黄色で○△□	平山悟	宇部市
漁火のシンフォニー	藤田正利	萩市
糧（牛）2016	古川勝也	山口市
「Hi cheesel」	松田淳	島根県
熟れる角土	松本一雄	下関市
Days	村岡真樹	下関市
ひろしの心を詠む	村中寛	岩国市
プリクラ人形	安森信	岩国市
TRAVEL-1	山下哲郎	周防大島町
地にあるモノ	吉見健太郎	山口市
「命の灯」〈生命の尊さは、何処へ逝く?〉	Monzo渡邊	周南市
〈特別展示〉		
ボクノマナザシ	深田佳心	山口市

#### (4) ワークショップ

##### ①「自作を語る」

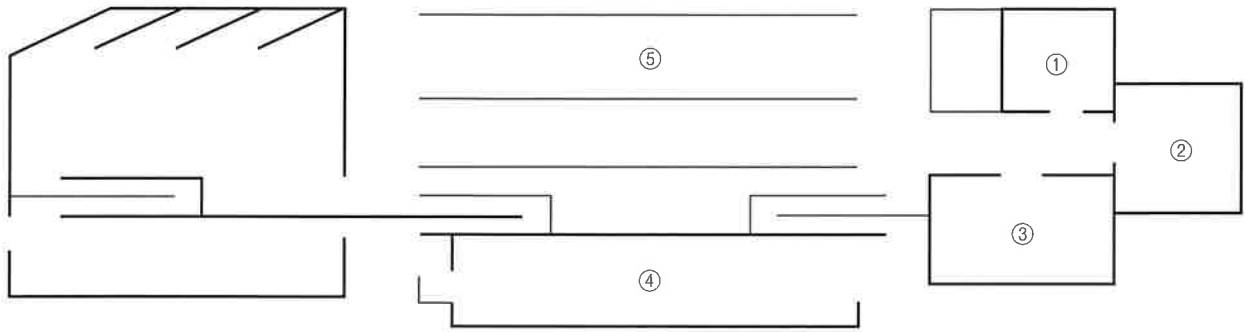
県美展入選者・入賞者によるギャラリートーク。会期中10回実施。

##### ②「私のイチオシ」

美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。

### (3) コレクション展

館蔵品(寄託品、借用作品を含む場合もある)の常時公開の場として常設展示室を設け、テーマを設定して館蔵品を紹介。平成20年度(2008)に、それまでの「常設展」から「コレクション展」に名称を変更。「いつもある作品の展覧会」(=常設)というイメージを払拭し、「企画性の高い収蔵品展」というイメージを醸成することで、入場者数増を狙った。また、毎週土曜日には展示室にて作品解説を実施し、作品のわかりやすい紹介に努めた。



展示室A・B・C (①~③)	462.309㎡
展示室D (④)	471.825㎡
野外展示場 (⑤)	1,370.000㎡

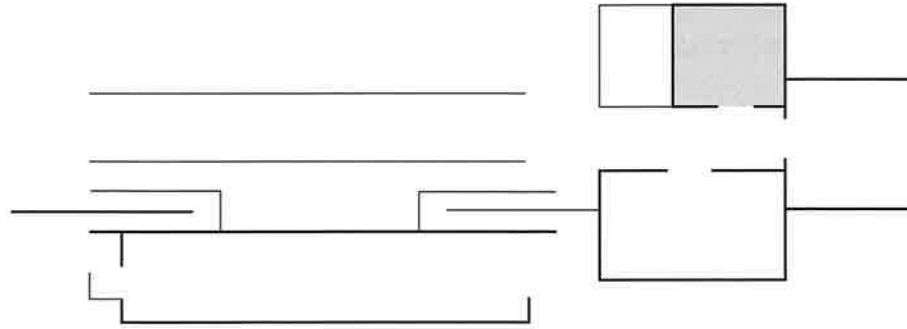
#### \* 凡例

以下のコレクション展示記録は、2015年度、2016年度のそれぞれについて展示室毎に整理し、原則として、名称・会期・展示趣旨概要・出品作品リストの順に記載した。

「出品作品リスト」中のIDの項には、原則として山口県立美術館における作品の整理番号を記す。Z-に始まる整理番号は寄託品に付される。

その他は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠する。

平成27年度  
展示室 A



〈戦後〉の写真 平成27年(2015)4月18日～6月28日

敗戦の年から70年。猛烈なスピードで復興し、姿貌を遂げていく当時の日本は、写真家達にとって格好の被写体。当館収蔵品の中から48点を展示し、戦後日本写真の20年を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	犬を背負った少年 三宅坂参謀本部跡	林忠彦	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0299
2	銀座のサンドイッチマン	林忠彦	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0304
3	倒壊したビルを家に	林忠彦	1947	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0305
4	『ピカドン』より 妻の死	福島菊次郎	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0371
5	『ピカドン』より 8年目の病床	福島菊次郎	1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0374
6	『ピカドン』より 1956年の春	福島菊次郎	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0376
7	『ピカドン』より 働く蓉子	福島菊次郎	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0377
8	『ピカドン』より 入学式の朝	福島菊次郎	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0379
9	『ピカドン』より お母さんの墓	福島菊次郎	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0380
10	『ピカドン』より 蓉子の青春	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0382
11	『ピカドン』より 7度目の入院	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0383
12	『ピカドン』より 発作	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0389
13	『ピカドン』より 原爆症に触まれて	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0391
14	『ピカドン』より 原爆症の傷跡	福島菊次郎	1960頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0392
15	『ピカドン』より 中村杉松の死	福島菊次郎	1960頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0393
16	『ピカドン』より 27歳になった蓉子	福島菊次郎	1969	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0394
17	坂口安吾	林忠彦	1948	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0303
18	議事堂と傷痍軍人	林忠彦	1956	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0310
19	広島カープ私設応援団 広島市市民球場	林忠彦		ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0313
20	分教場にて	林忠彦	1957	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0315
21	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1627
22	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1628
23	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1629
24	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1630
25	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1632
26	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1633
27	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1634
28	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1635
29	真金町診療所	常盤とよ子	1959-62	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1636
30	真金町診療所	常盤とよ子	1959-61	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1637
31	真金町診療所	常盤とよ子	1959-60	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1638
32	『地図』より 高射砲陣地跡	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1474
33	『地図』より 原爆死 中学生上衣	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1478
34	『地図』より 特攻隊員の写真	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1479
35	『地図』より ラッキーストライク	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1481
36	『地図』より コカ・コーラ	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1482
37	『地図』より 日の丸	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1483
38	『地図』より 原爆ドーム 内部 しみ	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1487
39	『地図』より 原爆ドーム 内部 しみ	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1488
40	『地図』より 被爆者の腕	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1490
41	『地図』より 原爆ドーム 太陽	川田喜久治	1960-65	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1492
42	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1446
43	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1447
44	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1448
45	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1449
46	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1450
47	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1451
48	『<11時02分>NAGASAKI』より	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1452

## 松田正平小品展 平成27年(2015)7月10日～10月25日

宇部ゆかりの洋画家、松田正平(1913-2004)は、飄逸味あふれる形態と、透明感のある色彩で身近なモチーフを描いた。本展示では、画家が愛情を注いで描いた傑作を展示。

no	作品名	作者	制作年(西暦)	材質	ID
1	周防灘	松田正平	1980年代以降	油彩/カンヴァス	Z-0142
2	バラ図	松田正平	1983	油彩/カンヴァス	Z-0188
3	バラ(時計)	松田正平	1986	油彩/カンヴァス	Z-0173
4	バラ	松田正平	1989	油彩/カンヴァス	Z-0180
5	おこぜ	松田正平	1987	油彩/カンヴァス	Z-0172
6	かれい	松田正平	1990	油彩/カンヴァス	Z-0183
7	周防灘	松田正平	1980年代はじめ頃	油彩/カンヴァス	Z-0191
8	周防灘	松田正平	1989	油彩/カンヴァス	Z-0196
9	周防灘	松田正平	1974	油彩/カンヴァス	O-0227
10	周防灘 昼の月	松田正平	1981	油彩/カンヴァス	Z-0189
11	祝鳥(猫)	松田正平	1982	油彩/カンヴァス	Z-0192
12	周防灘	松田正平	1996	油彩/カンヴァス	Z-0179
13	周防灘	松田正平	1984	油彩/カンヴァス	Z-0193
14	周防灘	松田正平	1985	油彩/カンヴァス	Z-0174
15	周防灘	松田正平	1989	油彩/カンヴァス	Z-0177
16	周防灘	松田正平	1987	油彩/カンヴァス	Z-0178
17	周防灘	松田正平	1984	油彩/カンヴァス	Z-0190
18	周防灘	松田正平	1990	油彩/カンヴァス	Z-0176
19	周防灘	松田正平	1993	油彩/カンヴァス	Z-0185
20	周防灘	松田正平		油彩/カンヴァス	Z-0195
21	周防灘	松田正平	1992	油彩/カンヴァス	Z-0186
22	周防灘	松田正平	2001	油彩/カンヴァス	Z-0194
23	フルートを吹く人	松田正平	1985	油彩/カンヴァス	O-0222
24	洲之内氏像	松田正平	1987	油彩/カンヴァス	Z-0184
25	婦人像	松田正平	1988	油彩/カンヴァス	Z-0182
26	西洋人形	松田正平	1975	油彩/カンヴァス	O-0224
27	M夫人の肖像	松田正平	1953	油彩/カンヴァス	O-0236
28	自画像	松田正平	1955	油彩/カンヴァス	O-0215

## 美術と写真が近づいたとき 平成27年(2015)10月30日～平成28年(2016)1月17日

版画に写真映像が利用できる技法(写真製版によるシルクスクリーン)が日本で広く使われ始める1970年代、美術と写真の領域は一気に近づく。写真と美術がクロスオーバーする作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	Seeing P.81-11	小本章	1981	オフセット/紙	P-0151
2	Seeing 88-26	小本章	1988	チバクローム	Ph-0435
3	Seeing 89-20	小本章	1989	チバクローム	Ph-0436
4	Seeing 90-1	小本章	1990	チバクローム	Ph-0437
5	Seeing 82-20	小本章	1982	カラープリント	Ph-1685
6	Seeing 83-40	小本章	1983	チバクローム	Ph-1686
7	Seeing 83-46	小本章	1983	カラープリント	Ph-1687
8	Seeing 85-35	小本章	1985	チバクローム	Ph-1688
9	Seeing 86-11	小本章	1986	チバクローム	Ph-1689
10	Seeing 86-21	小本章	1986	チバクローム	Ph-1690
11	BIWAKO-01	小本章	1981	シルクスクリーン	P-0152
12	BIWAKO-02	小本章	1981	シルクスクリーン	P-0153
13	BIWAKO-03	小本章	1981	シルクスクリーン	P-0154
14	フォードと郭(B)	郭徳俊	1976	リトグラフ/紙	P-0186
15	A STREET SCENE No.8	吉村芳生	1978	コンテ/紙	D-0019
16	A STREET SCENE No.13	吉村芳生	1978	インク/紙	D-0020
17	A STREET SCENE No.7	吉村芳生	1978	コンテ/紙	D-0019
18	残像	ウーライ	1996	カラープリント	Ph-2076
19	残像	ウーライ	1996	カラープリント	Ph-2077
20	残像	ウーライ	1996	カラープリント	Ph-2078

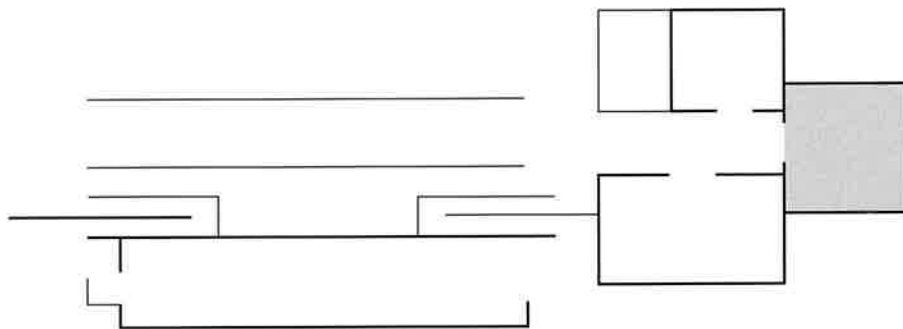
## 香月泰男の旅 平成28年(2016)1月19日～4月17日

香月泰男は、抑留体験をおさえた色調で描く一方で、同じ時期に軽やかな版画作品も多く残した。軽やかな線で自身の旅を描きとめた作品など、国内外の旅を描いた作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	技法	ID
	石版画集『北海道』				
1	北見	香月泰男	1971	石版/紙	P-0095
2	層雲峡	香月泰男	1971	石版/紙	P-0096
3	知床小漁村	香月泰男	1971	石版/紙	P-0097
4	水芭蕉	香月泰男	1971	石版/紙	P-0098
5	摩周湖	香月泰男	1971	石版/紙	P-0100

6	阿寒の山肌 石版画集『ギリシャ』	香月泰男	1971	石版/紙	P-0104
7	クレタ村	香月泰男	1972	石版/紙	P-0116
8	オリーブ畑	香月泰男	1972	石版/紙	P-0124
9	エドラの風車	香月泰男	1972	石版/紙	P-0125
10	連絡船	香月泰男	1972	石版/紙	P-0122
11	ひなげし	香月泰男	1972	石版/紙	P-0123
12	アクロポリス眺望	香月泰男	1972	石版/紙	P-0121
13	ロードス郊外 木版画集『タヒチ』	香月泰男	1972	石版/紙	P-0117
14	貝殻	香月泰男	1973	木版/紙	P-0133
15	モーレア島	香月泰男	1973	木版/紙	P-0134
16	宿の窓から	香月泰男	1973	木版/紙	P-0135
17	日中の道	香月泰男	1973	木版/紙	P-0137
18	フラダンス	香月泰男	1973	木版/紙	P-0138
19	教会	香月泰男	1973	木版/紙	P-0139
20	広場にて 木版画集『ニース』	香月泰男	1973	木版/紙	P-0140
21	オレンジのある庭	香月泰男	1974	木版/紙	P-0141
22	鳩のいる中庭	香月泰男	1974	木版/紙	P-0142
23	海岸にて	香月泰男	1974	木版/紙	P-0143
24	海辺にて	香月泰男	1974	木版/紙	P-0145
25	ルノアールの庭 石版画集『パリの屋根』	香月泰男	1974	木版/紙	P-0146
26	パリの屋根 1	香月泰男	1971	石版/紙	P-0107
27	パリの屋根 2	香月泰男	1971	石版/紙	P-0108
28	パリの屋根 3	香月泰男	1971	石版/紙	P-0109
29	パリの屋根 7	香月泰男	1971	石版/紙	P-0113
30	パリの屋根 8	香月泰男	1971	石版/紙	P-0114

平成27年度  
展示室B



記憶の風景 香月泰男のシベリア・シリーズ 平成27年(2015)4月18日～6月28日

4年間の兵役と抑留の体験を、その7倍もの時間をかけて反芻した香月泰男(1911-74年)。本展示では過酷な記憶の中の「シベリア」と向き合いつづけた画家の軌跡をたどった。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	海拉爾	香月泰男	1973	油彩/カンヴァス	O-0048
2	奉天(右)	香月泰男	1970	油彩/カンヴァス	O-0037
3	奉天(左)	香月泰男	1970	油彩/カンヴァス	O-0038
4	業火	香月泰男	1970	油彩/カンヴァス	O-0036
5	雪山	香月泰男	1972	油彩/カンヴァス	O-0045
6	凍河〈エニセイ〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0027
7	バイカル	香月泰男	1971	油彩/カンヴァス	O-0042
8	渚〈ナホトカ〉	香月泰男	1974	油彩/カンヴァス	O-0193
9	月の出	香月泰男	1974	油彩/カンヴァス	O-0051

1940-50年代の香月泰男 平成27年(2015)7月10日～10月25日

帰国した香月泰男(1911-74年)は旺盛な創作活動を再開。未だ戦前の作風を色濃く残す1940年代から、1950年代後半に黒と黄土色を基調とする独特の作風に到達するまでの香月芸術の変遷を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	休憩	香月泰男		油彩/カンヴァス	O-0255
2	幼鷺	香月泰男		油彩/カンヴァス	O-0177
3	施療	香月泰男		油彩/カンヴァス	Z-0143
4	牛	香月泰男		油彩/カンヴァス	Z-0144
5	とまと	香月泰男		油彩/カンヴァス	D-0002
6	馬鈴薯	香月泰男		油彩/カンヴァス	O-0214
7	左官	香月泰男	1956	油彩/カンヴァス	O-0007
8	鷹	香月泰男	1958	油彩/カンヴァス	O-0184
9	北へ西へ	香月泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0010
10	ダモイ	香月泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0168
11	雲丹	香月泰男		油彩/カンヴァス	O-0187
12	牛	香月泰男		油彩/カンヴァス	Z-0138

変容するイメージーシベリア・シリーズの具象と抽象 平成27年(2015)10月30日～平成28年(2016)1月17日

具象画家でありつづけた香月泰男(1911-74年)は、一方でキュビズムの影響を受け、モチーフの単純化と大胆な画面構成を推し進めた。本展では具象と抽象のはざまにある作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	ホロンパイル	香月泰男	1960	油彩/カンヴァス	O-0013
2	道	香月泰男	1973	油彩/カンヴァス	O-0049
3	煙	香月泰男	1969	油彩/カンヴァス	O-0035
4	凍土	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0024
5	伐	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0019
6	鋸	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0020
7	荊	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0023
8	-35°	香月泰男	1971	油彩/カンヴァス	O-0043
9	護	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0161

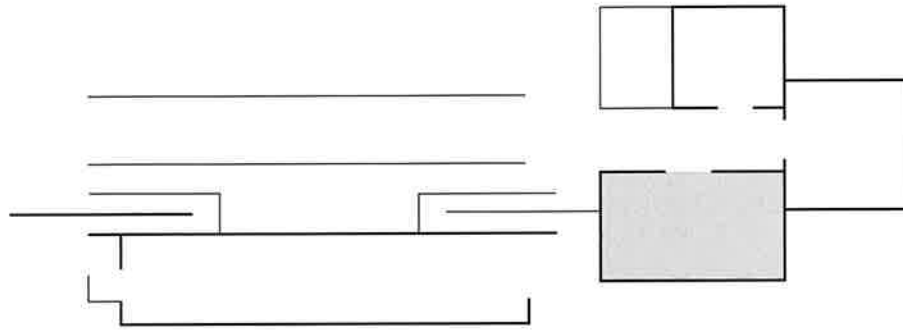
## 香月泰男の太陽 平成28年(2016)1月19日～4月17日

香月泰男(1911-74年)はシベリア・シリーズを含め、自身の作品に太陽を描いているが、その意味するところは様々ではない。本展では「太陽」をテーマに香月が作品に込めた思いを辿った。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	朝陽	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0021
2	黒い太陽	香月泰男	1961	油彩/カンヴァス	O-0199
3	雨	香月泰男	1968	油彩/カンヴァス	O-0031
4	私〈マホルカ〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0025
5	青の太陽	香月泰男	1969	油彩/カンヴァス	O-0034
6	日の出	香月泰男	1974	油彩/カンヴァス	O-0050
7	オホーツクの朝	香月泰男	1971	石版/紙	P-0099
8	オホーツクの日の出	香月泰男	1971	石版/紙	P-0103
9	サラミス沖の太陽	香月泰男	1972	石版/紙	P-0126
10	休むカヌー	香月泰男	1973	石版/紙	P-0136
12	太陽と自転車	香月泰男	1955	墨・クレヨン/紙	Z-0062



平成27年度  
展示室 C



雪舟と雲谷派1 日本画×ポートレート 平成27年(2015)4月18日～5月24日

幕末にカメラがもたらされる以前、日本人は人物の肖像を数多く描いてきた。描く対象は、実在の人物から物語の登場人物まで多彩。写真とは異なる絵画特有の表現を雲谷派の作品で紹介。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID	備考
1	山水人物花鳥図押絵貼屏風	雲谷等顔	江戸時代初期 17世紀	紙本墨画	Z-0164	
2	耕作図屏風	雲谷等與	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	J-0301	
3	雪舟像	雲谷等與	寛永16年(1639)	絹本墨画淡彩	J-0147	
4	惟松円融像	雲谷等顔	江戸時代初期 17世紀	絹本着色	Z-0098	常栄寺蔵
5	神農図	雲谷等益	江戸時代初期 17世紀	紙本墨画	R-0031	
6	遠磨図	雲谷等與	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	J-0110	
7	騎驢寿老図	雲谷等璠	江戸時代中期 17-18世紀	紙本墨画	Z-0201	

雪舟と雲谷派2 生誕400年 いとこで競演 等爾・等作 平成27年(2015)5月26日～6月28日

2015年は雲谷派の第3世代、等爾と等作の生誕400年。いとこ同士で生没年(1615-71)が同じ二人は、山口を拠点とする雲谷派の最盛期を担った。その個性的で伸びやかな画風を紹介。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	龍虎図屏風	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	J-0306
2	雪景山水図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	R-0012-010
3	劉備・関羽図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	絹本着色	Z-0170
4	鍾馗図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	Z-0213
5	布袋図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	Z-0235
6	布袋図	雲谷等作	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	R-0012-007
7	陶淵明愛菊図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	J-0127
8	渡唐天神図	雲谷等作	江戸時代前期 17世紀	絹本墨画淡彩	Z-0217
9	対月図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	R-0012-009
10	船子和尚図	雲谷等作	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	Z-0214
11	叭々鳥図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	J-0272
12	牧牛図	雲谷等作	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画淡彩	Z-0238

集合! 日本画どうぶつえん 平成27年(2015)7月10日～8月9日

美術館の絵のなかに住む、たくさんの動物たち。ふわふわした毛並みのあの子や、ムキムキした筋肉の彼、ちょっと不思議なこんな子まで、夏休みの展示室に集合。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	猿猴図	森周峰	江戸時代後期 18-19世紀	紙本着色	J-0210
2	月下狸図	森徹山	江戸時代後期 19世紀	絹本墨画淡彩	J-0120
3	竹に虎図	永富等原	江戸時代後期 18世紀	紙本墨画	Z-0218
4	雲龍図	伝弔舟	室町～江戸時代 16-17世紀	紙本墨画	Z-0083
5	紫陽花孔雀図	大庭学僊	明治26年(1893)	絹本着色	J-0199
6	山葡萄	福田翠光	昭和30年(1955)	絹本着色	J-0049
7	浄辰	福田翠光	昭和28年(1953)	絹本着色	J-0048
8	海底のアラベスク	藤田隆治	1950年-55年頃	紙本着色	J-0144

探検! 日本画しょくぶつえん 平成27年(2015)8月11日～9月13日

日本にはおよそ7000種類ともいわれる豊かな植物が生息する。人は古から、そのさまざまなかたちや色を愛し、時にメッセージを込めてきた。日本の絵に描かれた草花たちを紹介。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	秋園図屏風	松林桂月	昭和13年(1938)	絹本裏金着色	Z-0250
2	花卉図	高島北海	昭和元年(1926)	絹本着色	J-0032
3	雁来紅朝顔図	松林雪貞	大正4年(1915)	絹本着色	J-0085
4	藤花遊禽図	玉村方久斗	大正～昭和初期	絹本着色	J-0179
5	黄菊白菊図	玉村方久斗	大正～昭和初期	絹本着色	J-0172
6	紅園	福田翠光	昭和27年(1952)	絹本着色	J-0047
7	水芭蕉曼荼羅・黄14	佐藤多持	昭和43年(1968)	紙本墨画着色	J-0101

### 小さきものは、みなうつくし 平成27年(2015)9月15日～10月25日

小さなものとの出会いや発見がもたらす、心がキュッとなるときめき。日本画は、そんな喜びや驚きを味わうのにぴったりな表現の宝庫。「小ささ」が愛しい絵画を紹介。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	山水図屏風	雲谷等璠	江戸時代中期 17-18世紀	紙本墨画	J-0190
2	唐子遊園屏風	不詳	江戸時代前期 17世紀	紙本金地着色	J-0189
3	日本蓮伯山溪図	高島北海	大正4年(1915)	絹本墨画着色	J-0029
4	鶉図	雲谷等輿	江戸時代前期 17世紀	絹本着色	J-0208
5	茄子図	雲谷等益	江戸時代初期 17世紀	紙本墨画	Z-0006
6	三千仏図 現在賢劫仏	不詳	江戸時代後期 19世紀	絹本着色	Z-0082
7	紺紙金泥法華経 八巻のうち第七巻	不詳	平安時代 12世紀	紺紙金泥	Z-0145
8	皇室儀式図巻	森寛斎	江戸時代後期 19世紀	紙本墨画淡彩	R-0009-003-010

### 雪舟と雲谷派3 雪舟とその弟子 平成27年(2015)10月30日～12月6日

重要文化財に指定されている当館所蔵の3点の雪舟画を展示するとともに、秋月・周徳・雲溪といった、雪舟の弟子あるいはその流れを組んだ室町時代の画家たちの作品を展示。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	雪舟等楊像	雲谷等輿	寛永16年(1639)	絹本墨画淡彩	Z-0147
2	傲高克恭山水図巻	雪舟等楊	室町時代 15世紀	紙本墨画	J-0070
3	牧牛図(牧童)	雪舟等楊	室町時代 15-16世紀	紙本着色	J-0076
4	牧牛図(渡河)	雪舟等楊	室町時代 15-16世紀	紙本着色	J-0077
5	観音図	伝雪舟等楊	室町時代 16世紀	紙本墨画淡彩	J-0298
6	逆磨図	惟馨周徳	室町時代 16世紀	紙本墨画	J-0205
7	逆磨図	伝杉屋如寄	室町時代 16世紀	紙本墨画淡彩	J-0308
8	釈迦三尊図	雲溪永怡	室町時代 16世紀	絹本墨画淡彩	Z-0128
9	布袋図	周耕	室町時代 16世紀	紙本墨画	Z-0221
10	枯木叭々鳥図	秋月等観	室町時代 16世紀	紙本墨画	J-0159
11	葡萄図	元賀	室町時代 16世紀	紙本墨画	J-0149
12	折枝枇杷図	都布良周徳	室町時代 16世紀	紙本着色	J-0158
13	山水図	伝雲溪永怡	室町時代 16世紀	紙本墨画	個人蔵

### 雪中待春 平成27年(2015)12月8日～平成28年(2016)1月17日

寒さ厳しい年末年始は積雪も多い時期。山野に目を向けると、雪の重みに耐える植物、雪中に春の訪れを待つ動物たちの姿。そんな冬の情景を当館のコレクションから紹介。

no.	作品名	作者	制作年代	材質	ID
1	花鳥図屏風	斎藤等室	江戸時代前期 17世紀	紙本着色	J-0198
2	風雪三顧図屏風	狩野晴卓	江戸時代後期 19世紀	紙本墨画淡彩	Z-0132
3	羽觥	福田翠光	昭和8年(1933)	絹本着色	J-0040
4	雪斎嬉雀	福田翠光	昭和2年(1927)	絹本着色	J-0037
5	雪中松鳩・雪中竹雀図	小田海徳	文政7年(1824)	絹本墨画淡彩	J-0099
6	手長猿図	森狙仙	江戸時代後期 19世紀	絹本墨画淡彩	J-0117
7	熊図	森一鳳	江戸時代後期 19世紀	絹本墨画淡彩	J-0121
8	人物花鳥図押絵貼屏風	狩野派	桃山時代 16-17世紀	紙本着色	Z-0200

### 山口ゆかりの日本画家 平成28年(2016)1月19日～2月14日

佐々木縮往(1648-1733)・朝倉南陵(1756-1843)・小田海徳(1785-1862)・大庭学徳(1820-1899)・森寛斎(1814-1894)など、近世に山口で活躍した画家の多彩な絵画を紹介。

no.	作家名	作品名	制作年	材質	ID
1	佐々木縮往	塞外狩狐図	享保14年(1729)	絹本着色	J-0083
2	菅江嶺	花鳥図	天保2年(1831)	絹本着色	J-0282
3	朝倉南陵	孔雀図	文政11(1828)	絹本着色	J-0079
4	金子鷗雨	群仙図	19世紀後半	紙本墨画淡彩	J-0010
5	大庭学徳	紫陽花孔雀図	明治26(1893)	絹本着色	J-0199
6	小田海徳	夏山濯布図	天保12(1841)	紙本墨画淡彩	J-0211
7	林百非	山水図	嘉永3(1850)	紙本墨画	J-0283
8	森寛斎	松林濯布山水図	明治元年(1868)	紙本墨画	J-0071
9	狩野芳崖	牧馬図	19世紀後半	紙本墨画	J-0013

## 雪舟と雲谷派4 梅匂ふ 平成28年(2016)2月16日～3月13日

古来より水墨画で好まれた「墨梅図」。また天神様や中国の文人・林和靖など特定の人物を指す花として記号的に描かれてきた梅。雲谷派の絵による様々な梅の表現を紹介。

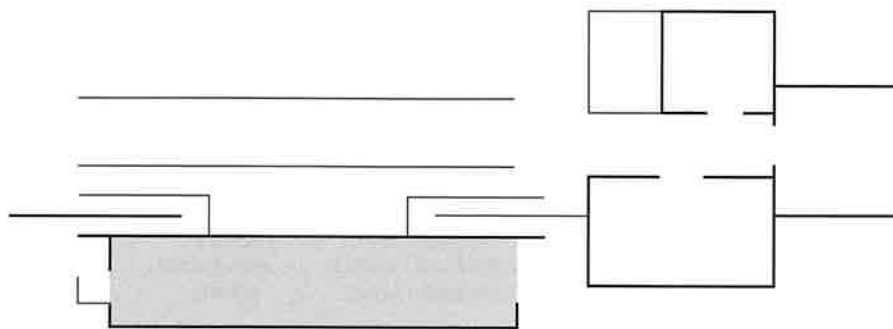
no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
1	楼閣山水図屏風	雲谷等與	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	J-0097
2	林和靖・雪景山水図屏風	雲谷等益	江戸時代初期 17世紀	紙本墨画淡彩	J-0197
3	林和靖図	等律	江戸時代 18-19世紀	紙本墨画淡彩	Z-0210
4	鶴図	雲谷等竺	江戸時代中期 18世紀	紙本着色	J-0277
5	鯉図	雲谷等竺	江戸時代中期 18世紀	絹本着色	J-0148
6	月梅図	雲谷等的	江戸時代前期 17世紀	紙本墨画	R-0012-006
7	梅雀図	雲谷等益	江戸時代初期 17世紀	紙本墨画	J-0269
8	叭々鳥図	雲谷等爾	江戸時代前期 17世紀	紙本着色	J-0272
9	東帯天神図	雲谷等璠	江戸時代中期 17-18世紀	紙本墨画淡彩	J-0274
10	渡唐天神図	斎藤等順	江戸時代初期 17世紀	紙本着色	R-0012-014

## 松林桂月 水墨の美 平成28年(2016)3月18日～4月17日

萩出身の松林桂月(1876-1963)は明治から昭和にわたって活躍し、その卓越した水墨画によって文化勲章を受賞した日本画の巨匠。精妙で詩情豊かな桂月の水墨芸術の世界を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	愛吾廬	松林桂月	昭和11年(1936)	絹本着色	J-0063
2	桃花双鶏	松林桂月	明治28年(1895)	絹本着色	Z-0085
3	怒涛健鷗	松林桂月	明治30年(1897)	絹本着色	Z-0086
4	秋塘真趣	松林桂月	明治40年(1907)	絹本着色	Z-0087
5	仙峡聴泉	松林桂月	昭和4年(1929)	紙本墨画	J-0062
6	雨後	松林桂月	昭和30年(1955)	絹本墨画	Z-0089
7	竹林幽趣	松林桂月	昭和31年(1956)	紙本墨画	Z-0090
8	竹林夜雨	松林桂月	昭和37年(1962)	紙本墨画	Z-0092
9	秋園	松林桂月	昭和13年(1938)	絹本裏金着色	Z-0250

平成27年度  
展示室D



山口ゆかりの洋画家 平成28年(2016)1月2日～3月6日

近年新たに収集された山口ゆかりの洋画家の作品を紹介。

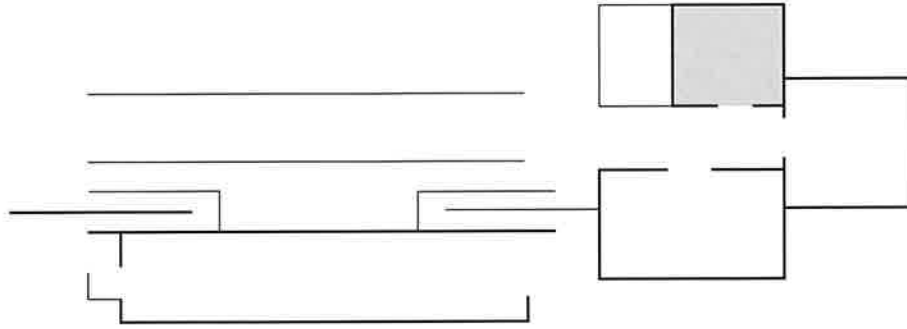
no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	絞り	永地秀太	1913	油彩/カンヴァス	O-0078
2	風景	香月泰男	1936	油彩/カンヴァス	O-0127
3	作品2	石田順治	1939	油彩/カンヴァス	O-0151
4	猫になった女	桂ゆき	1950	油彩/カンヴァス	O-0165
5	おひょう	松田正平	1984	油彩/カンヴァス	O-0143
6	春の海	小林和作	1974	油彩/カンヴァス	O-0072
7	踏切	山本文彦	1971	油彩/カンヴァス	O-0133
8	人間の扉	中本達也	1967	油彩/カンヴァス	O-0124
9	83-105-2	服部頌夫	1983	油彩/カンヴァス	O-0137
10	黒と白B	椿義則	1983	油彩/カンヴァス	O-0192
11	動	田中稔之	1958	油彩/カンヴァス	O-0073
12	うつろう	宮崎進	1990	油彩/カンヴァス	O-0254
13	主義と利益はしばしば衝突する	荒瀬景敏	1982	油彩/カンヴァス	O-0176
14	SOU-09-K(R・G)春	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0250
15	SOU-09-K(B)夏	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0251
16	SOU-09-K(Y・O)秋	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0252
17	SOU-09-K(T・U)冬	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0253

山口の工芸 平成28年(2016)1月2日～3月6日

山口が生んだ人間国宝の作品を軸に、山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵の工芸作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	所蔵
1	萩茶碗「蒼穹」	三輪休和	1965頃	陶	山口県立萩美術館・浦上記念館
2	鬼萩割高台茶碗「大磐石」	三輪壽雪	1995	陶	山口県立萩美術館・浦上記念館
3	白釉壺「雪層」	吉賀大眉	1962	陶	山口県立萩美術館・浦上記念館
4	切嵌象嵌接合せ箱「静唱」	山本晃	2008	金・銀・銅およびその合金	山口県立萩美術館・浦上記念館
5	萩水指	坂倉新兵衛(十四代)		陶	山口県立萩美術館・浦上記念館
6	萩茶碗	坂田泥華	1979	陶	山口県立萩美術館・浦上記念館
7	赤間硯「双体」	堀尾卓司		石	山口県立萩美術館・浦上記念館
8	瓜硯	堀尾信夫	1985	石	山口県立萩美術館・浦上記念館

平成 28 年度  
展示室 A



美術にみる女性像 平成28年(2016)4月19日～7月3日

古くから美術の重要なモチーフである女性像。裸婦など女性美を体現する存在として、あるいは社会を象徴する存在として、芸術家たちが独自に取り組んできた女性像の数々を展示。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	ゆあみ	新海竹太郎	1907	ブロンズ	S-0089
2	婦人像	永地秀太	1913	油彩/カンヴァス	O-0111
3	更紗の前	永地秀太	1924	油彩/カンヴァス	O-0079
4	壁に倚れる女	永地秀太	1924	油彩/カンヴァス	O-0080
5	ホノルル	桑重儀一	1915	油彩/カンヴァス	O-0058
6	裸婦	桑重儀一	1913	油彩/カンヴァス	Z-0043
7	マドモワゼルS	錦義一郎	制作年不詳	油彩/カンヴァス	O-0085
8	婦人像	小林和作	1966	油彩/カンヴァス	O-0063
9	婦人像	松田正平	1935	油彩/カンヴァス	O-0239
10	二人の裸婦	松田正平	1939	油彩/カンヴァス	O-0242
11	裸婦	松田正平	1959	油彩/板	O-0147
12	小屋	宮崎進	1968	油彩/カンヴァス	O-0096
13	昼	宮崎進	1976	油彩/カンヴァス	O-0000
14	こしかける	宮崎進	制作年不詳	鉛筆/紙	D-0013
15	ひざまづく裸婦	宮崎進	制作年不詳	鉛筆/紙	D-0015
16	立つ女	宮崎進	制作年不詳	鉛筆/紙	D-0018
17	裸婦	香月泰男	1971	油彩/カンヴァス	P-0082
18	裸婦1	香月泰男	1971	石版一版一色 平板インク/出雲特漉和紙	P-0083
19	裸婦2	香月泰男	1971	石版一版一色 平板インク/出雲特漉和紙	P-0084
20	裸婦3	香月泰男	1971	石版一版一色 平板インク/出雲特漉和紙	P-0085
21	猫になった女	桂ゆき	1950	油彩/カンヴァス	O-0165
22	フランソワーズ・サガン	川原舜	1954-55	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1564
23	フランソワーズ・サガン	川原舜	1954-55	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1565
24	フラメンコダンサー マドリード	川原舜	1954-55	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1572
25	ファッションモデル バリ	川原舜	1954-55	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1573
26	オペラ座のダンサー バリ	川原舜	1954-55	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1574
27	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	1968頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1644
28	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	1968頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1645
29	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	1968頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1646
30	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	1968頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1647
31	お六さん 横浜 本牧	常盤とよ子	1968頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1648
32	ミナトのマリー 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1649
33	ミナトのマリー 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1650
34	ミナトのマリー 横浜 本牧	常盤とよ子	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1651

〈おんな〉のイメージ 戦後日本写真に見る女性 平成28年(2016)7月12日～10月13日

写真の誕生以来、女性は写真家にとって重要なモチーフ。本展では、戦後日本の写真家によってさまざまにイメージ化されてきた女性を、当館のコレクションによって紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	入江たか子	福田勝治	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0645
2	心の小窓(藤田泰子)	福田勝治	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0405
3	佐藤美子	福田勝治	1952頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0629
4	引き揚げ 上野駅	林忠彦	1946	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0301
5	ゴミ捨て場のパー 大森	林忠彦	1950	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0308
6	ストリップ小屋楽屋 浅草	林忠彦	1949	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0309
7	日本女性と東京見物する進駐軍兵士 皇居前広場	林忠彦	1954	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0317
8	ロック座裏『浅草にて』より	金井精一	1951	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0322

9	ロック座楽屋口『浅草にて』より	金井精一	1951	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0323
10	大曲『秋田』より	木村伊兵衛	1953	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0344
11	秋田市泉『秋田』より	木村伊兵衛	1952	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0347
12	大曲市内小友『秋田』より	木村伊兵衛	1958	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0348
13	大曲市大曲西根『秋田』より	木村伊兵衛	1963	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0350
14	働く蓉子『ピカドン』より	福島菊次郎	1956	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0377
15	入学式の朝『ピカドン』より	福島菊次郎	1957	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0379
16	蓉子の青春『ピカドン』より	福島菊次郎	1960	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0382
17	27歳になった蓉子『ピカドン』より	福島菊次郎	1969	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0394
18	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1628
19	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1630
20	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1632
21	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	常盤とよ子	1955頃	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1636
22	真金町診療所	常盤とよ子	1959-60	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1641
23	真金町診療所	常盤とよ子	1959-60	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1643
24	冷たいサンセット	佐藤明	1960	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1517
25	おんな	佐藤明	1961	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1521
26	サイクロピアン	佐藤明	1962	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1529
27	壁の中#1『王国』より	奈良原一高	1956	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1439
28	壁の中#3『王国』より	奈良原一高	1958	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1440
29	片岡津代さん『(11時02分) NAGASAKI』より	東松照明	1963	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-1452
30	新宿区角筈-1 3月21日『東京人』より	高梨豊	1965	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0261
31	台東区 浅草寺 8月29日『東京人』より	高梨豊	1965	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0262
32	杉並区 環状七号線『東京人』より	高梨豊	1964-65	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0265
33	『洋子』より	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0151
34	『洋子』より	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0154
35	『洋子』より	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0156
36	『洋子』より	深瀬昌久	1964-76	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0158
37	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0173
38	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0174
39	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0187
40	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0190
41	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0191
42	『センチメンタルな旅』より	荒木経惟	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0192
43	大神島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1969	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0031
44	波照間島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1971	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0033
45	西表島『太陽の鉛筆』より	東松照明	1972	ゼラチン・シルヴァープリント	Ph-0046

## 山口県立美術館静物部 平成28年(2016)10月18日～平成29年(2017)1月22日

明治期以来、画家たちが取り組んできた静物画。本展示では、油彩による静物画の先駆者、高橋由一(1828-94)の《鴨園》をはじめ、山口にゆかりの画家たちの作品を紹介。

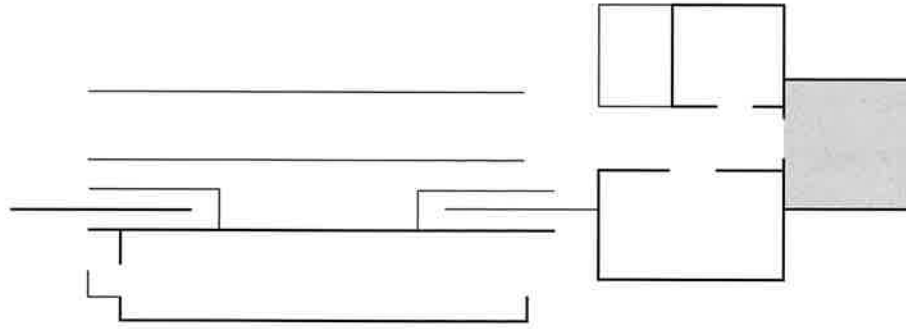
no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	鴨園	高橋 由一	1877	油彩/カンヴァス	O-0129
2	ギリシアの浮彫	永地 秀太	1937	油彩/カンヴァス	O-0183
3	静物	永地 秀太	1909	油彩/カンヴァス	O-0169
4	アネモネ	桑重 儀一		油彩/板	O-0200
5	薔薇	中川 一政		油彩/カンヴァス	O-0189
6	作品	桂 ゆき	ca. 1940	油彩/カンヴァス	O-0179
7	秋果	小林 和作		油彩/カンヴァス	O-0071
8	白い椅子と枯れた花	尾崎 正章	1954	油彩/カンヴァス	O-0003
9	ニンニクとピーマン	松田 正平	1962	油彩/カンヴァス	O-0230
10	かみきり虫	松田 正平	1959	油彩/カンヴァス	Z-0069
11	阿波人形	松田 正平	1963	油彩/カンヴァス	Z-0187
12	バラ	松田 正平	1958	油彩/カンヴァス	O-0212
13	バラ園	松田 正平	1983	油彩/カンヴァス	Z-0188
14	バラ(時計)	松田 正平	1986	油彩/カンヴァス	Z-0173
15	おこぜ	松田 正平	1987	油彩/カンヴァス	Z-0172
16	かれい	松田 正平	1990	油彩/カンヴァス	Z-0183
17	えび	香月 泰男	1955	水彩・鉛筆/紙	Z-0076
18	さくらんぼ	香月 泰男	ca. 1962-67	墨・クレヨン/紙	Z-0078
19	胡蝶花	香月 泰男	ca. 1962-67	墨・クレヨン/紙	Z-0077
20	一つの葉	中本 達也	1961	銅版/紙	P-0027
21	卵と実	中本 達也	1961	銅版/紙	P-0025
22	潮	中本 達也	1960	銅版/紙	P-0012
23	小さな花	中本 達也	1960	銅版/紙	P-0017
24	さかな	中本 達也	1959	銅版/紙	P-0011
25	ザクロ	中本 達也	1960	銅版/紙	P-0015
26	西瓜	中本 達也	1960	銅版/紙	P-0021
27	夏の花	中本 達也	1961	銅版/紙	P-0022
28	雲丹	香月 泰男	1950年代末以降	油彩/カンヴァス	O-0187

## 福田勝治の「イタリア紀行」－Travel in Italy－ 平成29年(2017)1月24日～4月9日

戦前戦後を通じて活躍した防府市出身の写真家・福田勝治(1899-1991)。ミラノからナポリまで、各地を取材して撮られた写真の中から、遺跡をとらえた写真を中心に紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	オステアの廃墟	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0704
2	オステアの草原	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0706
3	聖人のなきがらに祈る人々	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0711
4	カステル・マダマにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0713
5	イタリア紀行	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0714
6	マリナー・グランデの漁村	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0715
7	カプリ島の居酒屋	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0717
8	シエナにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0719
9	船も眠りに	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0721
10	サンタ・クローチェの鐘楼	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0734
11	ボンベイ	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0741
12	ボンベイ	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0742
13	牧羊神	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0743
14	ボンベイにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0744
15	ボンベイの遺跡	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0745
16	ローマ・唄に生きる	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0757
17	カピトリノの狼(ロマーノ)	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0766
18	コロセウム	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0768
19	ローマ：サンタンジェロ城	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0769
20	フォロ・ロマーノ	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0774
21	ポポロ広場の噴水	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0776
22	ローマの石壘	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0780
23	ローマ：羽のない天使	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0787
24	指(古代ローマの遺跡)	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0789
25	足(古代ローマの遺跡)	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0790
26	ヴェネツィア	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0797
27	夜のサン・マルコ聖堂	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0800
28	夜のサンマ・マルコ聖堂	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0801
29	船を上げて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0802
30	イタリア紀行	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0806
31	三人の修道尼	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0811
32	司祭たち	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0812
33	シャルル・ボワイエ	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0831
34	ソフィア・ローレン	福田勝治	1955	ゼラチン・シルバープリント	Ph-0834

## 平成28年度 展示室B



### 田中稔之の世界 平成28年(2016)4月19日～7月3日

防府市出身の田中稔之(1928-2006)。戦後ヨーロッパのアンフォルメルと呼ばれる激しい抽象絵画の影響を受けた絵画から幾何学的な抽象絵画へと作風を展開した絵画世界を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	動	田中稔之	1958	油彩/カンヴァス	O-0073
2	野生	田中稔之	1960	油彩/カンヴァス	O-0074
3	赤の地平	田中稔之	1976	油彩/カンヴァス	O-0076
4	円の罅	田中稔之	1976	油彩/カンヴァス	O-0077
5	円の光景	田中稔之	1979	油彩/カンヴァス	O-0107
6	円の光景	田中稔之	1979	油彩/カンヴァス	O-0108

### 抽象画のたのしみ 平成28年(2016)7月12日～10月13日

特定のモノをそっくりに写すのではなく、色と形、線と点によって、形のないものを描く抽象画。本展示では、6人の作家がそれぞれの感性で彩る抽象画の世界を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	作品	末松正樹	制作年不詳	油彩/カンヴァス	O-0246
2	回帰	末松正樹	1985	油彩/カンヴァス	O-0249
3	うつろう	宮崎進	1990	油彩/カンヴァス	O-0254
4	SOU-09-K(R・G)春	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0250
5	SOU-09-K(B)夏	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0251
6	SOU-09-K(T・O)秋	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0252
7	SOU-09-K(T・U)冬	岩本拓郎	2009	油彩/カンヴァス	O-0253
8	平面上の形2	椿義則	1971	油彩/カンヴァス	O-0190
9	Two Forms	桂ゆき	1961	油彩/紙	O-0134
10	絵画	ニエーレ・トロロニ	1992	アクリル塗料/カンヴァス	O-0156

### 香月泰男と宮崎進 平成28年(2016)10月18日～平成29年(2017)1月22日

太平洋戦争とシベリア抑留を経験した香月泰男(1911-74)と宮崎進(1922-)。本展示では、「シベリア」と向き合い、独自の表現を追求した二人の画家の1940～80年代の作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	ホロンバイル	香月 泰男	1944	油彩/麻布	O-0260
2	休憩	香月 泰男	1947	油彩/カンヴァス	O-0255
3	小屋	宮崎 進	1967	油彩/カンヴァス	O-0096
4	夜	宮崎 進	1968	油彩/カンヴァス	O-0097
5	自影	香月 泰男	1949	油彩/カンヴァス	Z-0249
6	グモイ	香月 泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0168
7	黄色い壁	宮崎 進	1976	油彩/カンヴァス	O-0098
8	ランドスケープ	宮崎 進	1976	油彩/カンヴァス	O-0099
9	凍土	香月 泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0024
10	凍る土	宮崎 進	1985-86	油彩/カンヴァス	O-0149

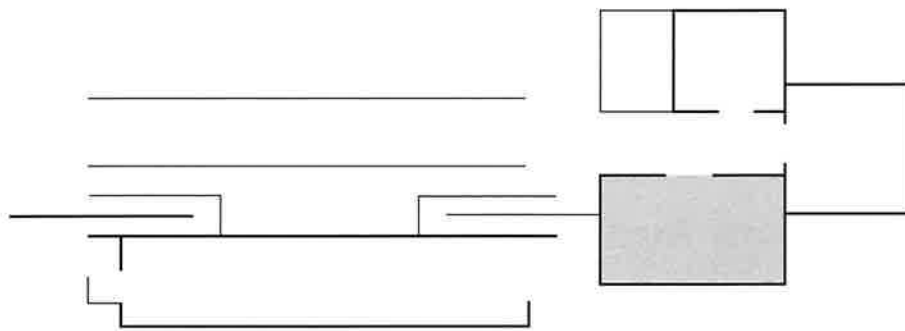
### シベリア・シリーズ 平成29年(2017)1月24日～4月9日

太平洋戦争とシベリア抑留の体験を描いた「シベリア・シリーズ」で、戦後洋画史に確たる地位を占める香月泰男(1911-74)。本展示では同シリーズ全57点より9点の作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	北へ西へ	香月泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0010
2	伐	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0019
3	鋸	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0020
4	雪〈窓〉	香月泰男	1963	油彩/カンヴァス	O-0017
5	海〈ペーチカ〉冬	香月泰男	1966	油彩・紙/カンヴァス	O-0028
6	囚	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0022
7	荊	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0023
8	凍河〈エニセイ〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0027
9	絵具箱	香月泰男	1972	油彩/カンヴァス	O-0046



平成28年度  
展示室C



花と女が出会うとき 平成28年(2016)4月19日～5月22日

咲き誇る花々と、美しい衣装をまとう女たち。「季節」というキーワードのもと両者が出会えば、いっそう互いの艶やかさが引き立つ。日本画による花と女性の競演を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	童女	梶本 武雄	昭和2年(1927)	絹本着色	J-0235
2	草紙洗・桜・楓図	狩野 美信	制作年不詳	絹本着色	Z-0013
3	雪姫	梶本 武雄	制作年不詳	絹本着色	J-0231
4	若鷹	福田 翠光	昭和19年(1944)	絹本着色	J-0046
5	花卉図	高島 北海	大正15年(1926)	絹本着色	J-0032
6	花卉図	高島 北海	大正15年(1926)	絹本着色	J-0309
7	雨上がり	梶本 武雄	制作年不詳	絹本着色	J-0233
8	菊花白禽図	玉村 方久斗	制作年不詳	絹本着色金泥	J-0177
9	戯花	梶本 武雄	制作年不詳	絹本着色	J-0236
10	梅月図	狩野 芳崖	制作年不詳	紙本墨画	J-0213
11	梅妃	中村 貞以	大正13年(1924)	紙本着色	J-0289

山水画—仮想と現実のはざま 平成28年(2016)5月26日～7月3日

近代以前、日本の画家たちは中国に倣い、水墨や青緑色を用いて山水の世界を多彩に表してきた。写実と理想との間でゆらぐ山水の魅力や山口ゆかりの画家の作品で紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	山水図屏風	雲谷等益	江戸時代 17世紀前半	紙本墨画淡彩金泥引	J-0094
2	西湖・金山寺図屏風	雲谷等撰	江戸時代 17-18世紀	紙本墨画淡彩	J-0241
3	蓬萊瑞色図	口中栢陰	大正10年(1921)	絹本着色	J-0034
4	山水図	林百非	嘉永3年(1850)	紙本墨画	J-0283
5	仙峽聴泉図	松林桂月	昭和4年(1929)	紙本墨画	J-0062
6	松林瀑布山水図	森寛斎	明治元年(1868)	紙本墨画	J-0071
7	高嶺深谷図	高島北海	大正5年(1916)	紙本墨画着色	J-0030

恋も神様も伝説も—物語絵の世界 平成28年(2016)7月12日～8月14日

王朝の恋物語、神仏にまつわるエピソード、不可思議な伝説…。我が国には古より、心くすぐる豊穡な物語の数々が息づいている。物語を絵とともに味わうたのしみを紹介。

no.	作者	作品名	制作年	材質	ID
1	森寛斎	芥川図	19世紀	絹本着色	J-0064
2	玉村方久斗	芥川之図	大正～昭和時代	絹本着色金泥	J-0171
3	森寛斎	榮平東下り図	明治時代	絹本着色	J-0286
4	雲谷等甫	出山釈迦図	江戸時代	絹本着色	Z-0223
5	玉村方久斗	出山釈迦図	昭和時代	絹本墨画淡彩	J-0124
6	雲谷等作	渡唐天神図	江戸時代	絹本墨画淡彩	J-0217
7	玉村方久斗	養老図	大正～昭和時代	絹本着色金銀泥	J-0173
8	平岸(天野平岸か)	久米仙人	江戸時代 19世紀頃	絹本着色	K-0010
9	森寛斎	京人形図	明治18年(1885)	絹本着色	J-0152
10	玉村方久斗	竹取物語絵巻	大正～昭和時代	紙本着色	J-0221

江戸から明治へ—19世紀の日本絵画 平成28年(2016)8月16日～9月25日

19世紀の日本絵画は、高度な技術で画面を装飾する作品が現れる一方、精神を重視する南画も流行。本展示では山口ゆかりの画家の作品を中心に、幕末明治の100年間に描かれた絵画を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	東君像	小田海樗	1830	絹本着色	J-0319
2	関羽受袍図	大庭学樗	1893	絹本着色	J-0285
3	八臂弁才天図	狩野芳崖	安政4(1857)年頃	絹本着色	J-0012
4	手長猿図	森狙仙	19世紀初	絹本着色	J-0117

5	月下狸	森徹山	19世紀中頃	絹本墨画淡彩	J-0120
6	熊図	森一風	19世紀前半	絹本墨画淡彩	J-0121
7	孔雀図	朝倉南陵	1828	絹本着色	J-0079
8	四季花鳥図	朝倉南陵	19世紀前半	絹本着色	J-0191
9	葡萄とりす	森寛斎	1882	絹本墨画	J-0065
10	桃花双鶏図	松林桂月	1895	絹本墨画淡彩	Z-0085
11	雪景山水図	林百非	19世紀中頃	紙本墨画	Z-0015
12	浅絳山水図	矢野括山	1829	紙本墨画淡彩	J-0320
13	夏山瀑布図	小田海僊	1841	紙本墨画淡彩	J-0211
14	月夜山水図	狩野芳崖	19世紀後半	紙本墨画淡彩	J-0082
15	懸崖飛沫図	狩野芳崖	19世紀後半	絹本墨画	J-0067

## ロマンと前衛－20世紀前半の日本画 平成28年(2016)9月27日～10月30日

大正時代(1912-1926)には、夢幻的な雰囲気を持つ日本画が数多く描かれ、また欧米の前衛芸術の影響が現れるようになる。本展示では、大正時代から戦前の日本画の魅力を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	紺紙を干す	小野竹喬	1912頃	絹本着色	K-0046
2	人影	野長瀬晩花	大正～昭和初期	絹本着色	J-0219
3	盆踊り	北野恒富	大正初期	絹本着色	J-0217
4	紅葉二小禽図	玉村方久斗	1929	絹本着色	J-0178
5	黄菊白菊図	玉村方久斗	1929	絹本着色	J-0172
6	黄初平	樋口富麻呂	1924	絹本着色	J-0133
7	春青賀之図	樋口富麻呂	1924	絹本着色	J-0134
8	化粧	桑本武雄	大正期	絹本着色	J-0225
9	喫茶室	田口壯	1934	紙本着色	J-0264
10	秋園	松林桂月	1938	紙本着色	Z-0250

## 雪舟 平成28年(2016)11月1日～12月4日

重要文化財の雪舟「牧牛図」、文明18年(1486)に大内氏のために制作された大作「三十三観音図」の姿の一端を伝える「観音図」など、当館の所蔵品を中心に貴重な雪舟画を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	山水図屏風	伝雪舟等楊	16～17世紀	紙本墨画淡彩	J-0207
2	山水図屏風	雲谷等顔	17世紀初	紙本墨画淡彩	J-0261
3	雪舟等楊像	雲谷等益	1639～1644	絹本墨画淡彩	Z-0094
4	牧牛図(牧童)	雪舟等楊	15世紀末～16世紀初	紙本墨画淡彩	J-0076
5	牧牛図(渡河)	雪舟等楊	15世紀末～16世紀初	紙本墨画淡彩	J-0077
6	東常天神図	雪舟等楊	1493	紙本墨画淡彩	J-0154
7	観音図	伝雪舟等楊	原本1486年	紙本墨画淡彩	J-0298
8	達磨図	惟馨周徳	16世紀	絹本墨画	J-0205

## 西・禽・トリ 平成28年(2016)12月6日～平成29年(2017)1月22日

2017年の干支は酉。多種多彩な鳥たちは、古来より日本画の格好の画題。新春を祝って、吉祥の鶴や鷹など日本画による山口県立美術館・鳥類園を1ヶ月限定特別オープン。

no.	作品名	作者	制作年	材質	ID
1	群鶴図屏風	雲谷等與	17世紀前半	紙本金地着色	J-0132
2	鶴雛	福田翠光	昭和9年(1934)	紙本着色	J-0041
3	架鷹図	三谷等宿	17世紀前半	紙本着色	J-0129
4	架鷹図	三谷等宿	17世紀前半	紙本着色	J-0279
5	桃花双鶏図	松林桂月	明治28年(1895)	絹本着色	Z-0085
6	軍鶏図	藤田隆治	1950年代前半	紙本着色	J-0202
7	巖上鷲図屏風	森寛斎	19世紀後半	紙本墨画淡彩	Z-0148
8	鷺齋図	高島北海	20世紀前半	絹本着色	J-0287
9	秋塘真趣図	松林桂月	明治40年(1907)	絹本着色	Z-0087

コレクション展特別展示 没後70年 兼重暗香 平成29年(2017)1月24日～2月26日

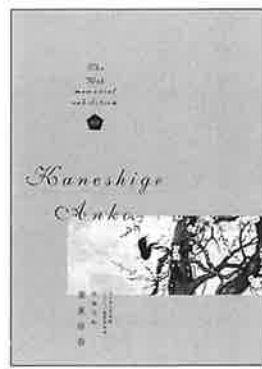
兼重暗香は明治55年(1872)、元萩藩士の娘として吉敷郡大蔵村(現在の山口市矢原)に出生。幼年期より両足の不自由を抱えながらも、自立した女性となるべく画家の道を志し、清雅な花鳥画の腕前をもって、近代画壇に名を馳せる存在となった。本展では、山口市近郊に伝わる12点の花鳥画を通して、暗香画の清々しい魅力を紹介。



チラシ表面



共通チラシ 中面



パンフレット

no.	作品名	時代	素材	所蔵
1	梅に鶴	昭和5年(1930)	絹本着色	山口県立美術館
2	玉蘭双孔雀図	昭和2年(1927)以前	絹本着色	毛利博物館
3	木蓮に孔雀図	昭和7年(1932)	絹本着色	
4	夏秋花鳥図	大正8年(1919)頃 昭和3年(1928)頃	絹本着色	毛利博物館
5	雁来紅に向日葵	大正15年(1926)	絹本着色	山口市歴史民俗資料館
6	雁来紅蜻蛉図	昭和9年(1934)	絹本着色	個人蔵
7	藤下携雛、月下双兔	大正7年(1918)	絹本着色	のむら美術館
8	桜花双鳥図	大正15年(1926)	絹本着色	個人蔵
9	菊花に小禽		絹本着色	山口市歴史民俗資料館
10	春夏花鳥図	昭和4年以前(1929)以前	絹本着色	個人蔵
11	牡丹に蝶		絹本着色	個人蔵
12	葡萄小禽図	昭和15(1940年)以前	紙本墨画淡彩	山口県立山口博物館

コレクション展特別展示 野田神社所蔵 毛利家の能面と能装束 平成29年(2017)2月28日～4月9日

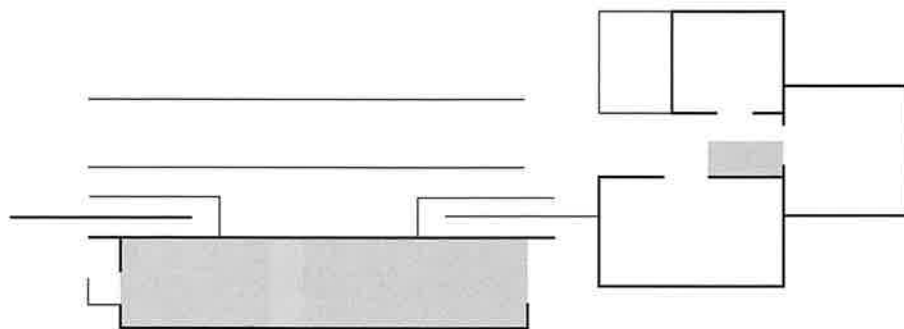
幕末維新期の萩藩主13代毛利敬親を祭神とする野田神社(山口市)には、毛利家伝来の能面・能装束が伝来し、本展では珠玉の品を特別公開。江戸時代の豪華な舞台衣装と面に秘められた幽玄の美の世界を紹介。

no.	作品名	時代	所蔵
1	白地七宝鉄線模様唐織	江戸時代中期	山口市・野田神社
2	茶地籠目芙蓉花模様縫箔	江戸時代中期	山口市・野田神社
3	白地菊唐草模様縫箔	江戸時代中期	山口市・野田神社
4	茶萌黄浅葱段唐草格子模様厚板	江戸時代初期	山口市・野田神社
5	紫地藤袴蜻蛉模様長絹	江戸時代中期	山口市・野田神社
6	小面 泰安勝(?~1640)作	江戸時代初期	山口市・野田神社
7	曲見 小玉満昌(?~1704)作	江戸時代前期	山口市・野田神社
8	般若	不詳	山口市・野田神社
9	般若 伝赤鶴吉成作	不詳	山口市・野田神社
10	重荷悪尉 伝赤鶴吉成作	不詳	山口市・野田神社



チラシ表面

平成28年度  
その他



C室前廊下

萩の茶碗 平成28年(2016)4月19日～平成29年(2017)4月9日

萩焼は400年の歴史を持つ山口県を代表する工芸美術品であり、茶陶の世界では全国的にも高い評価を受けている。本展示では4人の萩焼作家の作品により萩焼茶碗の魅力を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	所蔵
1	萩茶碗	三輪榮造	1999	山口県立萩美術館・浦上記念館
2	鉄線文茶碗	大和保男	2006	山口県立萩美術館・浦上記念館
3	割高台粉引茶碗	岡田裕	2010	山口県立萩美術館・浦上記念館
4	白釉窯変割高台茶碗	兼田昌尚	2010	山口県立萩美術館・浦上記念館

展示室D

シベリアの香月泰男 平成28年(2016)7月12日～8月28日

香月泰男(1911-74)は、帰国後の半生を費やし、自身が体験した戦争とシベリア抑留を描いた。全57点から成る「シベリア・シリーズ」のうち、シベリアでの日々を描いた作品を紹介。

no.	作品名	作者	制作年	素材	ID
1	北へ西へ	香月泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0010
2	凍土	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0024
3	雪山	香月泰男	1972	油彩/カンヴァス	O-0045
4	伐	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0019
5	鋸	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0020
6	神農	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0145
7	涅槃	香月泰男	1960	油彩/カンヴァス	O-0194
8	雪	香月泰男	1963	油彩/カンヴァス	O-0016
9	海〈ペーチカ〉冬	香月泰男	1966	油彩・紙/カンヴァス	O-0028
10	雪〈窓〉	香月泰男	1963	油彩/カンヴァス	O-0017
11	列	香月泰男	1961	油彩/カンヴァス	O-0015
12	星〈有刺鉄線〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0026
13	荊	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0023
14	囚	香月泰男	1965	油彩/カンヴァス	O-0022
15	餓	香月泰男	1964	油彩/カンヴァス	O-0018
16	-35°	香月泰男	1971	油彩/カンヴァス	O-0043
17	左官	香月泰男	1956	油彩/カンヴァス	O-0007
18	穴掘人	香月泰男	1960	油彩/カンヴァス	O-0011
19	凍河〈エニセイ〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0027
20	ダモイ	香月泰男	1959	油彩/カンヴァス	O-0168
21	渚〈ナホトカ〉	香月泰男	1974	油彩/カンヴァス	O-0193
22	私〈マホルカ〉	香月泰男	1966	油彩/カンヴァス	O-0025

# 事業

## II. 教育普及事業

## (1) 学校連携

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及のため、学校との連携事業を実施。

### 1：児童向けプログラム

#### 【学校見学】

学校単位での来館に対し解説、一般の来館者との調整などをおこなう。

- (1) 平成27年度  
累計：児童生徒・教員 のべ1,267名
- (2) 平成28年度  
累計：児童生徒・教員 のべ1,572名

#### 【教員との共同授業】

多彩な授業を目指す学校や、学校単位での来館が困難な遠隔地の学校へ学芸員を派遣し、担当教員とともに共同で授業を行う。

- (1) 平成27年度
  - 日時 平成27年5月15日(金)  
対象 周南市立桜田中学校3年生(56名)  
担当 岡本麻美  
内容 修学旅行事前学習「仏像入門」
  - 日時 平成28年3月15日(火)  
対象 山陽小野田市立埴生中学校2年生(44名)  
担当 岡本麻美  
内容 奈良・京都の文化的魅力(日本美術)にふれる鑑賞教育
- (2) 平成28年度
  - 日時 平成28年4月26日(火)  
対象 周南市立鼓南中学校2、3年生(19名)  
担当 岡本麻美  
内容 修学旅行事前学習「仏像入門」
  - 日時 平成28年10月4日(火)  
対象 阿武町立阿武中学校1～3年生(56名)  
担当 岡本麻美  
内容 美術鑑賞学習「驚き!?日本美術を鑑賞しよう」
  - 日時 平成28年10月7日(金)  
対象 萩市立大井中学校1～3年生(34名)  
担当 岡本麻美  
内容 美術鑑賞学習(対話型鑑賞)
  - 日時 平成29年1月27日(金)  
対象 宇部市立上宇部小学校4～6年生(60名)  
担当 萬屋健司  
内容 キャリア教育 ゲストティーチャーに学ぶ(学芸員の仕事内容紹介)
  - 日時 平成29年2月8日(水)  
対象 山陽小野田市立厚陽中学校2年生(22名)  
担当 岡本麻美  
内容 古都の文化的魅力(日本美術)にふれる鑑賞授業
  - 日時 平成29年2月28日(火)  
対象 山口市立二島中学校1年生(15名)  
担当 萬屋健司  
内容 「世界遺産 ポンペイの壁画展」観覧事前学習

## 【職場体験学習】

### (1) 平成27年度

■日 時 平成27年7月21日(火)、22日(水)

対 象 県立防府西高等学校2年生

担 当 萬屋健司、SPS

参加者 3名

■日 時 平成27年9月29日(火)、30日(水)

対 象 山口市立鴻南中学校2年生

担 当 萬屋健司、SPS

参加者 3名

■日 時 平成28年1月28日(木)、29日(金)

対 象 県立防府高等学校佐波分校2年生

担 当 萬屋健司、SPS

参加者 1名

### (2) 平成28年度

■日 時 平成28年5月9日(火)～11日(木)

対 象 山口市立宮野中学校2年生

担 当 萬屋健司、SPS

参加者 2名

## 2：教員向けプログラム

### 【教員向け講座】

教員を対象に意欲知識指導力の向上を目指し、美術館と美術教育の普及を行う。

なお本講座は、平成28年度をもって、一般の来館者も参加可能な形態へと発展的に解消した。

### (1) 平成27年度

累計：参加教員 のべ176名

■日 時 平成27年5月10日(日)

〈午前の部〉

主 題 「篠山紀信展 写真力」展

講 師 河野通孝

参加者 48名

〈午後の部〉

主 題 「けんびツアー」山口県立美術館へようこそ

講 師 萬屋健司

参加者 16名

■日 時 平成27年7月12日(日)

主 題 「恐竜戦国時代の覇者！世界大恐竜展」

講 師 亀谷敦(山口県立山口博物館 学芸課課長)

参加者 32名

■日 時 平成27年9月27日(日)

主 題 県美展ワークショップに参加しよう

講 師 榎本寿紀(大分県立美術館 学芸普及課教育普及グループリーダー)

〈Aコース〉素敵な三人組：スピーカー、リスナー&オーディエンス～3者共同鑑賞のススメ

参加者 7名

〈Bコース〉距離に迫る：聴診器、顕微鏡、双眼鏡～3つのアイテムを携えて

参加者 4名

■日 時 平成27年11月1日(日)

〈午前の部〉

主 題 「ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画」展/「雪舟と雲谷派3 雪舟とその弟子」展

講 師 荻開津通彦

- 参加者 18名  
 〈午後の部〉  
 主 題 記念講演会「ドラッカーさんが愛した墨絵の世界-逸伝の室町水墨画家たち」  
 講 師 河合正朝(千葉市美術館館長)  
 参加者 9名
- 日 時 平成28年3月27日(日)  
 主 題 「リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展」  
 講 師 萬屋健司  
 参加者 42名

(2) 平成28年度  
 累計：参加教員のべ126名

- 日 時 平成28年5月29日(日)  
 〈ギャラリートーク〉  
 主 題 「山の日制定記念 遥かなる山 発見された風景美」展  
 講 師 斎藤郁夫  
 〈レクチャー〉  
 主 題 「ベルエポックの画家たち アンティミストの輝き」展  
 講 師 矢追愛弓  
 参加者 36名
- 日 時 平成28年11月13日(日)  
 〈ギャラリートーク〉  
 主 題 「もうひとつの輝き 最後の印象派 1900-20's Paris」展  
 講 師 矢追愛弓  
 〈レクチャー〉  
 主 題 「世界遺産 ポンペイの壁画展」  
 講 師 萬屋健司  
 参加者 35名
- 日 時 平成29年1月22日(日)  
 〈ギャラリートーク〉  
 主 題 「世界遺産 ポンペイの壁画展」  
 講 師 萬屋健司  
 〈レクチャー〉  
 主 題 「ランス美術館展」  
 講 師 矢追愛弓  
 参加者 55名

### 【教材・資料活用】

多彩な授業を目指す学校に山口県立美術館で制作した教材や各種資料を貸出、提供する。

(1) 平成27年度  
 実績なし

(2) 平成28年度

平成28年6月23日(木)	「みる・しる・しらべるコレクション vol.4 香月泰男シベリアシリーズ」1冊 こどもガイド シベリア・シリーズ 200部	山口市立平川中学校	提供
平成28年8月9日(火) ～10月2日(日)	松崎天神縁起絵巻レプリカ 計3巻 松崎天神縁起絵巻現代語訳レプリカ 計3巻	岩国市立玖珂中学校	貸出



～11月21日(月)

### 【各種研究会への講師派遣】

(1) 平成27年度

■日 時 平成27年8月15日(土)

対 象 第46回山口県造形教育研究会ゼミナール大会

講 師 岡本麻美

内 容 第6講座「鑑賞」

(2) 平成28年度

実績なし

### 【研修等受け入れ】

(1) 平成27年度

■日 時 平成27年8月26日(水)～28日(金)

対 象 山口県立岩国工業高等学校(10年経験者研修)

場 所 山口県立美術館

講 師 萬屋健司

参加者 1名

(2) 平成28年度

■日 時 平成28年8月25日(木)

対 象 防府市中教育研美術部会研修会

場 所 山口県立美術館

講 師 萬屋健司、岡本麻美

参加者 10名

### 【情報発信・共有】

県内の教員・学芸員の日常的な連携(情報交換)をサポートするため、メーリングリストを運営する。

(1) 平成27年度

累計：参加教員・学芸員 29名

(2) 平成28年度

累計：参加教員・学芸員 30名

なお、インターネットを活用したコミュニケーションツールの普及、進化に伴い、平成28年度をもってメーリングリストを廃止し、今後はSNS等の積極的な活用を通じたよりスピーディーかつタイムリーな情報発信・情報交換に努めることとした。

## (2) HEART(ミュージアム・タウン・ヤマグチ)

「ものづくりとコミュニケーション」をキー・コンセプトに、美術館や芸術家が地域の人々と一緒になって、街の歴史や日常の営みと関わりながら街づくりを行うことを目的として、山口県美術展覧会を軸に、アートマーケットやワークショップなど美術館(芸術)とまち(日常生活)をつなぐさまざまなアートプロジェクトを展開する。

### 第9回山口県総合芸術文化祭 HEART2015

会 期：平成27年9月26日(土)～10月12日(月・祝) 16日間

主 催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ2015実行委員会

(山口県立美術館／山口市商店街連合会／山口商工会議所／山口市／山口県総合芸術文化祭実行委員会)

会 場：山口県立美術館・一の坂川エリア・山口市中心商店街



ポスター



チラシ表



チラシ裏

#### 1：第69回山口県美術展覧会(主催：山口県)

(1) 会期：9月26日(土)～10月12日(月・祝) 16日間

(2) 総入場者数：4,209名

(3) ワークショップ

「自作を語る」入選・入賞者による作品解説を13回実施

「私のイチオシ」来館者イチオシ作品の投票コメントを館内に掲示

(4) 特別展示 昨年度大賞受賞者(小田善郎)による新作展

#### 2：アート・マーケット

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリー、ミュージアム・グッズ、美術図書や絵本の店を開設し、美術館をアートづくりのマーケット(市場)に変身させる部門。

(1) アート・マーケット・ギャラリー

【日 時】9月26日(土)～10月12日(月・祝)

【会 場】山口県立美術館ミュージアムショップ(入場無料)

【内 容】第50～69回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書、絵本を販売。山口市中心商店街でも、関連イベントを開催。

(2) HEART関連企画

・ギャラリーナカノ HEART2015関連企画展(全2回)

【会 場】ギャラリーナカノ

【内 容】長年に渡って県美展を見続けてきたギャラリーナカノの中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

①「県美境界展2015」

【日 時】 9月26日(土)～10月4日(日) 11:00～19:00

【出展作家】 白杵万理実、小田善郎、佐々木範子、松田淳、三浦朋子、山根秀信

②「末永史尚個展『カモフラージュ』」

【会 期】 10月9日(金)～12日(月・祝) 11:00～19:00

・まちなかアートイベント ハンドメイド市「第3回teteマルシェ」

【日 時】 9月26日(土)・27日(日) 10:00～17:00

【会 場】 どうもん広場(山口市中心商店街)

【主 催】 teteyoto

【来 場 者】 約350名

【内 容】 県内各地で活躍する作家によるアートフリーマーケットを開催

### 3:アート・ルートーの坂

(1) 「わくわくさん」でおなじみ! くぼたまさと工作ショー in 山口県美

【日 時】 10月10日(土) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30

【会 場】 山口県立美術館講座室

【対 象】 4歳～小学生低学年とその保護者(参加無料)

【出 演】 くぼたまさと

【参 加 者】 214名(①104名②110名)

(2) 県美展ワークショップ

・A ステキな3人組:スピーカー、リスナー&オーディエンス～3者共同鑑賞のススメ

・B 距離に迫る:聴診器、顕微鏡&双眼鏡～3つのアイテムを携えて

【日 時】 9月27日(日) Aコース①10:00～12:00 ②14:30～16:30 Bコース 13:00～14:00

【会 場】 山口県立美術館講座室(参加無料)

【対 象】 小学校4年生以上

【講 師】 榎本寿紀(美術家/大分県立美術館学芸普及課教育普及グループリーダー)

【参 加 者】 のべ24名

(3) ちびっこ工作コーナー

【日 時】 9月26日(土)～10月12日(月・祝) までの土日祝日 10:00～15:30

【会 場】 山口県立美術館ロビー

【参 加 者】 516名

【材 料 費】 無料～300円

(4) 県美展アーティスト交流企画 戸嶋由香ワークショップ「銅版画を楽しむ～メゾチント技法で明暗濃淡諧調表現」

【日 時】 9月26日(土) 13:00～16:30

【会 場】 中市コミュニティーホールNac(参加無料)

【対 象】 高校生以上

【参加人員】 12名

(5) HEART関連企画 山口市中心商店街「職人技体験WEEK!」

【主 催】 株式会社まちづくり山口

【参加店舗】 Plentyエステティックサロン「女子力メイクアップレッスン」(会期中随時)、花屋リエ「フラワーアレンジメント」(9月30日(水)、10月7日(水))、fablab yamaguchiβ「デジタル工作機器の使い方講座」(10月5日(月))、ふじもと呉服店「簡単着方倶楽部」(10月3日(土)、10日(土))、Choose Collection(チューコレ)「ハーブワークショップ」(9月27日(日))、KO SILVER「シルバーまたはブラスのリング制作体験」(10月2日(金))、岸田時計店「補聴器相談会」(10月6日(火))、文房具のモリイケ「初めての万年筆講座」(10月3日(土))

### 4:アート・フォレスト県美の森

県美の森づくり

【日 時】 10月4日(日) 8:00～9:30

【会 場】 山口県立美術館中庭《県美の森》(参加無料)

【主 催】 美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

【参加人員】 51名

# 第10回山口県総合芸術文化祭 HEART2016

会期：平成28年9月23日(金)～10月10日(月・祝) 17日間

主催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ2016実行委員会

(山口県立美術館／山口市商店街連合会／山口商工会議所／山口市／山口県総合芸術文化祭実行委員会)

会場：山口県立美術館・一の坂川エリア・山口市中心商店街



ポスター



チラシ表



チラシ裏

## 1：第70回山口県美術展覧会（主催：山口県）

(1) 会期：9月23日(金)～10月10日(月・祝) 17日間

(2) 総入場者数：4,127名

(3) ワークショップ

「自作を語る」入選・入賞者による作品解説を10回実施

「私のイチオシ」来館者イチオシ作品の投票コメントを館内に掲示

(4) 特別展示 昨年度大賞受賞者(深田佳心)による新作展

## 2：アート・マート

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリー、ミュージアム・グッズ、美術図書や絵本の店を開設し、美術館をアートづくしのマート(市場)に変身させる部門。

(1) アート・マート・ギャラリー

【日時】9月23日(金)～10月10日(月・祝) 17日間

【会場】山口県立美術館ミュージアムショップ(入場無料)

【内容】第50～70回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書、絵本を販売。山口市中心商店街でも関連イベントを開催。

(2) HEART関連企画

・ギャラリーナカノ HEART2016関連企画展(全2回)

【会場】ギャラリーナカノ

【内容】長年に渡って県美展を見続けてきたギャラリーナカノの中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

①「県美界限展vol.1」フェイス、Y氏とともに

【日時】9月23日(金)～10月2日(日) 11:00～19:00(最終日18:00まで) ※休廊日：9月28日(水)

【特別出品】吉村芳生

【友情出品】小田善郎、河村純一郎、木原千春、白藤さえ子、戸嶋由香、吉村大星、青騎士出品、臼杵万理実、尾崎千恵、小野さやか、佐藤文恵、寺田幸子、中島綾美、なかむらりおた、西澤佑、萩原優香、はやしいくみ、深海志都香、平井慎、安田剛史郎、山崎有里、大和桂太、屋良彩姫、吉田朱里、吉原佐保 計24名

②「県美界限展vol.2」 少年時、Y校に集う

【日 時】10月7日(金)～10月16日(日) 11:00～19:00(最終日18:00まで) ※休廊日:10月12日(水)、13日(木)

【出品作家】荒瀬景敏、末永史尚、大和潔、山根秀信

・まちなかアートイベント ハンドメイド市「まちマルシェ」

【日 時】10月8日(土)・9日(日) 10:00～17:00

【会 場】どうもん広場(山口市中心商店街)

【来 場 者】約500名

【内 容】県内外の作家が一同に会してマルシェを開催。

・山口市中心商店街「職人技体験&店内ギャラリーWEEK!」

【主 催】株式会社 街づくり山口

【参加店舗】ナチュレ山口「手づくりビーズアクセサリー制作」(10月9日(日))、文房具のモリイケ「初めての万年筆講座」(10月1日(土))、マルシェ中市「第2回 レノファ山口FC似顔絵コンテスト」公募作品公開展示(9月23日(金)～)

【内 容】ワークショップや講座を企画したほか、県美展半券を提示すると協力店舗でサービスを受けられる「半券サービス」を全78店舗で実施。

### 3:アート・ルートの坂

(1) ファッションデザイナー浜井弘治、和紙をプロダクトする。

① 展示

【日 時】9月23日(金)～10月10日(月・祝)

【会 場】山口県立美術館エントランスホール(入場無料)

【特別協力】株式会社 小澤

② イベント

・デザイナー浜井弘治、「着る」の未来を語る

【日 時】9月24日(土)14:00～(約30分程度)

【会 場】山口県立美術館エントランスホール(入場無料)

【講 師】浜井弘治(ファッションデザイナー)

【参加者】80名

・和紙布で作るトートバック～ふれる、おる、たたむ

【日 時】10月8日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00

【会 場】山口県立美術館 講座室

【講 師】浜井弘治

【参加費】1,000円

【参加者】計28名

(2) よしながこうたくライブペイントショー in 山口県美

「給食番長」「ぼくだってウルトラマン」でおなじみの絵本作家が、即興で画を描いて、一つの作品をつくる一体型ペイントショー。あわせて、よしなが氏の出身地である博多弁で、自作の絵本の読み聞かせを行った。

【日 時】9月24日(土)・25日(日) 13:30～(2時間程度)

【会 場】山口県立美術館講座室(参加無料)

【出 演】よしながこうたく(イラストレーター、絵本作家)

【参加者】136名

(3) かんたん工作コーナー

【日 時】9月24日(土)～10月10日(月・祝) までの土日祝日 10:00～15:30

【会 場】山口県立美術館ロビー

【材 料 費】無料～300円

【参加者】590名

(4) 県美展アーティスト交流企画 吉村大星ワークショップ 「色鉛筆でリングを描こう」

【日 時】9月24日(土) 10:00～13:00

【会 場】クリエイティブ・スペース赤れんが(参加無料)

【対 象】高校生以上

【参加者】20名

### 4:アート・フォレスト県美の森

県美の森づくり

【日 時】10月9日(日) 8:00～9:30

【会 場】山口県立美術館中庭《県美の森》(参加無料)

【主 催】美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

【参加者】56名

### (3) 雪舟ウィーク

山口県に2つある県立美術館(山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館)のコレクションの魅力をしっかりと味わっていただき、美術館に親しんでいただくきっかけとすることを目的として、平成25年度から、両館において、「美術館ウィーク」と題した事業を開催することとなった。

山口県立美術館においては、そのコレクションのなかでも最重要作品である雪舟の重要文化財3点を、山口とその歴史を象徴する文化資源として確立するとともに、地域を知り郷土愛を育む教育資源として、また観光交流を促進する観光資源として活用し、山口市および山口県の地域力を高めることを目的として、毎年11月の第一週(文化週間)を「雪舟ウィーク」と題し、その前後の時期に、地域と連携をとりながら、事業展開することとした。

#### 平成27年度

毎年11月に開催されている(1)山口県立美術館主催事業、(2)山口商工会議所主催事業、(3)毛利博物館主催事業を、「雪舟ウィーク」というタイトルのもとに集約して、事業展開を行う。

##### (1)山口県立美術館主催事業(会場：山口県立美術館)

- ・コレクション展「雪舟とその弟子」展 10月30日(金)～12月6日(日) ※詳細はコレクション展の項を参照
- ・雪舟筆「国宝 四季山水図巻(山水長巻)」(毛利博物館主催「国宝」展の主要出品作品)の高精細映像展示 10月30日(金)～12月6日(日)

##### (2)山口商工会議所主催事業(会場：山口市中市コミュニティホール)

- ・第6回水墨画模写競技大会 10月25日(土)
- ・第15回「あなたも雪舟」絵手紙展展示(応募全作品) 10月24日(土)、25日(日)  
※10月30日(金)から12月6日(日)までは、入賞作品のみ美術館ロビーにて展示。

##### (3)毛利博物館主催事業(会場：毛利博物館)

- ・特別展「国宝」 10月31日(土)～12月6日(日)

#### 平成28年度

毎年11月に開催されている(1)山口県立美術館主催事業、(2)山口商工会議所主催事業、(3)毛利博物館主催事業を、「雪舟ウィーク」というタイトルのもとに集約して、事業展開を行う。

##### (1)山口県立美術館主催事業(会場：山口県立美術館)

- ・コレクション展「雪舟」展 11月1日(火)～12月4日(日) ※詳細はコレクション展の項を参照
- ・雪舟筆「国宝 四季山水図巻(山水長巻)」(毛利博物館主催「国宝」展の主要出品作品)の高精細映像展示 11月1日(火)～12月4日(日)

##### (2)山口商工会議所主催事業「雪舟を学ぶ」(会場：山口市中市コミュニティホール)

- ・第7回水墨画模写競技大会 11月6日(日)
- ・第16回「あなたも雪舟」絵手紙展展示(応募全作品) 11月5日(土)、6日(日)  
(11月8日(火)から12月4日(日)までは、入賞作品のみ美術館ロビーにて展示)

##### (3)毛利博物館主催事業

- ・特別展「国宝」 10月29日(土)～12月4日(日)まで

## (4) 美術館ボランティア

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設ける。

平成27年度

以下のグループに分かれて、展覧会などにあわせた企画の立案と実施を行った。

### グループ別活動内容

#### 【教育普及班】

- 「ドロッカーコレクション 珠玉の水墨画」展  
・こどものためのギャラリー・トーク「みんなでみよう」  
11月7、21日(いずれも土曜日) 11:00～  
参加者：のべ14人(こども1人、おとな13人)

#### 【展覧会サポート班】

- 「ドロッカー・コレクション 珠玉の水墨画」展  
・ワークショップ「墨絵で落ち葉を描こう！」  
美術館周辺の落ち葉を題材に、濃淡2種類の墨を使って、絵を描く。  
11月7日(土) 14:00～15:30  
11月28日(土) 14:00～15:30  
参加者：39名(11月7日/15名、28日/24名)

- 「英国の夢 ラファエル前派展」  
・ワークショップ「飛び出す絵本をつくろう！」  
4作品の中から1作品を選び、「切る・折る」など少し手を加えることにより、3次元の立体作品へと変化させる。  
また、台紙に関連する神話等のストーリーを記載しておき、見開き型の絵本仕立てにして楽しんでもらう。  
3月27日(日) 14:00～15:30  
4月2日(日) 14:00～15:30  
参加者：61名(3月27日/42名、4月2日/19名)

- 「第69回山口県美術展覧会」  
・「私のイチオシ！」  
県美展期間中、全作品を対象として、来館者が選んだイチオシ作品の理由を記入した用紙を展示。  
会期終了後、投票用紙を出品者にフィードバックした。  
実施結果(投票枚数)1,300票

## 平成28年度

以下のグループに分かれて、展覧会などにあわせた企画の立案と実施を行った。

### グループ別活動内容

#### 【教育普及班】

「英国の夢 ラファエル前派展」

- ・ こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」  
4月9、16、23、30日(いずれも土曜日) 11:00～  
参加者: のべ43人(12家族。こども18人、おとな25人)

「遙かなる山 発見された風景美」展

- ・ こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」  
6月11、25日(いずれも土曜日) 11:00～  
参加者: のべ12人(5家族。こども6人、おとな6人)

「もうひとつの輝き 最後の印象派 1990-20's Paris」展

- ・ こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」  
11月19、26日、12月3日(いずれも土曜日) 11:00～  
参加者: のべ13人(5家族。こども7人、おとな6人)

「世界遺産 ポンペイの壁画」展

- ・ こどものためのギャラリートーク「みんなでみよう」  
2月4、11、18日(いずれも土曜日) 11:00～  
参加者: のべ18人(7家族。こども10人、おとな8人)

#### 【展覧会サポート班】

「遙かなる山 発見された風景美」展

- ・ 「あなたの山の思い出を聞かせてください」  
会期中、山に関する思い出を備えつけ用紙に記入のうえ箱に入れてもらい、スロープに展示する。  
展示は、「北海道・東北地方」「中部地方」「近畿・中国地方」「山口県」「四国・九州」「海外・その他」の  
6ブロック別に行く。  
実施結果(投票枚数): 174枚

「もうひとつの輝き 最後の印象派 1990-20's Paris」

- ・ ワークショップ「パステルで落ち葉を描こう！」  
美術館周辺の落ち葉を題材に、パステルを粉末状にし、紙をキャンバスに見立てて、脱脂綿で絵を描く。  
11月19日(土) 14:00～15:30  
11月20日(日) 10:30～12:00  
参加者: 48名(11月19日/23名、20日/25名)

「世界遺産 ポンペイの壁画展」

- ・ ワークショップ「フレスコ画に挑戦!?-しっくいに絵を描こう-」  
しっくいと水を練り上げ、約7センチ四方のスタイロフォーム(発砲スチロールの一種)にしっくいを  
伸ばし、水で溶いた顔料を塗って描く。  
2月25日(土) 13:30～15:00  
2月26日(日) 10:30～12:00  
参加者: 121名(2月25日/51名、26日/70名)

「第70回山口県美術展覧展」

- ・ 「私のイチオシ！」  
県美展期間中、全作品を対象として、来館者が選んだイチオシ作品の理由を記入した用紙を展示。  
会期終了後、投票用紙を出品者にフィードバックした。  
実施結果(投票枚数): 569枚

#### その他

- ・ ランチマップの更新  
美術館周辺、および駅周辺のランチができるお店を記載したマップを最新版に更新した(6月1日付、8月1日付)。



## (5) 県立美術館メンバーズクラブ

山口県立美術館および、山口県立萩美術館・浦上記念館では、山口県の県立美術館2館の展覧会等を通じて、美術に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的に平成26年度より2館共通の会員組織、「県立美術館メンバーズクラブ」を設立。

1. 会 費            一般会員：2,000円  
                      学生会員(19歳以上の学生)：1,700円  
                      シニア会員(70歳以上)：1,400円
  
2. 特 典            ①県立美術館2館の企画展が3回まで無料観覧、4回目以降は半額  
                      ②開催中の展覧会図録を割引購入  
                      ③2館の展覧会、イベント情報などを定期的に郵送  
                      ④館内カフェでの割引特典  
                      ⑤会員限定イベントへの参加
  
3. 会員募集期間    [平成27年度]    平成27年2月21日(土)～7月31日(金)まで  
                          [平成28年度]    平成28年3月18日(金)～7月31日(日)まで
  
4. 有効期間        [平成27年度]    平成28年3月31日(木)まで  
                          [平成28年度]    平成29年3月31日(金)まで
  
5. 入会者数        [平成27年度]    2,664名  
                          [平成28年度]    2,507名

## (6) 博物館実習

平成27年度

### ■実習生学校別内訳（4大学12名）

1 立命館大学(文学部)	1名
2 尾道市立大学(芸術文化学部)	1名
3 山口県立大学(国際文化学部)	7名
4 山口大学(人文学部)	3名

### ■実習内容

9月2日(水)	08:40~9:00	オリエンテーション
	09:00~10:30	【講義】山口県立美術館、教育普及(県美展、HEART)について
	10:40~12:10	館内見学
	13:00~14:40	【講義】展覧会の企画(コレクション展・企画展)について
	14:30~16:10	【講義】美術品の保存修復について
9月3日(木)	09:00~10:00	【講義】美術館の指定管理業務について
	10:10~12:10	作品の取り扱い(実習)
	13:00~13:20	県美展搬入についての説明
	13:20~16:10	搬入準備
9月4日(金)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月5日(土)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月6日(日)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月8日(火)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
9月9日(水)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会見学)
	13:00~15:00	実際の作品の取り扱い(県美展展示見学・補助)
	15:00~16:10	総括

\*内、1名9月5日(土)欠席のため、9月10日(木)まで延長。

平成28年度

### ■実習生学校別内訳（5大学12名）

1 山口県立大学(国際文化学部)	5名
2 広島市立大学(芸術学部)	1名
3 山口大学(人文学部)	3名
4 京都造形芸術大学(芸術学部)	2名
5 京都教育大学(教育学部)	1名

### ■実習内容

8月31日(水)	08:40~9:00	オリエンテーション
	09:00~10:30	【講義】山口県立美術館、教育普及(県美展、HEART)について
	10:40~12:10	館内見学
	13:00~14:40	【講義】展覧会の企画(コレクション展・企画展)について
	14:30~16:10	【講義】美術品の保存修復について
9月1日(木)	09:00~10:00	【講義】美術館の指定管理業務について
	10:10~12:10	作品の取り扱い(実習)
	13:00~13:20	県美展搬入についての説明
	13:20~16:10	搬入準備

9月2日(金)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月3日(土)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月4日(日)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
9月6日(火)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
9月7日(水)	09:00~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会見学)
	13:00~15:00	実際の作品の取り扱い(県美展展示見学・補助)
	15:00~16:10	総括

\*内、1名8月31日(水)~9月2日(金)まで欠席のため9月10日(土)まで延長、1名9月1日(木)欠席のため9月12日(月)に振り替え。

## (7) その他の事業

### 1. 美術館ニュース「天花」

「天花」のタイトルは、大内時代、雪舟が山口市天花（てんげ）に雲谷庵をいとなんだという故事にちなんで命名されたもの。第1～60号まではB5版、61～79号まではA4版であったが、第80号から現行のA5版となって、年間スケジュール、展覧会や各種活動の紹介、所蔵品紹介を行っている。

#### 第123号(平成27年3月)

- ・コレクション展
- ・篠山紀信展 写真力  
THE PEOPLE by KISHIN
- ・恐竜戦国時代の覇者！  
世界大恐竜展
- ・ドラッカー・コレクション  
珠玉の水墨画  
「マネジメントの父」が愛した  
日本の美
- ・リバプール国立美術館所蔵  
英国の夢 ラファエル前派展
- ・館内インフォメーション
- ・年間スケジュール



#### 第124号(平成27年10月)

- ・コレクション展
- ・ドラッカー・コレクション  
珠玉の水墨画  
「マネジメントの父」が愛した  
日本の美
- ・リバプール国立美術館所蔵  
英国の夢 ラファエル前派展
- ・HEART2015
- ・年間スケジュール



#### 第125号(平成28年3月)

- ・コレクション展
- ・リバプール国立美術館所蔵  
英国の夢 ラファエル前派展
- ・山の日制定記念  
遥かなる山-発見された風景美
- ・日伊国交樹立150周年記念  
世界遺産 ポンペイの壁画展
- ・イベントリポート
- ・館内インフォメーション
- ・年間スケジュール



#### 第126号(平成28年9月)

- ・福田勝治の「イタリア紀行」  
-Travel in Italy-
- ・没後70年 兼重暗香
- ・野田神社所蔵  
毛利家の能面と能装束
- ・もうひとつの輝き  
最後の印象派 1900-20's Paris
- ・日伊国交樹立150周年記念  
世界遺産 ポンペイの壁画展
- ・HEART2016
- ・新館長着任インタビュー
- ・年間スケジュール



## 2. 指定管理者自主企画事業

### 平成27年度

#### ■映画「ウォーキング with ダイナソー」無料上映会

日 時：7月20日(月・祝)・21日(火)・22日(水) 13:30~15:00

会 場：山口県立美術館 講座室

料 金：無料 ※保護者は要 展覧会チケット半券 ※事前予約制

内 容：世界大恐竜展会場にも展示されている「バキリノサウルス」が主人公のアドベンチャー映画を上映。

参加者：348名

#### ■工作コーナー「ダンボールで恐竜をつくろう！」

日 時：7月18日(土)~8月11日(火) 10:00~16:30

会 場：山口県立美術館ロビー

料 金：100円(キット材料代)

参加者：3,351名

#### ■クイズで知る山口県立美術館

日 時：11月1日(日)~3日(火・祝)

会 場：山口県立美術館内

内 容：教育文化週間に美術館や展示作品にまつわるクイズを実施。参加者にはオリジナルポストカードをプレゼント。※山口県立萩美術館・浦上記念館と同時開催。

参加者：207名

#### ■美術館で深まる芸術の秋 秋のミュージアム・コンサート

山口県立美術館/山口県立萩美術館・浦上記念館 2館リレー開催

日 時：11月3日(火・祝) 11:00~11:45

会 場：山口県立美術館エントランスホール

料 金：無料

出 演：木原朋子(箏・三味線)、杉江慶子(ピアノ)

内 容：シンフォニア岩国のアーティスト・バンクを活用し、同日午後は萩美術館・浦上記念館にて演奏を行い3館連携のコンサートを実施。

参加者：150名

#### ■いい夫婦の日イベント

日 時：11月22日(日)

内 容：「いい夫婦の日」にちなんでご夫婦で来館された展覧会入場者のお客様に記念品をプレゼント。山口県立萩美術館・浦上記念館と同時開催。

参加者：117組 234名

#### ■お正月開館イベント

期 間：1月2日(土)~3日(日)

内 容：

①コレクション展 ギャラリートーク

日 時：1月2日(土)・3日(日) 14:00~(30分程度)

参加者：計100名

②新春ミュージアムコンサート「琴の調べ」2016

日 時：1月2日(土)・3日(日) 11:30~、13:30~(各30分程度)

会 場：山口県立美術館エントランスホール

料 金：無料

出 演：箏玲会

参加者：計335名

③お正月伝統遊びコーナー

日 時：1月2日(土)・3日(日) 9:00~17:00

会 場：山口県立美術館ロビー

内 容：けん玉、福笑い、かるた、こま、お手玉などお正月のおもちゃを楽しめるコーナーを設置。

料 金：無料

参加者：283名(かんたん工作コーナーの参加者を含む)

④かんたん工作コーナー

日 時：1月2日(土)・3日(日) 9:00~17:00

会 場：山口県立美術館ロビー

内 容：紋切りあそび、紙のオーナメント、缶バッジづくりの簡単工作ができるコーナーを設置。

⑤美術館で運だめし!

日 時：1月2日(土)・3日(日) 9:00~17:00

会 場：山口県立美術館エントランスホール

内 容：ジャンボ福みくじ ※展覧会観覧者対象

参加者：193名

⑥アート年賀状 作品展示

日 時：1月2日(土)~17日(月・祝) 9:00~17:00

内 容：事前に募集した年賀状を館内エントランスホールに展示。応募作品から抽選で10名に作品画像をオリジナル切手にしてプレゼント。

※応募締切：12月25日(金)山口県立萩美術館・浦上記念館でも同時開催。

応募点数：259点

⑦カフェ「ラ プリュム ブルー」のお正月

日 時：1月2日(土)・3日(日) 10:00~16:30

会 場：山口県立美術館内カフェ「ラ プリュム ブルー」

内 容：フランスの新年のお菓子「ガレット・デ・ロワ」を各日数量限定販売。

実 績：客数127名



アート年賀状

## 平成28年度

### ■ほたる鑑賞Week! 蛍の夕べ夜間コンサート

日時：5月28日(土) 18:30~19:00  
会場：山口県立美術館エントランスホール  
料金：無料

出演：山口県交響楽団  
内容：同期間に開催していた特別展『遙かなる山 発見された風景美』展に合わせて、エーデルワイスなど「山」をキーワードにしたアンサンブルコンサートを実施。

参加者：130名



絵本交換会

### ■夏休み特別イベント 絵本交換会

日時：8月18日(木)~21日(日) 9:30~16:30  
会場：山口県立美術館ロビー

料金：無料  
内容：絵本を持参の上、来館して美術館の用意した本と同冊数を交換。その際に、次に手に取る人に向けたメッセージをカードに記入してもらう。

参加者：114名

### ■県立美術館メンバーズクラブ会員限定 「シンフォニア岩国 公演鑑賞会」

日時：10月23日(日)  
会場：シンフォニア岩国  
料金：4,000円(公演チケットS席)

内容：シンフォニア岩国主催「前橋汀子カルテット」公演鑑賞会に、県立美術館メンバーズクラブ会員をアテンド。

参加者：7組18名

### ■タブカフェ(多文化共生国際カフェ) フランス

日時：11月19日(土) 13:00~15:00  
会場：山口県立美術館講座室

料金：無料  
講師：ドルベ・ファブリス(東亜大学フランス語非常勤講師)

内容：同期間開催の特別展「もうひとつの輝き 最後の印象派1900-20's Paris」展に合わせて、ベルエポック期のフランスをはじめ、フランスのユネスコ世界遺産やフランスの情報について講義を実施。

参加者：85名

共催：山口県国際交流協会

### ■いい夫婦の日イベント

日時：11月22日(水)・23日(木)

内容：「いい夫婦の日」にちなんでご夫婦で来館された展覧会入場のお客様に、記念品をプレゼント

参加者：100組

### ■秋のミュージアム・コンサート 山口県立美術館/山口県立萩美術館・浦上記念館2館リレー開催

日時：11月23日(木)  
会場：山口県立美術館エントランスホール 11:00~11:45

料金：無料  
出演：フルート：戸倉京子、ヴァイオリン：中村泰子、ヴィオラ：徳田修二、チェロ：藤原英昭

内容：岩国アーティストバンクより派遣されたフルートと弦楽器によるカルテットの演奏。山口県立萩美術館・浦上記念館では同日15:00~15:45に開催。

参加者：191名

企画協力：シンフォニア岩国指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

### ■お正月開館イベント

期間：1月2日(月)・3日(火)

内容：

①コレクション展 ギャラリートーク

日時：1月2日(月)・3日(火)

参加者：計88名

②新春ミュージアムコンサート「琴の調べ」

日時：1月2日(金)、3日(土) 11:30~、13:00~

会場：山口県立美術館エントランスホール

料金：無料

出演：箏玲会

参加者：計319名

③お正月伝統遊びコーナー

日時：1月2日(月)~3日(火) 9:00~17:00

会場：山口県立美術館ロビー

料金：無料

参加者：348名

④アート年賀状 作品展示

日時：1月2日(月)~29日(日) 9:00~17:00

内容：事前に募集したオリジナル年賀状を館内エントランスホールに展示。応募作品の中から抽選で10名に作品画像をオリジナル切手にしてプレゼント。

応募点数：221点

⑤館内カフェ「ラ・プリュムブルーのお正月」

日時：1月2日(月)~3日(火) 9:00~17:00

内容：福袋、ランチ、フランスの新年のお菓子「ガレット・デ・ロワ」を数量限定販売。

参加者：114名



新春コンサート

### 3. シンフォニア岩国との連携事業

山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国主催の展覧会事業に参画。

#### 平成27年度

山口県立美術館企画協力やまぐち煌めきアーティスト展  
下瀬信雄写真展「天地結界」

会 期：平成27年11月21日(土)～11月29日(日)

場 所：シンフォニア岩国企画展示ホール

料 金：無料

■作家本人によるギャラリートーク

11月21日(土) 11：00～、14：00～

#### 平成28年度

山口県立美術館所蔵

澄川喜一展 全ての原点は錦帯橋から

会 期：平成28年6月21日(火)～7月5日(火)

場 所：シンフォニア岩国企画展示ホール

料 金：無料

■作家本人による講演会

「澄川喜一スライドトーク」7月2日(土) 11：00～

■学芸員によるギャラリートーク

6月21日(火) 11：00～、14：00～

※本展覧会は当館所蔵の澄川喜一作品12点によって構成。

## (8) 原稿執筆・講演等

平成27年度

### 【教員向け研修会】

- 日時 平成27年8月11日(火)  
主題 鑑賞についての講演(第46回山口県造形教育研究ゼミナール大会)  
主催 山口県造形教育研究会  
担当 岡本麻美

### 【県内大学での講義】

- 日時 平成27年5月1日(金)  
内容 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」  
主催 山口大学  
担当 萬屋健司
- 日時 平成27年6月3日(水)  
内容 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」  
主催 山口県立大学  
担当 萬屋健司
- 日時 平成27年6月7日(日)  
内容 コレクション展「雪舟と雲谷派2-生誕400年 いとこで競演 等爾・等作」  
主催 山口県立大学 桜の森アカデミー「やまぐちのアート」  
担当 福田善子
- 日時 平成27年12月14日(月)  
内容 「雪舟」  
主催 山口県立大学 一般教養科目「山口の歴史と文化」  
担当 荻開津通彦
- 日時 平成27年12月21日(月)  
内容 「雲谷派-雪舟を継ぐものたち」  
主催 山口県立大学 一般教養科目「山口の歴史と文化」  
担当 福田善子
- 日時 平成27年度(後期)  
内容 「博物館経営論」  
主催 山口県立大学  
担当 斎藤郁夫

### 【講演】

- 日時 平成27年10月31日(土)  
主題 19世紀末デンマークにおける日本美術受容-カール・マスン著 *Japansk Malerkunst*(『日本の絵画芸術』)を中心に  
主催 『国際シンポジウム「北欧の近代美術とジャポニスム」』  
(International Symposium "Modern Art and Japonisme in the North")国立西洋美術館  
担当 萬屋健司
- 日時 平成27年11月7日(土)  
内容 アクロス学び塾「ドラッカー博士が愛した水墨画の魅力」  
主催 アクロス福岡  
担当 荻開津通彦

### 【書籍・論文等 執筆寄稿】

- 刊行 平成27年5月13日(水)  
著書 (共著)上野友愛、岡本麻美『かわいい絵巻』(東京美術)  
担当 岡本麻美



## 平成28年度

### 【教員向け研修会】

- 日時 平成28年8月25日(木)  
主題 対話型鑑賞 理論と実践  
主催 防府市中教研美術部会研修会  
担当 萬屋健司、岡本麻美

### 【県内大学での講義】

- 日時 平成28年5月17日(火)  
内容 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」  
主催 山口大学  
担当 萬屋健司
- 日時 平成28年6月1日(水)  
内容 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」  
主催 山口県立大学  
担当 萬屋健司
- 日時 平成28年6月5日(日)  
内容 「遙かなる山 発見された風景美」  
主催 山口県立大学 桜の森アカデミー  
担当 斎藤郁夫
- 日時 平成28年11月12日(土)  
内容 「雪舟と雲谷派」  
主催 山口県立大学 桜の森アカデミー「やまぐちのアート」  
担当 福田善子
- 日時 平成28年12月12日(月)  
内容 「大内氏と雪舟」  
主催 山口県立大学 一般教養科目「山口の歴史と文化」  
担当 荏開津通彦
- 日時 平成28年12月19日(月)  
内容 「雲谷派－その多彩な絵画活動」  
主催 山口県立大学 一般教養科目「山口の歴史と文化」  
担当 福田善子
- 日時 平成28年度(後期)  
内容 「博物館経営論」  
主催 山口県立大学  
担当 斎藤郁夫

### 【講演】

- 日時 平成28年4月17日(日)  
内容 郷土史講座「桃山時代の巨匠・雲谷等顔－新発見の「孔雀牡丹図屏風」を中心に－」  
主催 山口の文化財を守る会(事務局:山口市教育委員会文化財保護課内)  
担当 福田善子
- 日時 平成28年5月19日(木)  
内容 公益財団法人鹿島美術財団 2016年度研究発表会  
発表題目「フェルナン・クノッフ作《私は私自身の上に扉を閉ざす》にみる「宿命の女」  
－文学との関わりから－」  
主催 公益財団法人 鹿島美術財団  
担当 矢追愛弓
- 日時 平成28年6月4日(土)  
内容 アクロス学び塾「遙かなる山 発見された風景美」  
主催 アクロス福岡  
担当 斎藤郁夫
- 日時 平成29年2月4日(土)  
内容 講演・作品解説「山口ゆかりの画家 森重雪島の画業について」  
主催 森重雪島翁作品展実行委員会、山口南総合センター  
担当 岡本麻美

【書籍・論文等 執筆寄稿】

■刊行 平成28年3月31日(木)

論文 萬屋健司「19世紀末デンマークにおける日本美術受容－カール・マセン著 *Japansk Malerkunst*(『日本の絵画芸術』)を中心に」("Reception of Japanese Art in Denmark in the late 19th Century, Based on *Japansk Malerkunst* (Art of Japanese Painting) by Karl Madsen")、『国際シンポジウム「北欧の近代美術とジャポニスム」報告書』(国立西洋美術館、2016、pp.87-107.)

担当 萬屋健司

■日時 平成28年5月19日(木)

寄稿 「遙かなる山 発見された風景美」展 特集記事

掲載 朝日新聞

担当 斎藤郁夫

■日時 平成28年7月15日(金)

寄稿 「新発見！雲谷等顔の花鳥図屏風」

掲載 『新・史都萩』第60号(史都萩を愛する会)

担当 福田善子

■日時 平成28年9月

寄稿 「明治、大正、昭和－「山」の美術百年史」

掲載 『月刊アートコレクターズ』No.90、2016年9月(生活の友)

担当 斎藤郁夫

■日時 平成28年11月4日(金)～12月30日(金)

寄稿 「東流西流」(コラム連載全9回)

掲載 山口新聞

担当 岡本麻美

■日時 平成28年12月14日(水)

寄稿 「シベリア抑留から生き残った画家―香月泰男」

掲載 一般財団法人ニッポンドットコム

担当 萬屋健司

■日時 平成28年7月1日(金)～継続中 毎週金曜日

寄稿 「芸術の森 県立美術館ガイド」(所蔵作品、展覧会等に関する連載)

掲載 宇部日報新聞

担当 山口県立美術館学芸員 全7名で交代

# 事業

## Ⅲ. 調査研究事業

## (1) 雪舟研究会

平成27年度

### ■公開講座（シンポジウム）

日時 11月22日(日) 14:00～

場所 山口県立美術館講座室

題目 雪舟とその弟子

パネリスト：渡邊雄二(九州産業大学教授)  
綿田稔(文化庁文化財調査官)  
荏開津通彦(山口県立美術館学芸員)  
コーディネーター：影山純夫(神戸大学名誉教授)

## (2) 調査研究実績

平成27年度

- 日時 平成27年4月9日(木)  
内容 功山寺・二十八部衆立像(下関市指定文化財)調査  
場所 功山寺(下関市)  
担当 福田善子(末吉武史氏 [福岡市博物館学芸員] 他との共同調査)
- 日時 平成27年4月16日(木)  
内容 常栄寺仏像調査  
場所 常栄寺(山口市)  
担当 福田善子(末吉武史氏 [福岡市博物館学芸員] 他との共同調査)
- 日時 平成27年5月15日(金)  
内容 神像彫刻調査(県内文化財調査)  
場所 佐々並地区(萩市佐々並)  
担当 福田善子(國守進氏、樋口尚樹氏 [元萩博物館副館長] 他との共同調査)
- 日時 平成27年5月18日(月)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 熊谷美術館(萩市)  
担当 荏開津通彦、福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年6月10日(水)、11日(木)  
内容 常栄寺仏像調査  
場所 常栄寺(山口市)  
担当 荏開津通彦(末吉武史氏 [福岡市博物館学芸員] の調査に同行)
- 日時 平成27年6月17日(水)  
内容 文化財修復工房現場の調査、雲谷派作品調査  
場所 地神舎(宇部市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年6月26日(金)  
内容 佛通寺絵画(雲谷等顔作品を含む)調査  
場所 佛通寺(広島県三原市)  
担当 福田善子
- 日時 平成27年7月8日(水)  
内容 県内仏像調査  
場所 浄名寺(宇部市)、功山寺(下関市)  
担当 福田善子、岡本麻美(末吉武史氏 [福岡市博物館学芸員] 他との共同調査)
- 日時 平成27年7月14日(火)、15日(水)  
内容 山口市内社寺絵画調査  
場所 洞春寺(山口市)  
担当 荏開津通彦、福田善子、岡本麻美

- 日時 平成27年8月4日(火)  
内容 伝雪舟筆「陶弘護像」(龍豊寺所蔵・周南市美術博物館寄託)の調査  
場所 周南市美術博物館(周南市)  
担当 荏開津通彦
- 日時 平成27年8月6日(木)、7日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 静岡県立美術館、MOA美術館  
担当 福田善子
- 日時 平成27年8月18日(火)、19日(水)  
内容 初期雲谷派作品調査  
場所 高野山金剛峰寺(和歌山県伊都郡)  
担当 福田善子
- 日時 平成27年9月7日(月)～20日(日)  
内容 雲谷等顔作品調査、情報収集、出品交渉  
場所 クリーブランド美術館、インディアナポリス美術館、メトロポリタン美術館  
ボストン美術館、ハーバード大学美術館(いずれもアメリカ合衆国)  
担当 福田善子
- 日時 平成27年9月29日(火)  
内容 山口市内社寺絵画調査  
場所 洞春寺(山口市)  
担当 荏開津通彦、福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年10月13日(火)  
内容 初期雲谷派作品調査  
場所 個人(東京)  
担当 福田善子
- 日時 平成27年11月4日(水)～6日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 松之山小学校(新潟県十日町市)、金沢市立中村記念美術館(石川県金沢市)  
担当 福田善子
- 日時 平成27年11月17日(火)～29日(日)  
内容 作品調査、展覧会にかかる協議、出品交渉  
場所 デンマーク国立美術館、トラップホルト美術館、デンマーク・デザイン博物館(以上デンマーク)  
スウェーデン国立美術館、イェーテボリ美術館(以上スウェーデン)  
ノルウェー国立美術館(ノルウェー)、シュテーデル美術館(ドイツ)  
担当 萬屋健司
- 日時 平成27年11月20日(金)  
内容 萩市内社寺絵画調査  
場所 実相寺(萩市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年11月24日(火)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 吉川史料館(岩国市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年11月29日(日)  
内容 山口市内社寺絵画調査  
場所 顕孝院(山口市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成27年11月30日(月)  
内容 功山寺・二十八部衆立像(下関市指定文化財)調査  
場所 功山寺(下関市)  
担当 福田善子(末吉武史氏〔福岡市博物館学芸員〕との共同調査)
- 日時 平成27年12月1日(火)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 菊屋家保存住宅(萩市)  
担当 荏開津通彦、福田善子、岡本麻美

- 日時 平成28年2月3日(水)  
内容 萩市内社寺絵画調査  
場所 長屋家(萩市)  
担当 福田善子
- 日時 平成28年2月19日(金)  
内容 洞春寺所蔵絵画調査  
場所 洞春寺(山口市)  
担当 荏開津通彦
- 日時 平成28年3月9日(水)、10日(木)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 熊本県立美術館、松井文庫(熊本県八代市)、八代市立博物館  
担当 福田善子
- 日時 平成28年3月14日(月)  
内容 如意輪観音坐像調査  
場所 浄名寺(宇部市)  
担当 福田善子(末吉武史氏〔福岡市博物館学芸員〕との共同調査)
- 日時 平成27年12月～平成28年3月 全6回  
内容 雲谷等顔関連史料調査  
場所 山口県文書館、萩博物館  
担当 福田善子(共同調査者：樋口尚樹氏〔松陰神社宝物殿至誠館館長〕)

#### 平成28年度

- 日時 平成28年5月16日(月)  
内容 阿弥陀如来立像調査  
場所 常德寺(山口市阿東)  
担当 荏開津通彦、福田善子(末吉武史氏〔福岡市博物館学芸員〕との共同調査)
- 日時 平成28年5月31日(火)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 古熊神社(山口市古熊)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年5月31日(火)  
内容 コレクション展「野田神社所蔵 毛利家の能面と能装束」出品作品調査  
場所 野田神社(山口市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成28年6月6日(月)  
内容 雲谷等顔作品現況調査  
場所 善生寺(山口市古熊)  
担当 荏開津通彦、福田善子
- 日時 平成28年6月8日(水)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 山口市歴史民俗資料館(山口市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年6月8日(水)、9日(木)  
内容 雲谷派障壁画、雲谷等顔展・『山口県史』関連古文書調査  
場所 大照院(萩市)  
担当 荏開津通彦、福田善子
- 日時 平成28年6月16日(木)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 のむら美術館(山口市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年6月17日(金)  
内容 雲谷等顔、雲谷等益作品調査  
場所 島根県立石見美術館  
担当 荏開津通彦、福田善子

- 日時 平成28年6月29日(水)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 個人宅(山口市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年7月1日(金)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 井上表具店(山口市佐山)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年7月14日(木)  
内容 雲谷等顔「孔雀牡丹図屏風」の修復状況調査、修復工程協議  
場所 修理工房 宰匠(筑紫野市)  
担当 福田善子
- 日時 平成28年8月25日(木)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 菊屋家保存住宅(萩市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年8月27日(土)  
内容 第8回 松崎天神縁起絵巻研究会  
主催 松崎天神縁起絵巻研究会  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年9月26日(月)～10月7日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査、情報収集、出品交渉  
場所 ロサンゼルスカウンティ美術館、クリーブランド美術館、ミネアポリス美術館、メトロポリタン美術館  
(いずれもアメリカ合衆国)  
担当 福田善子
- 日時 平成28年9月27日(火)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 毛利博物館(防府市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年10月7日(金)  
内容 「デンマーク・デザイン展」図録翻訳にかかる協議  
場所 大阪大学  
担当 萬屋健司
- 日時 平成28年10月13日(木)  
内容 洞春寺所蔵絵画調査  
場所 洞春寺(山口市)  
担当 荏開津通彦
- 日時 平成28年10月25日(火)、26日(水)  
内容 雲谷等顔、雲谷等益作品調査  
場所 東京国立博物館、個人(東京)  
担当 福田善子
- 日時 平成28年11月7日(月)  
内容 コレクション展「野田神社所蔵 毛利家の能面と能装束」 出品作品調査  
場所 野田神社(山口市)  
担当 河野通孝、福田善子、岡本麻美
- 日時 平成28年11月9日(水)  
内容 兼重暗香作品調査  
場所 個人宅(山口市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成28年11月25日(金)  
内容 神像彫刻調査(県内文化財調査)  
場所 恒石八幡宮(宇部市棚井)、平清水八幡宮(山口市吉田)  
担当 福田善子(末吉武史氏[福岡市博物館学芸員]他との共同調査)

- 日時 平成28年12月7日(水)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 福岡市博物館  
担当 福田善子
- 日時 平成28年12月10日(土)  
内容 兼重暗香資料調査  
場所 個人宅(神奈川県藤沢市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成29年1月26日(木)  
内容 コレクション展「野田神社所蔵 毛利家の能面と能装束」 出品作品調査  
場所 野田神社(山口市)  
担当 福田善子、岡本麻美
- 日時 平成29年2月8日(水)  
内容 兼重暗香資料調査  
場所 個人宅(宇部市)  
担当 岡本麻美
- 日時 平成29年2月10日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 京都国立博物館  
担当 福田善子
- 日時 平成29年3月3日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 佛通寺(広島県三原市)  
担当 福田善子
- 日時 平成29年3月10日(金)  
内容 雲谷等顔作品調査  
場所 佛通寺(広島県三原市)  
担当 福田善子
- 日時 平成29年3月31日(金)  
内容 三谷等宿作品調査、雲谷等顔関連史料調査  
場所 萩博物館  
担当 福田善子
- 日時 平成28年4月～平成29年3月 全19回  
内容 雲谷等顔関連史料調査  
場所 山口県文書館、毛利博物館、岩国徴古館、山口県立美術館  
担当 福田善子(共同調査者：樋口尚樹氏〔松陰神社宝物殿至誠館館長〕)



# 事業

## IV . 收集管理保存事業

## (1) 館蔵品寄託品貸出利用状況

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
京都騒動画卷	森寛斎	2015.4.8-7.26	山口県立萩美術館・浦上記念館、東京都江戸東京博物館、アーツ前橋	2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」
甲冑	澄川喜一	2015.6.1-9.16	島根県立石見美術館	澄川喜一 シンプル・イズ・ビューティフル
MASK	〃	〃	〃	〃
MASK - UN	〃	〃	〃	〃
O - MASK	〃	〃	〃	〃
MASK	〃	〃	〃	〃
そりとそぎ	〃	〃	〃	〃
おうぎ	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたちA	〃	〃	〃	〃
MASK	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたち 2011	〃	〃	〃	〃
運ぶ人	香月泰男	2015.7.1-10.7	広島市現代美術館	被爆70周年記念特別展「ライフ=ワーク」
避難民	〃	〃	〃	〃
アムール	〃	〃	〃	〃
囚	〃	〃	〃	〃
(私の)地球	〃	〃	〃	〃
点呼(左)	〃	〃	〃	〃
点呼(右)	〃	〃	〃	〃
絵具箱	〃	〃	〃	〃
釋妙昭信女A(じゅばん)	殿敷侃	〃	〃	〃
釋寛量信士(シャツ)	〃	〃	〃	〃
トルソ	植木茂	2015.6.23-10.15	三重県立美術館	20世紀日本美術再発見 1940年代
雨(牛)	香月泰男	〃	〃	〃
埋葬	〃	〃	〃	〃
パパとママと子供たち	植田正治	〃	〃	〃
パパとママと子供たち	〃	〃	〃	〃
オブジェ I	大江清司	〃	〃	〃
金属のオブジェ	〃	〃	〃	〃
太宰治『カストリ時代』より(太宰治、銀座・酒場<ルパン>)	林忠彦	〃	〃	〃
織田作之助『カストリ時代』より(織田作之助、銀座・酒場<ルパン>)	〃	〃	〃	〃
犬を背負った少年 三宅坂参謀本部跡『カストリ時代』より(「カストリ時代」犬を背負った少年、三宅坂参謀本部跡)	〃	〃	〃	〃
煙草をくゆらす浮浪児 上野『カストリ時代』より(「カストリ時代」煙草をくゆらす浮浪児、上野)	〃	〃	〃	〃
光の貝殻<ヌード>(光輝く女性Nude)	福田勝治	〃	〃	〃
グミの実は甘くすっぱいよ<ヌード>(ぐみの実は甘くすっぱいよ Nude)	〃	〃	〃	〃
乗客	香月泰男	2015.6.20-10.10	名古屋市美術館	画家たちと戦争：彼らはいかにして生きぬいたのか
涅槃	〃	〃	〃	〃
1945	香月泰男	2015.7.10-10.31	広島県立美術館、長崎県美術館	広島・長崎 被爆70周年記念展一戦争と平和
星<有刺鉄線>夏	〃	〃	〃	〃
東帯天神図	雪舟等楊	2015.9.30-11.18	富山県水墨美術館	北陸新幹線開業記念 旅に生きた水墨画の巨匠たち 雪舟から等伯へ
山水人物図	伝雪舟	〃	〃	〃
(澁墨山水図)山水図 澤庵宗彭賛	雲谷等顔	〃	〃	〃
雪舟七十一歳像(雪舟等楊像)	雲谷等益	〃	〃	〃
古園	入江一子	2015.10.6-11.19	浜松市秋野不矩美術館	「入江一子 展」～シルクロード色彩自在～
バーミヤン回想	〃	〃	〃	〃
誕生	桂ゆき	2015.10.25-2016.1.28	うらわ美術館	「縫い」その造形の魅力
埋葬	香月泰男	2016.5.10-7.25	兵庫県立美術館	1945±5 戦争と復興、激動の時代
MASK	澄川喜一	2016.6.21-7.5	シンフォニア岩国	山口県立美術館所蔵 澄川喜一 展覧会
そりのあるかたち 9-27	〃	〃	〃	〃
そりとそぎ	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたち	〃	〃	〃	〃
おうぎ	〃	〃	〃	〃

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
M A S K	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたちA	〃	〃	〃	〃
そりのあるかたち 2011	〃	〃	〃	〃
甲冑	〃	〃	〃	〃
M A S K	〃	〃	〃	〃
M A S K - U N	〃	〃	〃	〃
M A S K	〃	〃	〃	〃
傲高克恭山水図巻	雪舟等楊	2016.8.18-9.29	熊本県立美術館	雪舟流と狩野派－細川家を魅了した日本絵画の至宝
雨〈牛〉	香月泰男	2016.8.31-12.16	平塚市美術館	香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治
埋葬	〃	〃	〃	〃
左官	〃	〃	〃	〃
乗客	〃	〃	〃	〃
1945	〃	〃	〃	〃
運ぶ人	〃	〃	〃	〃
涅槃	〃	〃	〃	〃
黒い太陽	〃	〃	〃	〃
アムール	〃	〃	〃	〃
雪	〃	〃	〃	〃
神農	〃	〃	〃	〃
朝陽	〃	〃	〃	〃
星〈有刺鉄線〉夏	〃	〃	〃	〃
復員〈タラップ〉	〃	〃	〃	〃
別	〃	〃	〃	〃
〈私の〉地球	〃	〃	〃	〃
雨	〃	〃	〃	〃
雲	〃	〃	〃	〃
護	〃	〃	〃	〃
青の太陽	〃	〃	〃	〃
業火	〃	〃	〃	〃
朕	〃	〃	〃	〃
奉天(右)	〃	〃	〃	〃
奉天(左)	〃	〃	〃	〃
-35°	〃	〃	〃	〃
バイカル	〃	〃	〃	〃
点呼(右)	〃	〃	〃	〃
点呼(左)	〃	〃	〃	〃
海拉爾	〃	〃	〃	〃
雪山	〃	〃	〃	〃
日本海	〃	〃	〃	〃
月の出	〃	〃	〃	〃
渚〈ナホトカ〉	〃	〃	〃	〃
日の出	〃	〃	〃	〃
上白根風景	松田正平	2016.9.01-12.8	町立久万美術館	風景の向こう－喜多村知・松田正平
高萩風景	〃	〃	〃	〃
光海岸	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
周防灘 昼の月	〃	〃	〃	〃
周防灘	〃	〃	〃	〃
スケッチブック	〃	〃	〃	〃
春の山	小林和作	2016.10.5-2017.2.21	なかた美術館	小林和作に会う
エクス風景	〃	〃	〃	〃
牧馬図	狩野芳崖	2017.2.20-2017.9.15	東京藝術大学美術館、MIHO MUSEUM	雪村・奇想の誕生 -
月夜山水図	〃	〃	〃	〃
釋妙昭信女A(じゅばん)	殿數侃	2017.3.6-2017.6.8	広島市現代美術館	殿數侃：逆流の生まれるところ
釋寬量信士(シャツ)	〃	〃	〃	〃

## (2) コレクション

### ※凡例

以下の目録は2015(平成27)年4月から2017(平成29)年3月までに収蔵された館蔵品を網羅したものである。作品の整理方針及び個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠している。すなわち、作品は日本画(J)・洋画(O)・水彩画(W)・素描(D)・版画(P)・写真(Ph)・彫刻(S)・工芸(C)・書(Ca)・資料(R)の順で編集し、また個々のデータについては、整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・材質技法・寸法・収集年度とその経緯の順で記した。整理番号は『山口県立美術館年報 平成25～26年度』に続く通し番号である。



J-312  
 斎藤等室  
 Saito Toshitsu  
 ? - 1668  
 山水図  
 Landscape  
 江戸時代17世紀  
 紙本墨画淡彩  
 34.3×51.2  
 平成27年 購入



J-313  
 雲谷等哲  
 Unkoku Totetsu  
 1631 - 1683  
 山水図  
 Landscape  
 江戸時代17世紀  
 絹本墨画淡彩  
 92.6×39.4  
 平成27年 購入



J-314  
 松林桂月  
 Matsubayashi Keigetsu  
 1876 - 1963  
 丹楓落日図  
 Autumn Landscape  
 大正4年(1915)  
 絹本墨画淡彩  
 34.3×51.2  
 平成27年 寄贈



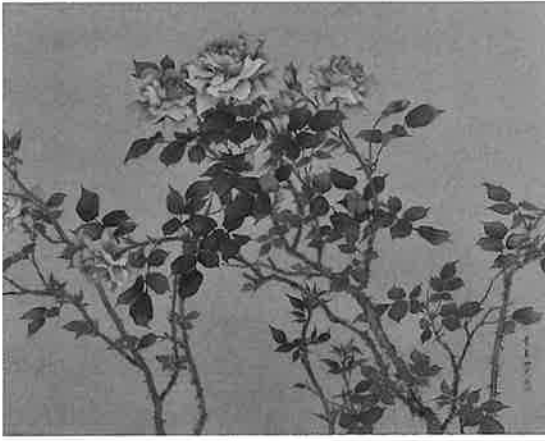
J-315  
 松林桂月  
 Matsubayashi Keigetsu  
 1876 - 1963  
 雪景山水図  
 Winter Landscape  
 大正3年(1914)  
 絹本墨画  
 149.5×24.7  
 平成27年 寄贈



J-316  
 松林桂月  
 Matsubayashi Keigetsu  
 1876 - 1963  
 碧山過雨図  
 Summer Landscape  
 大正3年(1914)  
 絹本墨画  
 149.5×24.7  
 平成27年 寄贈



J-317  
 松林桂月  
 Matsubayashi Keigetsu  
 1876 - 1963  
 夏景山水図(絶筆)  
 Summer Landscape(Last work)  
 昭和38年(1963)  
 絹本墨画淡彩  
 47.1×56.7  
 平成27年 寄贈



J-318  
**松林雪貞**  
 Matsubayashi Settei  
 1880 - 1970  
**長春花図**  
 Rose  
 昭和28年(1953)  
 絹本着色  
 68.3 × 85.7  
 平成27年 寄贈



J-319  
**小田海僊**  
 Oda Kaisen  
 1785 - 1862  
**東君像**  
 The Lord of the East  
 天保元年(1830)  
 絹本着色  
 71.0 × 31.7  
 平成27年 寄贈



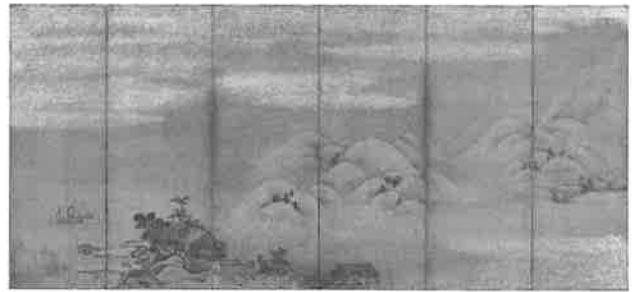
J-320  
**矢野箬山**  
 Yano Katsuzan  
 1779 - 1845  
**浅絳山水図**  
 Landscape  
 文政12年(1829)  
 紙本墨画淡彩  
 158.8 × 32.2  
 平成27年 寄贈



J-321  
**林百非・石川瓊州**  
 Hayashi Hyakubi · Ishikawa Keishui  
 1796 - 1851(林百非) ·  
 1810 - 1859(石川瓊州)  
**山水図**  
 Landscape  
 文政12年(1829)  
 紙本墨画  
 125.5 × 40.5  
 平成27年 寄贈



J-322  
**藤田隆司**  
 Fujita Ryuji  
 1907 - 1965  
**鶴図**  
 Cranes  
 昭和15年(1940)頃  
 紙本着色  
 179.0 × 89.7  
 平成27年 寄贈



J-323

雲谷等益

Unkoku Toeki

1591 - 1644

山水図屏風

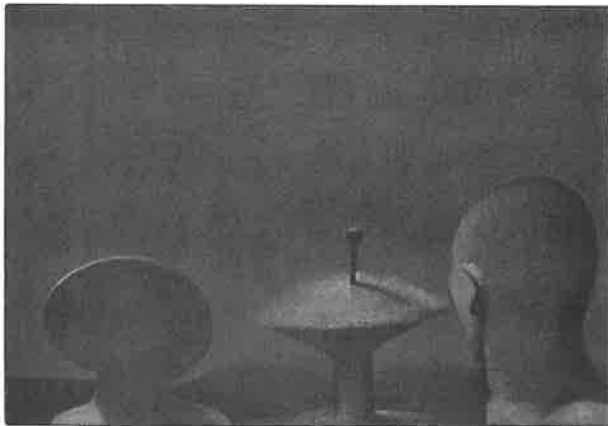
Landscape

寛永初期(1620年代)

紙本墨画淡彩

163.0×354.6

平成28年 購入



O-260

香月泰男

Kazuki Yasuo

1911 - 1974

ホロンバイル

Hulumbuir

昭和19年(1944)

油彩/麻布

46.0×65.0

平成27年 購入



O-261

松田正平

Matsuda Shohei

1913 - 2004

四国犬

Shikoku Dog

平成2年(1990)

油彩/カンヴァス

45.5×65.2

平成28年 購入



D-044

吉村芳生

Yoshimura Yoshio  
1950 - 2013

彼の地

A Further Land

昭和61年(1986)

鉛筆/紙

111.5 × 151.5

平成27年 購入



D-045

吉村芳生

Yoshimura Yoshio  
1950 - 2013

KANOCHI 下絵(数字)

A Further Land :

KANOCHI (Number)

昭和62年(1987)

鉛筆/紙

50.0 × 75.2

平成27年 寄贈



P-207

吉村芳生

Yoshimura Yoshio  
1950 - 2013

KANOCHI

A Further Land (KANOCHI)

昭和62年(1987)

オフセット/紙

50.0 × 75.6

平成27年 寄贈



R-099

松林桂月

Matsubayashi Keigetsu  
1876 - 1963

松林桂月資料(下絵)

Reference materials of  
Matsubayashi Keigetsu (Drafts)

平成27年 寄贈



R-100

松林桂月

Matsubayashi Keigetsu  
1876 - 1963

松林桂月資料(画稿)

Reference materials of  
Matsubayashi Keigetsu (Sketches)

平成27年 寄贈



R-101

松林桂月

Matsubayashi Keigetsu  
1876 - 1963

松林桂月資料(印章)

Reference materials of  
Matsubayashi Keigetsu (Seals)

平成27年 寄贈

### (3) 作品修理・修復

#### (1) 平成27年度

- 1 作品：O-0129 高橋由一《鴨図》(1877年 油彩・カンヴァス)  
施行：IWAI ART 保存修復研究所  
処置：写真撮影  
裏面のクリーニング  
画面のクリーニング  
剥落止め  
中性保存パネルへの張込み  
脱酸素密閉処置  
額の改善、額装  
報告書作成

#### (2) 平成28年度

- 1 作品：J-0070 雪舟等楊《紙本墨画山水図》(15世紀 一巻 紙本墨画、重要文化財)  
施行：修理工房 宰匠株式会社

平成29年度まで継続中

### (4) 美術図書

	平成 27 年度	平成 28 年度
図書	251	223
カタログ	305	242
逐次刊行物	523	471



# 入館者数一覧

平成27年度 (2015)

展覧会名	開催期間	有 料															メンバーズクラブ	小計
		個 人							団 体 ・ 前 売									
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
コレクション展		300	2,378	-	-	200	186	2,564	240	31	-	-	160	48	79		2,643	
コレクション展 (特別展とのセット券、メンバーズ含む)	27.4.1 ~ 28.3.31 (293)	100	9,129	-	-	100	116	9,245	100		-	-	100		0		9,245	
コレクション展合計			11,507	-	-		302	11,809		31	-	-		48	79		11,888	
明治工芸の粋展 ※	27.4.1 ~ 4.12 (12)	1,200	7,091	1,000	1,767	1,000	86	8,944	1,000	4	800	20	800	0	24	428	9,396	
篠山紀信展	27.4.25 ~ 6.14 (46)	1,000	33,809	800	5,622	800	351	39,782	800	9,407	600	1,493	600	145	11,045	1,411	52,238	
世界大恐竜展	27.7.10 ~ 8.30 (47)	1,100	22,948	900	1,765	900	314	25,027	900	9,773	700	627	700	84	10,484	670	36,181	
珠玉の水墨画展	27.10.30 ~ 12.6 (35)	1,200	5,100	1,000	1,972	1,000	125	7,197	1,000	60	800	68	800	74	202	990	8,389	
ラファエル前派展 ※	28.3.18 ~ 3.31 (13)	1,300	1,615	1,100	404	1,100	82	2,101	1,100	665	900	153	900	38	856	924	3,881	
第69回山口県美術展覧会	27.9.26 ~ 10.12 (17)	500	1,871			400	47	1,918	400	2			300		2		1,920	
山口県学校美術展覧会	28.1.26 ~ 1.31							0							0		0	
山口県立大学卒業制作展	28.2.3 ~ 2.7							0							0		0	
山口芸術短期大学卒業制作展	28.2.10 ~ 2.14							0							0		0	
山口大学教育学部美術教育卒業・終了制作展	28.2.18 ~ 2.21							0							0		0	
展覧会合計			83,941		11,530		1,307	96,778		19,942		2,361		389	22,692	4,423	123,893	

※「明治工芸の粋」展(平成27年2月21日～4月12日、46日間)および「ラファエル前派展」(平成28年3月18日～5月8日、48日間)は、年度をまたいで開催。全期間を通じての入場者は以下のとおり。

展覧会名	開催期間	有 料															メンバーズクラブ	小計
		個 人							団 体 ・ 前 売									
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
明治工芸の粋	27.2.21 ~ 4.12 (46)	1,200	11,888	1,000	3,765	1,000	232	15,885	1,000	4,090	800	940	800	68	5,098	2,060	23,043	
ラファエル前派展	28.3.18 ~ 5.8 (48)	1,300	8,426	1,100	1,922	1,100	311	10,659	1,100	3,315	900	717	900	112	4,144	1,865	16,668	

無 料										合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者手帳等	教育・文化週間 及び 無料展覧会	その他	小計	
2,118	232	540			5,437	2,476	1,102	760	12,665	15,308
									0	9,245
2,118	232	540			5,437	2,476	1,102	760	12,665	24,553
755	237	424	2,695	73		567		9	4,760	14,156
1,482	372	1,199	7,144	298		2,904		414	13,813	66,051
20,237	702	15,394	4,710	425		2,017		579	44,064	80,245
159	35	92	2,402	130		734		185	3,737	12,126
216	85	64	581	257		378		69	1,650	5,531
88	13	78	676		1,072	216		146	2,289	4,209
966	67	371			215	18	2,125	19	3,781	3,781
4	2	18			2		513		539	539
11		4			20	2	331	9	377	377
7	2	6					396	2	413	413
26,043	1,747	18,190	18,208	1,183	6,746	9,312	4,467	2,192	88,088	211,981

無 料										合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者手帳等	教育・文化週間 及び 無料展覧会	その他	小計	
1,260	353	653	4,921	188		1,416		387	9,178	32,221
1,220	360	452	5,653	524		1,448		112	9,769	26,437

平成28年度 (2016)

展覧会名	開催期間	有 料															メンバーズクラブ	小計
		個 人							団 体 ・ 前 売									
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
コレクション展	28.4.1 ~ 29.3.31 (294)	300	2,932	-	-	200	204	3,136	240	126	-	-	160	67	193		3,329	
コレクション展(特別展とのセット券、メンバーズ含む)		100	7,805	-	-	100	135	7,940	100	0	-	-	100		0		7,940	
コレクション展合計			10,737	-	-	200	339	11,076	240	126	-	-	160	67	193		11,269	
ラファエル前派展 ※	28.4.1 ~ 5.8 (35)	1,300	6,811	1,100	1,518	1,100	229	8,558	1,100	2,650	900	564	900	74	3,288	941	12,787	
遙かなる山展	28.5.26 ~ 7.3 (35)	1,200	1,892	1,000	1,038	1,000	44	2,974	1,000	630	800	290	800	23	943	559	4,476	
最後の印象派展	28.11.7 ~ 12.18 (38)	1,300	2,991	1,000	882	1,100	130	4,003	1,100	1,679	900	304	900	34	2,017	1,112	7,132	
ボンペイの壁画展	29.1.21 ~ 3.26 (59)	1,300	18,476	1,100	4,948	1,100	650	24,074	1,100	7,566	900	1,807	900	151	9,524	1,898	35,496	
第70回山口県美術展覧会	28.9.23 ~ 10.10 (17)	500	1,922	400		400	50	1,972	400	8			300		8		1,980	
展覧会合計			42,829		8,386		1,442	52,657		12,659		2,965		349	15,973	4,510	73,140	

※「ラファエル前派展」(平成28年3月18日～5月8日、48日間)は、年度をまたいで開催。全期間を通じての入場者は以下のとおり。

展覧会名	開催期間	有 料															メンバーズクラブ	小計
		個 人							団 体 ・ 前 売									
		一般		シニア		学生		計	一般		シニア		学生		計			
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数			
ラファエル前派展	28.3.18 ~ 5.8	1,300	8,426	1,100	1,922	1,100	311	10,659	1,100	3,315	900	717	900	112	4,144	1,865	16,668	

無 料										合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者手帳等	教育・文化週間 及び 無料展覧会	その他	小計	
1,158	412	247			6,117	2,263	390	575	11,162	14,491
									0	7,940
1,158	412	247			6,117	2,263	390	575	11,162	22,431
1,004	275	388	5,072	267		1,070		43	8,119	20,906
137	28	119	2,499	338		497		140	3,758	8,234
367	295	200	4,104	332		665		119	6,082	13,214
3,355	1,012	974	5,233	619		2,743		183	14,119	49,615
102	19	52	672		960	198		144	2,147	4,127
6,123	2,041	1,980	17,580	1,556	7,077	7,436	390	1,204	45,387	118,527

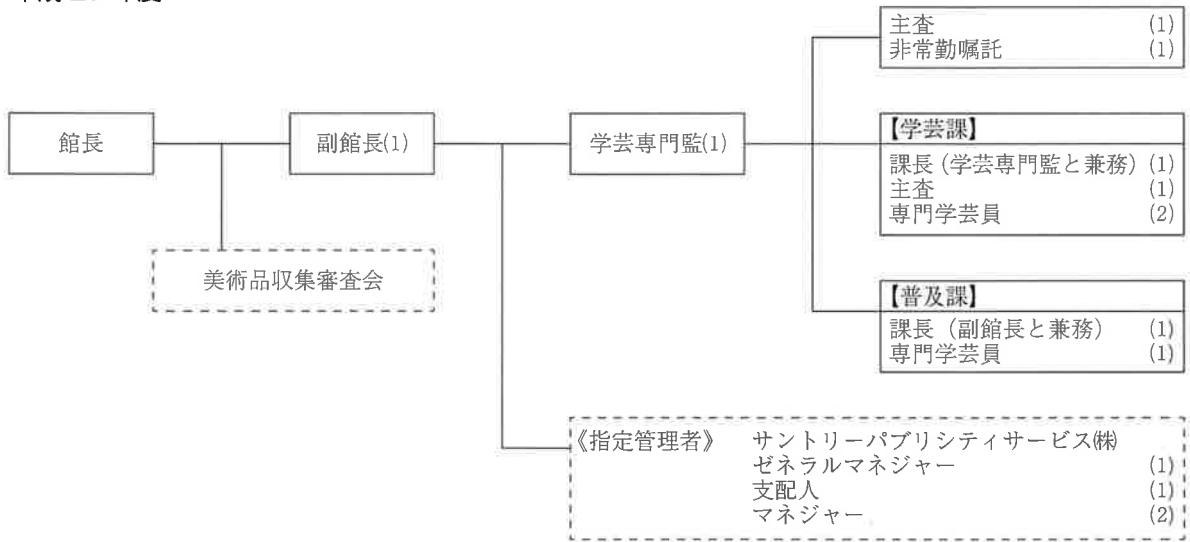
無 料										合 計
小・中生	高校生	18才以下のその他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者手帳等	教育・文化週間 及び 無料展覧会	その他	小計	
1,220	360	452	5,653	524		1,448		112	9,769	26,437



# 組織等

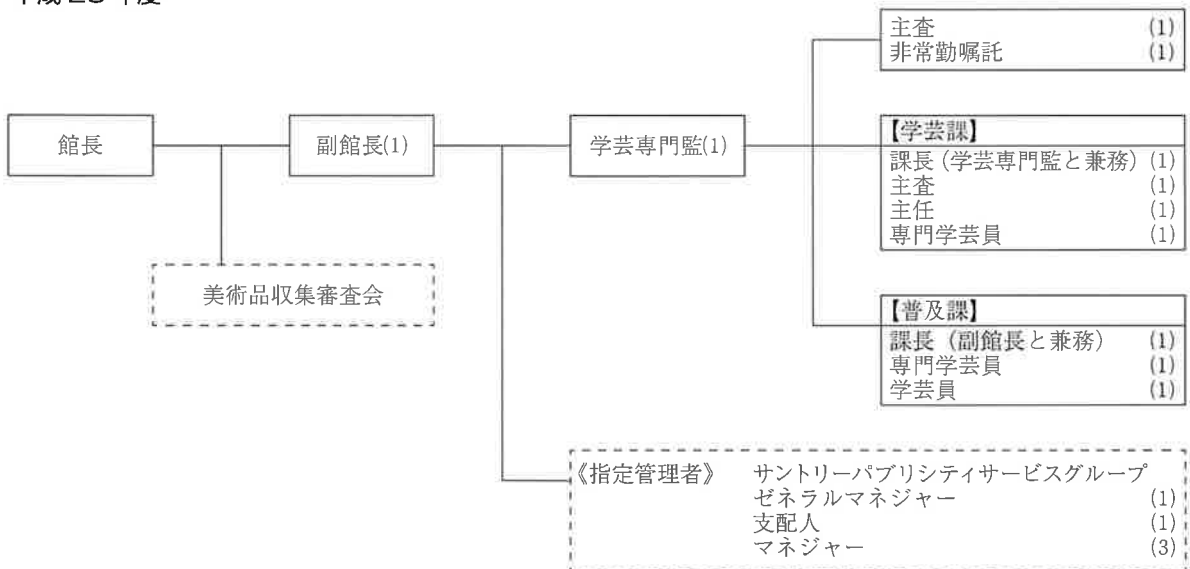
組織図

平成 27 年度



※ ( ) は人数

平成 28 年度



※ ( ) は人数

美術品収集審査委員

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 浦上俊朗  | 山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長 |
| 奥平俊六  | 大阪大学文学部教授          |
| 奥津聖   | 山口大学名誉教授           |
| 菊屋吉生  | 山口大学国際総合科学部教授      |
| 森川紘一郎 | 元周南市美術博物館館長        |
- (以上27・28年度)



## 美術館職員構成

(27年度4月)

館長	二井 関成
副館長	斎藤 郁夫
学芸専門監	河野 通孝
主査	清水 孝二
嘱託	山本 一夫

### 学芸課

学芸課長	河野 通孝(学芸専門監と兼務)
主査	荏開津通彦
専門学芸員	福田 善子
専門学芸員	岡本 麻美

### 普及課

課長	斎藤 郁夫(副館長と兼務)
専門学芸員	萬屋 健司

(28年度4月)

館長	二井 関成
副館長	斎藤 郁夫
学芸専門監	河野 通孝
主査	清水 孝二
嘱託	山本 一夫

### 学芸課

課長	河野 通孝(学芸専門監と兼務)
主査	荏開津通彦
主任	福田 善子
専門学芸員	岡本 麻美

### 普及課

課長	斎藤 郁夫(副館長と兼務)
専門学芸員	萬屋 健司
学芸員	矢追 愛弓

## 職員の動静

27.9

普及課学芸員 矢追愛弓、新規採用

28.4

学芸課専門学芸員 福田善子、主任に昇任

28.6

館長 二井関成、退任

館長 岡田 実、任用

29.3

主査 清水孝二、議会事務局総務課に転出

---

発行 山口県立美術館  
山口市亀山町3-1  
tel 083-925-7788 (代表)  
fax 083-925-7790 (代表)  
083-925-7784 (学芸・普及課)

発行日 平成30年3月31日

印刷 株式会社マルニ  
tel 083-925-1111

---





